令和６年(2024 年) ７月１２日

函館市教育委員会
　教育長　藤井　壽夫　様

函館市中学校用教科用図書選定委員会
委員長　田上　直広

令和７年度（２０２５年度）使用中学校用教科用図書および令和６年度（２０２５年度)使用教科用図書のうち学校教育法附則第９条に規定する教科用図書（一般図書）の選定について

令和６年６月７日付け函教学で諮問のあったこのことについて，別添答申資料のとおり答申いたします。

令和７年度（２０２５年度）使用

中学校用教科用図書選定委員会

答　申　資　料

＜中学校用教科用図書選定委員会経過＞

第１回（R6.6.7）	・令和７年度(2025 度)使用中学校用教科用図書の選定および令和７年度(2025 年度)使用教科用図書のうち学校教育法附則第９条の規定による教科等図書（一般図書）の選定について諮問
第２回（R6.7.11）	・令和７年度使用中学校用教科用図書および令和７年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第９条の規定による教科等図書（一般図書）について調査・研究（１日目）
第３回（R6.7.12）	・令和７年度使用中学校用教科用図書および令和７年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第９条の規定による教科等図書（一般図書）について調査・研究（２日目） ・選定委員長へ報告

函館市中学校用教科用図書選定委員会

委員長　　田　上　直　広

副委員長　　橋　本　智　也

小委員会名国語

1教科書名

発行者名	教科書の記号・番号		
2 東書	国語 002-72	国語 002-82	国語 002-92
教科書名	新編新しい国語1	新編新しい国語2	新編新しい国語3

2調査研究内容

取扱内容	○ ［知識及び技能］の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 集めた情報の整理の仕方を身に付け、図表を入れたレポートを書く活動や、浦島太郎について書かれた文章を読み、古典を学ぶ意味を考える活動 第2学年～ 必要な情報に着目し、囲みや矢印、表を使い整理する活動や、写真資料を使って古典を学び、筆者のものの見方や考え方を捉える活動 第3学年～ インターネットなどで調べることを通して、情報の信頼性と客観性を吟味する活動や、古典の言葉を読み味わい、一節を引用して考えを書く活動 ○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 話の中心を明確にし、スピーチの構成を考える活動や、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる活動 第2学年～ 資料や機器を活用して分かりやすく説明したり、伝えたりする活動や、互いの立場や意見を尊重しながら話し合い、結論を出す活動 第3学年～ 相手や目的に応じて思いや考えが伝わるように表現を工夫する活動や、多様な意見を理解し、互いの意見を生かして話し合い、合意を形成する活動 ○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 調べて分かった事実や考察について構成を考えてレポートを書く活動や、根拠を明確に示し、自分の意見が伝わる文章を書き、感想を交換する活動 第2学年～ 多様な方法で集めた材料を整理し、読み手の立場に立って表現を工夫する活動や，根拠の適切さについて吟味して意見文を書く活動 第3学年～ 集めた材料を吟味し、目的や意図に応じて文章の種類を選択して書く活動や、論理の展開や表現の仕方を工夫し、説得力のある批評文を書く活動 ○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 詩に描き出されている風景や、込められている思いを想像し、音読する活動や、目的に応じて必要な情報に着目して要約する活動 第2学年～ 登場人物の言動の意味を考えて作品を読み深める活動や、複数の文章を読み比べて、構成や論理の展開、表現の工夫について考える活動 第3学年～ 作品の展開や表現の仕方に着目し、批評する活動や、文章に書かれている内容の妥当性を吟味・検討しながら読む活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「てびき」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などの描写をもとに読み取ったり、文章の構成や表現の工夫について発表し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「てびき」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、構成や表現を工夫して記事を書き換えたり、場面の描かれ方を比較し、場面の展開や表現の効果について交流したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「てびき」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物のものの見方や考えについて考え、人物像をつかんだり、筆者の主張をその根拠について捉え、書き方の工夫について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～　段落の役割や段落どうしの関係を捉え、要旨をつかみ、文章の構成や表現の効果について考える活動の後に、事実と考えとの関係を捉え、要旨をつかみ、必要な情報に着目して要約する活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～　第1学年の日常生活から題材を決め、出来事や思いがいきいきと伝わるように随筆を書く活動の後に、表現の効果を考えて描写し、想像した場面が伝わるように工夫して物語を書く活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～　第2学年の話し手の意見や根拠に注意して聞き、自分の考えと比較する活動の後に、話の展開を予測しながら聞き、内容や表現の仕方を評価して自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　おすすめの本のポップを作り、その本の魅力を紹介し合う活動（第1学年）や社会生活とつながりのある体験学習について、それぞれの場面に応じたスピーチ活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、様々な種類・テーマの本を紹介した「読書案内」（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「領域別教材一覧」で、既習事項を振り返らせたり、今後の学習の見通しをもたせたり（全学年）、「言葉の学習を始めよう」に、国語の学習の意義を示したり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○　「『言葉の力』一覧」で中学校3年間の学習を見通したり振り返ったり（全学年）、脚注欄などの小さめの文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　各教材ごとに配置された「てびき」や「言葉の力」により、目標やねらいの明確化が図られている。さらに、身に付ける内容の学ぶ流れが具体化され、生徒一人一人が授業の展開を把握できる工夫がなされている。 ○　導入の場面ではクイズ形式で興味関心を引き出す教材が配置されている。さらに、二次元コードを使うことで、音声や映像など、生徒が必要に応じて授業中のみならず、家庭学習での活用など、デジタルコンテンツによる学習の個別最適化の工夫がなされている。 ○　「未来を考えるための9つのテーマ」を設定し、各教材に関連させ、共生社会や国際社会について考えを深める工夫がなされている。さらに、各学年末の教材「未来への扉」では、発達段階に応じた自己形成やキャリア教育に関する題材が配置されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委員	委員	委員	委員	委員
中田和子 （旭岡中）	風間和夫 （学識経験者）	吉田彩子 （PTA）	林修司 （港中）	阿曽優吾 （桔梗中）	清水修子 （深堀中）

小委員会名　　国　語

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
15 三省堂	国語 015-72	国語 015-82	国語 015-92
教科書名	現代の国語 1	現代の国語 2	現代の国語 3

2 調査研究内容

取扱内容	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 必要な情報を整理して防災に関するリーフレットを作成する活動や、仮名遣いなどに注意して「竹取物語」を音読し、古典の世界に親しむ活動 第2学年～ 情報を整理・活用して水問題に関する考えをまとめる活動や、「枕草子」などを読んで、古文に表れた昔の人のものの見方や考え方を知る活動 第3学年～ 情報の扱い方について、考えたことを話し合う活動や、「論語」の言葉を選んで引用し、身の回りの事柄と関連付けて、考えたことを書く活動 ○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 日常生活から話題を決め、構成を工夫して伝える活動や、話題や展開に沿って話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる活動 第2学年～ 資料や機器を活用して自分の考えを分かりやすく伝える活動や、地域の魅力を伝えるために集めた材料を整理し、伝える内容を話し合う活動 第3学年～ 聞き手や場の状況に応じて話の内容や話し方を工夫して伝える活動や、中学校生活で出会った心に残る言葉を集め、伝える内容を話し合う活動 ○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取 り上げられている。 第1学年～ 集めた材料を整理し、伝えたい内容を明確にしてレポートを書く活動や、創作した詩について感じたことが効果的に伝わるように、推敲する活動 第2学年～ 読み手の立場に立って書いた礼状を推敲する活動や、創作した短歌や俳句を読み合い、表現の工夫などについてよい点や改善点を見つける活動 第3学年～ 条件に応じて表現などを工夫し、説得力のある文章を書く活動や、書いた文章を読み合い、論理の展開についてよい点や改善点を見つける活動 ○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 必要な情報に着目し、文章を要約し、内容を捉える活動や、文章の構成や語り手の視点を捉え、表現の効果について考える活動 第2学年～ 登場人物や相互関係を整理し、登場人物の設定の仕方を捉える活動や、図表や文章などを結び付けて、筆者の考えを捉える活動 第3学年～ 文章の構成や論理の展開の仕方を捉え、評価する活動や、作品に表れているものの見方や考え方について考えながら読む活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 教材冒頭の「目標」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、複数の文章を読み比べ、構成や展開について考えたことを伝え合ったり、描写を基に、登場人物相互の関係や心情の変化を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 教材冒頭の「目標」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物の人物像について、考えたことを伝え合ったり、自分の知識や経験と結び付けて筆者の考えを捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 教材冒頭の「目標」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章を読んで、人間や社会について考えたことを伝え合ったり、詩の形式やリズムに注意しながら、表現の特徴を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～　場面と登場人物の行動の描写を結び付けて、登場人物の心情を深く読み取る活動の後に、情景等の描写と場面の展開を結び付けて、登場人物の心情を深く読み取る活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～　第1学年の書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識し，文章の構成や展開を考えて書く活動の後に、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫して書く活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～　第2学年の結論を導くために、相手の考えと比較しながら聞き、互いの立場や考えを尊重しながら話し合う活動の後に、合意形成に向けて、進行の仕方を工夫するなどして計画的に話し合う活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　日常生活の様々な体験を振り返って題材を決め、随筆を書く活動（第1学年）や説得力のある論理展開を考え、構成を工夫して批評文を書く活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、読書習慣の形成のため、読書に親しむ学習活動を扱う「読書活動」（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　各教材の冒頭に「学習目標」を提示し、末尾には学習を振り返る機会を設けたり、「読むこと」教材の「学びの道しるべ」で学習のプロセスを示したり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○　「領域別教材一覧」で「つけたい力」を示し、身に付けた力の自覚と達成感を促したり（全学年）、色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　各教材の冒頭に「学びの道しるべ」を提示し、学習目標と学習の振り返りが明確化されている。また、巻末には「読み方を学ぼう一覧」を示し、何をどのように読めば力がつくのかという読みの方略を図解で配置するなど工夫がなされている。 ○　「カラーユニバーサルデザイン」に対応することで、色覚の特性を考慮し、生徒一人一人が見やすく、学びやすい工夫がなされている。また、著名人などの教材に加え、日常生活や現代社会における課題を取り上げることで興味関心を高める工夫がなされている。 ○　「語彙を豊かに」や「読書の広場」では実社会や実生活で役立つ、豊かな言語文化に対応した学びを設定している。さらに、「読み方を学ぼう」が規則的に配置され、学んだ言語を生徒が活用できる教材が掲載されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
中田　和子 （旭岡中）	風間　和夫 （学識経験者）	吉田　彩子 （PTA）	林　修司 （港中）	阿曽　優吾 （桔梗中）	清水　修子 （深堀中）

小委員会名　　国　語

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
17 教 出	国語 017-72	国語 017-82	国語 017-92
教科書名	伝え合う言葉　中学国語1	伝え合う言葉　中学国語2	伝え合う言葉　中学国語3

2 調査研究内容

取扱内容	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 情報同士を比較して言葉と画像を組み合わせ広告を作る活動や、昔話を読んで様々な作品があることを知り、古典の仮名遣いに触れる活動 第2学年～ 情報の効果を考えたり小説を脚本に書き換えたりする活動や、枕草子などを読んで、作者のものの見方や考え方に対して自分の考えをもつ活動 第3学年～ 複数の社説から情報を捉え、意見や主張について考える活動や、和歌のリズムや内容の特徴を理解して作者の心情を想像し、和歌を味わう活動 ○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 伝えたいことを明確にしてお気に入りの一品を紹介する活動や、互いの意見を整理しながら話し合い、自分の考えをまとめる活動 第2学年～ 異なる立場や考えを取り上げて、ニュースや出来事を紹介する活動や、考えの共通点や相違点を捉えながら討論し、結論をまとめる活動 第3学年～ 話し手の表現を評価しながら聞き、自分のスピーチを改善する活動や、互いの考えを尊重しながら話し合い、合意できる結論を出す活動 ○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 目的や意図に応じて集めた材料を整理して案内文を書く活動や、客観性のある資料を参考に根拠と主張のつながりを明確にして意見文を書く活動 第2学年～ 伝えたいことを明確にしながら新聞の投書を書く活動や、表現の効果を確かめながら、適切な言葉を選び、手紙やメールを書く活動 第3学年～ 論理の展開を考えて説得力のある批評文を書く活動や、読み手の助言を踏まえて、目的に応じた内容や表現を工夫し、自己PR文を書く活動 ○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 作品の構成や展開、人物の関係を捉えて作品の特徴を説明する活動や、論理の展開や表現の工夫を捉え、筆者の説明の意図をまとめる活動 第2学年～ 作品の印象に残った表現とその効果について考えをまとめる活動や、論の展開と主張を捉えながら知識や経験と結び付けて考えをまとめる活動 第3学年～ 語りに着目しながら作品を読んで考えをまとめる活動や、構成や展開、表現の仕方を比べて読み、社会や他者との関わりについて考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、作品の時間的な場面の展開に着目しながら読んで気付いたことを話し合ったり、論の構成や展開に着目して読みながら筆者の主張の背景を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、語り手の視点を捉えながら読み、登場人物の人物像について考えたり、文章を読み比べて筆者による論の構成や表現の意図の違いを捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、作品の特性や価値について批評しながら読んで、自分の意見をもったり、文章の構成や展開の仕方を評価しながら読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～　段落の役割を意識して文章の構成や展開を考えながら紹介文を書く活動の後に、読み手の立場に立って表記や語句の用法、叙述の仕方などを見直したり、確かめたりしながら報告文を書く活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～　第1学年の中心となる内容と、それを説明する内容の関係を踏まえてスピーチの構成を考えて話す活動の後に、課題を多面的に捉えて設定し、根拠の適切さや論の展開に注意して自分の考えを伝える活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～　第2学年の物語の構成や展開を意識して表現の効果を考えながら連作ショートショートを書く活動の後に、中学校での学習を振り返り、情報をまとめて読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する活動（第1学年）や社会問題の中からテーマを決めて情報の信頼性を確かめながら新聞記事を書く活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、生徒の学びを深める読書案内として「広がる本の世界」を掲載する（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「みちしるべ」や「学習活動の流れ」などで学習の重点を示したり（全学年）、各単元における教材の冒頭に学習目標を示したり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○　「言葉の地図」で教材の指導事項や言語活動を総覧できる一覧や自ら学習を振り返る観点を示したり（全学年）、明朝体やゴシック体を基本としながら、UD に対応した独自の教科書体を使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　教材の冒頭に、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」を主とした目標が　明示され、学びの視点をもつことができる工夫がなされている。さらに、「学びのチャレンジ」を設け、学年ごとの学習の確認ができ、中学校から高等学校へとつながる学びにも対応している。 ○　教材ごとに配置された「学びナビ」「みちしるべ」によって、学習の見通しと指導事項に沿った学習目標が明確化され、振り返りをしながら、次の学びにつながる工夫がなされている。また、資料等の充実を図り、学習への意欲を高めるデジタルコンテンツが配置されている。 ○　アイヌの歴史文化や北海道の自然、さらに、函館の方言を扱った教材が配置され、函館市で暮らす中学生が、学びを通して地域を知り、考え、実生活や実社会との関連を強く意識することができる工夫がなされている。また、巻末「ふるさとを巡る」でも、地域との関連を意識できる構成となっている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
中田　和子 （旭岡中）	風間　和夫 （学識経験者）	吉田　彩子 （PTA）	林　修司 （港中）	阿曽　優吾 （桔梗中）	清水　修子 （深堀中）

小委員会名　　国　語

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
38 光　村	国語 038-72	国語 038-82	国語 038-92
教科書名	国語1	国語2	国語3

2 調査研究内容

取扱内容	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 本やウェブサイトから集めた情報を基に、自分の考えをまとめる活動や、作品を音読して古典のリズムを味わい、古典の世界を想像する活動 第2学年～ 話の筋や論点を整理するために、情報と情報の関係を図で整理する活動や、作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ活動 第3学年～ 発信者の立場や意図を推測し、情報の信頼性を吟味する活動や、古典の文章の中から自分の心に響いた言葉を引用し、メッセージを書く活動 ○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ わかりやすく伝えるために、話の構成を工夫してスピーチする活動や、話題や展開を捉えて話し合い、その結果をクラス全体に報告する活動 第2学年～ 話の構成を工夫し、資料や機器を使ってプレゼンテーションする活動や、異なる立場や意見を尊重し合いながら討論する活動 第3学年～ 意見を聞いて適切さを判断し、スピーチをよりよくするための助言を考える活動や、身近な話題について話し合い、合意形成を図る活動 ○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 情報を取捨選択し、まとめ方や順序を工夫して文章を書く活動や、引用の仕方に注意し、根拠を明確に示してレポートにまとめる活動 第2学年～ 目的に応じて多様な方法で情報を集め、整理し、伝えたいことを紙面にまとめる活動や、表現の効果を考えて、描写を工夫して物語を書く活動 第3学年～ 課題に沿って情報を読み取り、文章の構成や論理の展開を考えて小論文を書く活動や、広告について客観的に分析し、批評文を書く活動 ○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 登場人物の心情の変化をとらえ、図などを使って整理する活動や、本文を要約して筆者の主張をつかみ、立場を明確にして意見をまとめる活動 第2学年～ 伏線と結末の関係を読み解き、登場人物の言動の意味を考える活動や、観点を明確にして文章を比較し、構成や表現の効果について考える活動 第3学年～ 登場人物の考え方や行動を批判的に読み、作品を批評する活動や、論説の比較を基にグループで討論し、自分の考えをまとめる活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「学びへの扉」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、場面や描写を結び付けて内容を解釈したり、文章の構成や表現の効果についてグループで語り合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「学びへの扉」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の構成や、人物や出来事を語るときの表現から、筆者の思いを考えたり、人物像や表現の効果など、自分の選んだ観点で作品の魅力を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「学びへの扉」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章に表れた筆者のものの見方や考え方について考えたり、表現に着目して詩を読み、社会について考えたことを伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～　必要な情報を判断してメモを取りながら聞き取り、情報を整理して伝える活動の後に、聞き方や質問の仕方を工夫して相手の話を引き出し、対話を充実させる活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～　第1学年の文章の構成や展開の効果を考え、根拠を明確にして自分の考えをまとめる活動の後に、文章の構成や論理の展開を吟味し、自分の考えを文章にまとめる活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～　第2学年の対話を通して、国語を学ぶ意義を考えてコピーにまとめる活動の後に、3年間の国語の学びを振り返り、「これまで」と「これから」の学びについて冊子にまとめて発表会を行う活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　読み手の立場に立って、案内文を推敲する活動（第1学年）や社会生活の中から自分が訴えたいことを見つけ、クラス全体に向けてスピーチをする活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、多様なテーマを扱った読書単元「いつも本はそばに」（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「学びのカギ」で、学習の流れや学習のポイントを明確に示したり（全学年）、各教材の「振り返る」で、自分の言葉で学びを価値づける場を設けたり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○　「学習の見通しをもとう」で1年間の学習を見渡したり（全学年）、漢字の読み仮名などの小さな文字にUD書体を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　巻頭の「学習の見通しをもとう」では、一年間の学習全体を見渡すことができるとともに、巻末では「国語の力試し」が配置され、身に付けた学びを自己評価できる工夫がなされている。また、全領域に「学びのカギ」を掲載し、学習の目標やねらいが明示されている。 ○　ICT 機器の活用ツールとして、二次元コードによるコンテンツを収録し、一人一人の学びを活性化する工夫がなされている。また、「語彙ブック」では、思考や表現を支える言葉が学年ごとに配置され、主体的に語彙を増やし、語感を磨く工夫もなされている。 ○　北海道や世界の自然について関心をもたせる教材が取り扱われている。また、各学年に特設している「情報×SDGs」では、情報活用の基礎基本に始まり、情報収集、発信、情報活用の方法へと発達段階に応じた実生活や実社会に生きる教材が配置され　ている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
中田　和子 （旭岡中）	風間　和夫 （学識経験者）	吉田　彩子 （PTA）	林　修司 （港中）	阿曽　優吾 （桔梗中）	清水　修子 （深堀中）

小委員会名　　書　写

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
2 東　書	書写 002-72
教科書名	新編　新しい書写　一・二・三年

2 調査研究内容

取扱内容	○　硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　字形と配列を整える書き方を確かめて書いたり、話を聞きながらメモを取るときに気を付けることを考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動 第2学年～　行書の様々な書き方を漢字表などで調べて書いたり、楷書と行書を使い分けるには、どのような観点が必要かを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動 第3学年～　国語科で学習する文学作品などの一説を書いたり、身の回りの文字の目的とそれに応じた工夫を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○　毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　点画の連続について、形の特徴などに気を付けて書いたり、楷書と比べながら点画の方向や形の変化を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動 第2学年～　点画の省略に気を付けて書いたり、楷書と比べながら行書に調和する仮名の特徴を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動 第3学年～　自分で選んだ言葉を書き初めで書いたり、伝えたい思いを効果的に表現するための工夫を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○　硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　点画の書き方と字形の整え方、文字の大きさと配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第2学年～　点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第3学年～　これまでの毛筆の学習を生かし、「思いを文字で表そう」において、卒業に向けた作品を筆記具や文字の大きさを工夫して書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、仮名を整えて書くために気を付けることを考えたり、仮名の書き方と字形の特徴について理解したことを自分の書いた文字で振り返ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、行書と仮名の調和について考えたり、どのように行書と仮名が調和しているのかを筆圧の変化、筆脈の用語を使って説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、現代につながる文字の役割について考えたり、文字が果たしてきた役割や現代とのつながりについて話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 楷書について、点画の書き方と字形の整え方を確かめた後に、仮名の書き方と字形の特徴を理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 行書について、点画の省略や形の特徴などを確かめた後に、行書と仮名の調和について理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 手書き文字の特徴を確かめた後に、ノートの効果的な書き方について理解したことを話し合う活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ お礼状や防災パンフレットの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材（第 1,2 学年）や、文字の歴史や使われ方など、文字文化についてのコラム（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 様々な書式とそれらを生かす場面について学ぶ題材「生活に広げよう」（全学年）や、学校生活だけではなく生涯にわたって社会生活の中で使用される様々な書式について学べる「書写活用ブック」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 振り仮名などの小さい文字でも読みやすいカラーユニバーサルデザインフォントを使用したり、全ての生徒の色覚特性に適応するようなデザインにしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 正しく整った文字を書くために必要な学習のポイントを「書写のかぎ」と名付けて示すとともに、何を学ぶか、何ができるようになるかを明確にし、「振り返ろう」で学びを深められるよう工夫されている。 ○ 主体的に学習に取り組めるデジタルコンテンツを掲載し、運筆動画や関連する他教科の紙面を見ることで、文字を書く際のポイントを意識することができ、各学年の「書写テスト」を端末で行い、自分の学びを次につなげられるよう工夫されている。 ○ 学んだことを実生活につなげる「生活に広げよう」を3年間で6単元設けることで、身に付けた書写の力を具体的な場面につなげており、授業以外の場面でも巻末の「書写活用ブック」を用いて、さまざまな書式を参照できるように工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
髙村　幸子 （亀田小）	風間　和夫 （学識経験者）	吉田　彩子 （PTA）	中田　宗男 （桔梗中）	澤田　康子 （巴中）	佐藤　忍 （銭亀沢中）

小委員会名　　書　写

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
15 三省堂	書写 015-72
教科書名	現代の書写　一・二・三

2 調査研究内容

取扱内容	○ 硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の組み立てに気を付けて書いたり、紙面全体における記事などの配置を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動 第2学年～ 点画の省略や筆順の変化に気を付けて書いたり、目的や必要に応じて楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動 第3学年～ これまで学んだことを生かして身のまわりの文字を書いたり、身のまわりの生活の中から印象に残った文字の工夫や効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画や筆脈の連続に気を付けて書いたり、楷書と比べて点画の形や方向の変化がどこに表れているかを考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動 第2学年～ 点画の省略に気を付けて書いたり、楷書に調和する仮名と比べて形の違いがどこに表れているかを考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動 第3学年～ 中学校生活の中で出会ったお気に入りの言葉を書いたり、文字の大きさや書く位置、書体などを考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 文字の大きさと配列、点画の形や方向の変化など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第2学年～ 点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「名言集を作ろう」において、紙の大きさ・色・素材、筆記具などを決めて書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書き方を学ぼう」を参考にして、楷書と比べて点画の丸みがどこにあるかを考えたり、点画の丸みを理解して書くことができたかを振り返ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書き方を学ぼう」を参考にして、楷書と比べて筆順がどのように変化しているかを考えたり、筆順の変化を理解して書くことができたかを振り返ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会で活躍する手書き文字の達人の紹介を参考にして、効果的に文字を書くことについて考えたり、文字の魅力はどのようなところかを話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 楷書について、字形の整え方と筆使いを確かめた後に、仮名の字形と筆使いを確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 行書について、点画の省略や筆順の変化などを確かめた後に、行書と仮名の調和を意識して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 手書き文字や活字の特徴を確かめた後に、効果的に文字を書くことの必要性について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ グループ新聞や地域の魅力をまとめた情報誌の書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材（第 1,2 学年）や、文字を手書きすることの意義を見つめ直す教材（第 1,3 学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習した内容を他教材や他教科・社会生活で活用できるようにした教材「やってみよう」（全学年）や、日常生活・社会生活の中で必要となる書式を確認したり、伝統文化に親しむ資料にふれたりすることができるよう「資料編」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 学習上重要な項目は大きな文字や目立つフォントで示したり、色覚の特性を考慮して、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 全ての教材に学習の目標と振り返りが設置され、「書き方を学ぼう」では、書き方のポイントが提示されているほか、どこに気をつけて書けばよいかを具体的な字形例とともに示し、書き方のコツを明確に捉えられるよう工夫している。 ○ 各教材を見開き2ページで構成し、学習すべき内容がひとめでわかるようになっているほか、単元をとおして学んだことが実際に活用できているかを書くことで確認することができ、学んだことを自分の言葉でまとめられるよう工夫している。 ○ 「身のまわりの文字」で文字文化にふれ、文字を手書きすることの意義を認識することをねらっているほか、国語で学習する教材文やレーポート・手紙など国語の学習内容を取り上げ、国語との関連が図られるよう工夫している。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
髙村　幸子 （亀田小）	風間　和夫 （学識経験者）	吉田　彩子 （PTA）	中田　宗男 （桔梗中）	澤田　康子 （巴中）	佐藤　忍 （銭亀沢中）

小委員会名　　書　写

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
38 光　村	書写 038-72
教科書名	中学書写　一・二・三年

2 調査研究内容

取扱内容	○ 硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 文字の外形や中心に気を付けて書いたり、終筆の方向と形の変化を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動 第2学年～ 点画の省略に気を付けて書いたり、場面に応じた楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動 第3学年～ 書写の学びを生かしながらポスターや看板を書いたり、手書き文字のよさを考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の変化に気を付けて書いたり、楷書と比べて点画が変化しているところを考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動 第2学年～ 筆順の変化を理解して書いたり、行書と仮名の調和を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動 第3学年～ 三年間で学習したことを振り返り、自分の課題を確かめて書いたり、未来の自分をイメージして自分の名前をどのように書くかを考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 漢字を構成する点画の種類と筆使い、点画の変化や連続など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第2学年～ 点画の省略や筆順の変化、行書と仮名の調和など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「防災フェスタを開こう」において、テーマを決め、集めた情報をもとにポスターや看板などを書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学びのカギ」を参考にして、楷書と行書を比べて点画がどのように変化しているかを考えたり、点画の変化について学習したことを生かして硬筆で書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学びのカギ」を参考にして、楷書と行書を比べて点画が省略されているところを考えたり、点画が省略される理由を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の進め方」を参考にして、身の回りには、どのような文字があるかを考えたり、文字から受ける印象や、気付いたことを話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 漢字を構成する点画の種類と筆使いを確かめた後に、楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 行書について、点画の省略や筆順の変化などを確かめた後に、行書に調和する仮名の特徴を確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 身の回りには様々な文字があることを確かめた後に、文字の使い分けや効果について気付いたことを書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 集めた情報をまとめたノートやポップの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材（第 1,2 学年）や、文字や文字文化への理解・関心を高める教材（第 2,3 学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 書写で身に付けた力を日常生活に生かせるよう国語や他教科等で活用できる教材（全学年）や手紙やはがき、原稿用紙、通信文等の書式を整理して示した「日常で役立つ書式」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 読みやすさを考慮して独自に開発したオリジナルの教科書体を使用したり、複数の色を組み合わせるときには、色覚の多様性に配慮し、誰もが識別できる配色を採用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 単元の目標が明確で、学習内容と活動の流れがわかりやすく、単元冒頭では文字の書き方の原理・原則を発見できる言語活動が可能であり、「書写ブック」では習得と活用を効果的に繰り返すことができ、自己の成長を確認しやすく設定されている。 ○ 生徒が主体的に考えるきっかけとなる「行書スイッチ」は文字の特徴を観察・比較することを通して生徒自身が確認しながら実践できる工夫がされており、手書きの良さや特徴について考えることで、文字への関心を高められるよう、設定されている。 ○ 生徒が書写に親しみを持てるよう、インターネットとの関わりや SDGs、防災など日常的な題材を幅広く取り上げて、学んだことを生活に活かそうとする主体的な姿勢を促すコラムなどが効果的に設けている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
髙村　幸子 （亀田小）	風間　和夫 （学識経験者）	吉田　彩子 （PTA）	中田　宗男 （桔梗中）	澤田　康子 （巴中）	佐藤　忍 （銭亀沢中）

小委員会名　　書　写

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
17 教 出	書写 017-72
教科書名	中学書写

2 調査研究内容

取扱内容	○ 硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 字形の整え方と筆順のきまりを確かめて書いたり、ノートを読みやすく速く書くためにはどうしたらよいかを考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動 第2学年～ 行書の部分の書き方を確認して書いたり、行書と仮名の調和のさせ方と速く書きやすくするための工夫を考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動 第3学年～ 行書と仮名の調和や配列を確かめて書いたり、身のまわりで見かける文字の表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の連続と形の変化に気を付けて書いたり、楷書と比べて点画の連続や形が変化している部分はどこかを考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動 第2学年～ 点画の省略に気を付けて書いたり、漢字と仮名の大きさ、配列を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し て、読みやすく速く書く活動 第3学年～ 点画の連続と配列に気を付けて書いたり、城跡の文字の書体による表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の筆使いと字形、楷書に調和する仮名の筆使いなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第2学年～ 点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名の書き方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「三年間の学習の成果を生かそう」において、書体や筆記具などを工夫して中学校の魅力が伝わるリーフレットを書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、楷書と仮名を調和させるための書き方を考えたり、漢字と仮名の大きさ、文字の中心、字間、余白について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、漢字の行書の連続、省略、変化と仮名の調和を考えたり、行書と仮名の調和や配列に気を付けて硬筆で書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、自分で取材した文字や教科書の写真の文字について印象や表現効果を考えたり、考えた内容を取材レポートにまとめ発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 楷書の点画の筆使いと字形を確かめた後に、楷書に調和する仮名の筆使いを理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 行書の点画の省略や筆順の変化などを確かめた後に、行書に調和する仮名の筆使いを理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 行書と仮名の調和について、漢字と仮名の大きさ、配列を確かめた後に、俳句を小筆または、筆ペンで書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ お薦めの本の帯や新聞の書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材（第1,2 学年）や、身のまわりで見られる書などの味わい深さを実感できるコラム（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 他教科や日常生活に活用できるよう関連を図った教材「学習を生かして書く」（全学年）や、中学校生活や社会生活に必要な手紙、封筒、一筆箋、年賀状、はがきなどの書き方を取り扱った「書式の教室」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用したり、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインにしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習目標とそれに対応した評価観点が明記され、自己評価ができる振り返りの欄や「試し書き」と「まとめ書き」の欄を設けることにより、生徒自身が一単位の授業において自らの成長に気付けるよう工夫されている。 ○ 巻頭に「学習の進め方」を収録することで学習過程を明確化し、生徒が主体的に見通しを持って考え学べるようになっており、交流活動や気づきの書き込み欄を随所に設けることで主体的で対話的な学びを促している。 ○ 各単元に、函館を始め北海道の代表的な身の回りの文字を扱い、文字への興味関心を高めるコラムや「学習を生かして書く」教材を配置し、習得した書写力を他教科や日常活動に活用できるよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委員	委員	委員	委員	委員
髙村　幸子 （亀田小）	風間　和夫 （学識経験者）	吉田　彩子 （PTA）	中田　宗男 （桔梗中）	澤田　康子 （巴中）	佐藤　忍 （銭亀沢中）

小委員会名　　地　理

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
2 東　書	地理 002-72
教科書名	新編新しい社会地理

2 調査研究内容

取扱内容	○　地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界の地域構成」において、世界各国の人口、面積、国境などから地域構成を大観したり、信仰する宗教との関係などの国旗の由来から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界との時差や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域と東京の雨温図の違いに着目して人々の生活の様子を考察したり、異なる自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の各州の自然環境や歴史、産業から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アジア州では、「経済発展は、地域にどのような影響をあたえているか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、兵庫県神戸市を例に、自然環境や人口、産業、交通等、適切な主題を設けて追究したり、野外観察や聞き取り調査、文献調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえたり、地震や津波発生の仕組み、防災・減災の取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境や人口、産業、交通・通信、生活・文化から7つの地方の地域的特色をとらえたり、「近畿地方の都市と農村は、どのように変化してきたか」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、広島県広島市を例に、地域の特色や課題を調べ、課題の解決策を構想、議論、提案したり、身近な地域の将来像について話し合ったりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習の導入部に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を設けたり、小集団での参加型学習である「みんなでチャレンジ」を配置し、グループで対話したりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量	○　内容の構成・排列については、各単元の導入部において、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返るページを設けるとともに、写真や雨温図などの資料の読み取りや、地域の調査や分析の手法を活用する場面を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　「日本の諸地域」において、北海道における自然の特色を生かした産業や、今に受け継がれるアイヌ民族の文化を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　単元を貫く「探究課題」を設定する活動や、1時間の学習課題を解決する「チェック&トライ」、単元を振り返る活動「探究のステップ」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　教科書の使い方と学び方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　一単位時間のページを、「興味関心を引き出す『導入資料』→授業内容を貫く『学習課題』→『本文』→課題を解決する『チェック&トライ』」の構成で、生徒が見通しをもって取り組むことができ、この時間で何を勉強するのかが明確になっている。 ○　一単位時間ごとのページに『二次元コード』のデジタルコンテンツがあり、内容も多岐にわたり充実している。生徒が授業内容をさらに補えるとともに、家庭学習やグループ学習、さらには予習・復習などに主体的に活用できるよう工夫されている。 ○　北海道全体を一つのまとまりとして取り扱っており、生徒はその中で実生活と関連させて、暮

	らしや文化などに触れることができている。また、グラフや表などは見やすく、わかりやすくなるよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委員	委員	委員	委員	委員
田上　直広 （湯川中）	山口　好和 （学識経験者）	車　淳味 （PTA）	後藤　健司 （桔梗中）	須藤　誠一郎 （恵山中）	白吉　賢治 （五稜郭中）

小委員会名　　地　理

1教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
116 日　文	地理 116-72
教科書名	中学社会地理的分野

2調査研究内容

取扱内容	○　地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口、国境などから地域構成を大観したり、国名や国旗の意味から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界各地との時差や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の生活とその場所の地形や気候、社会の様子に着目して人々の生活の様子を考察したり、自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の各州の自然環境や産業から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アフリカ州では、「資源などにたよる経済をどのように克服しようとしているか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、京都府京都市を例に、自然環境、人口や都市・村落、産業、交通・通信等、適切な主題を設けて追究したり、野外観察や聞き取り調査、文献調査、統計調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえたり、防災・減災のための取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境、交通・通信、歴史的背景などから7つの地方の地域的特色をとらえたり、「関東地方の人口分布にはどのような特色があり、何が課題になっているか」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、宮崎県宮崎市を例に、地域の魅力を高めるために、課題の解決策を考察し、情報を集めて構想したり、よりよい地域の将来像について話し合ったりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習したことを生かして、生徒が自分で考えたり、対話したりするための具体的な問いや活動を提示する「議論してみよう」を設けたり、「学び合い」マークを配置し、グループで話し合ったりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、「学習のはじめに」や本文、脚注の「連携コーナー」に、小学校社会科の学習内容を提示するとともに、地理的分野の学習に必要な地理的技能を習得する「スキルUP」を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　「日本の諸地域」において、北海道における自然環境を生かした観光や、アイヌの人々の生活や文化、アイヌ語に由来する主な地名を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　導入ページに、単元を貫く問いを設定する「学習のはじめに」「節の問いを立てよう」や、各単元末に「まとめとふり返り」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　教科書の構成と学び方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　生徒が自ら「編・章・節の問い」を立て、単元の学習の見通しをもって各時間の「学習課題」に取り組み、「まとめとふり返り」ページで「編・章・節の問い」を改めて考えることができるような構造になっている。 ○　「資料活用」や「議論してみよう」などの学習活動のうち、生徒どうしの話し合いなど，対話的な活動が効果的に取り入れられているものには「学び合い」マークがつけられるなど、協働的

	な学びを行うための工夫がされている。 ○　生徒が身近な地域の事象として取り組みやすいように章の最初に、さっぽろ雪まつりや外国人観光客が多く訪れる倶知安町、函館市の五稜郭、旭川市の旭山動物園など、北海道の各地域が紹介されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委員	委員	委員	委員	委員
田上　直広 （湯川中）	山口　好和 （学識経験者）	車　淳味 （PTA）	後藤　健司 （桔梗中）	須藤　誠一郎 （恵山中）	白吉　賢治 （五稜郭中）

小委員会名　　地　理

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
46 帝　国	地理 046-72
教科書名	社会科　中学生の地理　世界の姿と日本の国土

2 調査研究内容

取扱内容	○　地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口、国境などから地域構成を大観したり、世界の国々や都市の位置から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界各地との時差や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の衣食住に着目して人々の生活の様子を考察したり、自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の各州の自然環境や歴史・文化、産業から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、南アメリカ州では、「農地や鉱山の開発による地域への影響」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、東京都練馬区を例に、自然環境や人口、都市・村落、産業等、適切な主題を設けて追究したり、野外観察や聞き取り調査、文献調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、産業、交通、通信などの特徴をとらえたり、防災・減災のために行われている取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境、生活・文化、産業などから7つの地方の地域的特色をとらえたり、「中部地方の産業は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたか」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、兵庫県神戸市を例に、収集した資料や情報を基に地域の魅力と課題を分析し、要因を考察したり、構想した解決策について話し合ったりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元のはじめに、大判な写真から地域を概観する「写真で眺める」を設定したり、単元のまとめに「学習を振り返ろう」を配置し、思考ツールを活用して他者と対話したりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、脚注欄に、小学校で学習した内容を確認できるように関連用語を提示するとともに、社会に対し生徒自身がどのように参画していくかを考える「未来に向けて」を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　「日本の諸地域」において、北海道における自然を生かした観光産業や、自然と共に生きるアイヌ民族の生活や文化を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　章・節・各本文において、学習する内容を示した「章・節の問い」「毎時の学習課題」や、末尾に「学習を振り返ろう」「確認しよう」「説明しよう」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　教科書を活用した学び方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　生徒が学習の目標を“課題”として捉えられるよう、各単元・単位時間の最初のページに明示されている。また、調べ方・まとめ方は“確認しよう”“説明しよう”で示され、生徒が課題解決に向かえる構成となっている。 ○　巻頭に使い方を紹介するページが 10 ページあり、生徒が見通しをもちやすくしている。生徒が“写真で眺める”から“学習を振り返ろう”まで順序立てて学習できる構成になっており、豊富なコンテンツを利用して学習を深められるようにしている。

	○　写真・鳥瞰図・イラスト等を多用するとともに、「北海道地方」の学習において、五稜郭のイラスト、函館山からの風景写真、“変化する函館の水産業”のコラムを掲載し、生徒が実生活を意識しやすいよう配慮している。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
田上　直広 （湯川中）	山口　好和 （学識経験者）	車　淳味 （PTA）	後藤　健司 （桔梗中）	須藤　誠一郎 （恵山中）	白吉　賢治 （五稜郭中）

小委員会名　　地　理

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
17 教 出	地理 017-72
教科書名	中学社会 地理 地域にまなぶ

2 調査研究内容

取扱内容	○ 地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口などから地域構成を大観したり、国旗や国名に織り込まれている文化や歴史から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界各地の位置関係や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の衣服・食事・住まいや言語・宗教に着目して人々の生活の様子を考察したり、世界各地の自然・社会条件と労働とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の各州の自然環境や他地域との結びつきから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、ヨーロッパ州では、「なぜ、国々の結びつきが強まったのか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、愛知県名古屋市を例に、歴史・文化、交通、商業等、適切な主題を設けて追究したり、観察や聞き取り調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえたり、地形、自然災害と防災、開発と環境保全の取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信などから7つの地方の地域的特色をとらえたり、「九州地方における自然環境とその保全」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、熊本県水俣市を例に、地域の特色や課題の背景、現状を調べ、調査結果を発表、共有したり、望ましい地域の在り方について話し合ったりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、授業の導入の場面で、生徒の興味・関心が高まるような写真・図版を提示したり、本時の学習内容を確認し、自分の言葉で表現する「確認」「表現」のコーナーを配置して、他者と交流したりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、巻頭の「地理にアプローチ」において、小学校で学習した地図のきまりや地図帳の使い方などを振り返る活動を位置付けるとともに、「地域の在り方」では、発表会に地域の方々を招いて意見を提案しようとするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然環境を生かした産業や、持続可能な社会づくりの視点からアイヌ民族の文化を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 1時間の授業の見通しを分かりやすく示した「学習課題」や、章・節の学習を振り返るページ「学習のまとめと表現」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。

その他	○　単元を通して課題解決的に学習を進められるように、課題を捉え、見通しを立て、解決をしていく力の育成が図られるようにするとともに、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習に取り組めるよう工夫されている。 ○　授業の見通しをわかりやすく示した「学習課題」や、キャラクターの問いへの補足資料としての「LOOK」、章・節の学習を振り返るページ「学習のまとめと表現」を掲載するなど、主体的に取り組むことができるような工夫がされている。 ○　各節を貫く課題やSDG’ｓに示された目標を視点にして、学習を広げ、深める特設ページ「クロスロード」は、地域的課題の解決に向けた社会参画の意識を高めていくように工夫されている。また、北海道に関わりのある内容が豊富に取り上げられている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
田上　直広 （湯川中）	山口　好和 （学識経験者）	車　淳味 （PTA）	後藤　健司 （桔梗中）	須藤　誠一郎 （恵山中）	白吉　賢治 （五稜郭中）

小委員会名　　地　図

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
2 東　書	地図 002-72
教科書名	新編　新しい社会　地図

2 調査研究内容

取扱内容	○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界全図」において、海洋や極地に着目した地図から地球全体の姿を比較したり、地形や気候を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、学習テーマに沿って、地域や経年変化を比較したり、国名や主要な都市名、自然地名を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、世界の地形や気候、人々の生活や文化、産業などを調べたり、複数の資料から特色を読み取ったりする活動 ・「日本全図」において、各地の祭りや伝統工芸品などを調べたり、領土をめぐる問題を抱えている島々を地図や写真で示し、日本の領域を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、縮尺を 100 万分の1に統一した地図から、距離感や地形を比較したり、様々なスケールで日本の土地利用を読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、地形、降水量、人口分布、土地利用などの主題図から基本的な情報を読み取ったり、日本で起こりやすい災害を調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設け、複数の資料を関連させて捉えたり、考えを広げたりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、三分野の学習に活用できる主題図において、現代の諸課題に関連する資料を掲載したり、歴史に関連する場所を示す「歴史の舞台」を充実するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「江戸・東京の鳥瞰図」など、歴史や地形を視覚的にとらえることができる見開き全体を使った資料を掲載したり、調べ学習や修学旅行で活用できる地図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○ SDGs をテーマにしたページに関連資料を掲載したり、地図の活用法や学習を深める問いを提示した「Bee'seye（ビーズアイ）」のコーナーを設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年） ○ 全ての生徒にとって、視認性の高いユニバーサルフォントを使用したり、グラフや地図などでは、見分けやすい色を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）
その他	○ 1ページあたりの情報が充実しており、関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」があることで、生徒が複数の資料を容易に関連させて、授業内容を補うとともに、学習をより広げることができる構成になっている。 ○ 資料活用コーナー「Bee'seye」により、地図の活用や学習を深めるためのヒントとなる問いが提示されることで、生徒が、授業だけでなく、個別学習や家庭学習などにも活用しながら、興味関心を高められるように工夫されている。 ○ ページの中に特に函館市や道南地方に焦点をあてた部分はないが、デジタルコンテンツの内容が多岐にわたっており、北海道のコンテンツの中に函館市の写真を見ることができるなど、生徒が興味関心をもって調べることができるよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委員	委員	委員	委員	委員
田上　直広 （湯川中）	山口　好和 （学識経験者）	車　淳味 （PTA）	後藤　健司 （桔梗中）	須藤　誠一郎 （恵山中）	白吉　賢治 （五稜郭中）

小委員会名　　地　図

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
46 帝　国	地図 046-72
教科書名	中学校社会科　地図

2 調査研究内容

取扱内容	○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界全図」において、日本中心の地図とヨーロッパ中心の地図を比較したり、地域の時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、同じ縮尺の図から地域の特色を比較したり、世界各地の環境問題の取組を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、世界各州の自然環境や生活・文化、歴史、産業などを調べたり、世界と日本とのつながりを読み取ったりする活動 ・「日本全図」において、各地の伝統工芸品や世界文化遺産を調べたり、北方領土、竹島、尖閣諸島についての資料から日本固有の領土を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、地域の変化の様子を捉えられるよう、昔と今の地域の様子を比較したり、50 万分の1図において、土地利用を読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、自然、降水量、人口分布、産業、工業・交通の5図から分布の特徴を読み取ったり、自然災害や防災の取組を調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「地図で発見！」のコーナーを設け、地理的な見方・考え方を働かせる問いを追究したり、考えを説明したりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、歴史的分野及び公民的分野の学習と関係が深いページにおいて、「歴史アイコン」「公民アイコン」を示し、他分野の学習に活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 世界の各州に、自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、修学旅行や平和学習に活用できるイラストの入った地図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○ 地図帳の見方・使い方を解説した「この地図帳の凡例」「この地図帳の使い方」を掲載したり、SDGs について考察できる「SDGs アイコン」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年） ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、カラーユニバーサルデザインに対応した色彩表現にしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）
その他	○ 生徒が地理的な見方・考え方をはたらかせられる“地図で発見”のコーナーを 156 か所設け、自主的な調べ学習を促している。また、SDGs について生徒が考察できる資料を豊富に揃えるとともに、専用のアイコンで見つけやすくしている。 ○ 世界では州別、日本では地方別の豊富なデジタルコンテンツに、生徒がアクセスしやすくしている。「人口」「生活・文化」などのテーマ別ページには、“主題学習”を設け、生徒が見通しをもって取り組みやすくしている。 ○ “日本との結びつき”のコラムや、“絵記号”を多用するなど、生徒が主題図を比較しやすい工夫がなされている。また、函館市の地形図を利用した地形図の学習ページが設けられ、生徒が実生活を意識して取り組みやすくしている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
田上　直広 （湯川中）	山口　好和 （学識経験者）	車　淳味 （PTA）	後藤　健司 （桔梗中）	須藤　誠一郎 （恵山中）	白吉　賢治 （五稜郭中）

小委員会名　　歴　史

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
236 令　書	歴史 226-72
教科書名	国史教科書　第7版

2 調査研究内容

取扱内容	○　歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物と文化に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や元号、世紀、時代区分などの説明から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、堺の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や発表の方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、古墳時代の日本列島における国家形成に着目して、同じ形の前方後円墳が点在する意味を考察したり、単元のまとめでは「古代の時代ごとの特色をとらえよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、南北朝の争乱と室町幕府に着目して、足利尊氏が建武政権から離反した理由を考察したり、単元のまとめでは「鎌倉時代に登場した新しい仏教を分類しよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の支配の仕組みに着目して、江戸幕府が 200 年以上も続いた理由を考察したり、単元のまとめでは「世界の植民地競争に巻き込まれた激動の時代を調べよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、日清・日露戦争に着目して、諸国に与えた影響を考察したり、単元のまとめでは「明治維新による近代化と弊害について調べ考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本の経済の発展に着目して、戦後の復興を果たすための国民の努力を考察したり、単元のまとめでは「歴史について議論し協力して結論を導こう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　江戸時代における欧米諸国の接近の学習において、ロシアのラクスマンによる根室への来航について説明したり（全学年）、「鎖国下の対外窓口」の中で、儀式の様子を伝える資料を掲載して、アイヌの人々と和人との交易について紹介したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「歴史カードを作ってみよう」で小学校で学んだ人物について調べる活動（全学年）や、「グループで歴史を調べよう」でテーマを決めて調べる活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、カラー印刷の「巻末口絵」や「日本美術図鑑」を掲載したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
使用上の配慮等	○　江戸時代における欧米諸国の接近の学習において、ロシアのラクスマンによる根室　への来航について説明したり（全学年）、「鎖国下の対外窓口」の中で、儀式の様子を　伝える資料を掲載して、アイヌの人々と和人との交易について紹介したり（全学年）　するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「歴史カードを作ってみよう」で小学校で学んだ人物について調べる活動（全学年）　や、「グループで歴史を調べよう」でテーマを決めて調べる活動（全学年）を掲載す　るなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習　しやすいよう、カラー印刷の「巻末口絵」や「日本美術図鑑」を掲載したり（全学年）　するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全　学年）など、使用上の便宜が図られている。

その他	○　一単位時間に課題を設置し、「考えよう」のコーナーや文献資料を載せ、思考を深められるようにしている。内容面において基本的な内容の列挙にとどまらず、より高いレベルの知的探究ができるように深い内容も掲載されている。 ○　縦書きを採用し、小見出しにも「いろは順」を用いている。また、巻末の日本美術図鑑では、図版の美しさが際立っている。教科書がコンパクトであり、読書する楽しみを感じられるようにしている。なお、紙面には、2次元コードの掲載はない。 ○　大英博物館所蔵のアイヌのイオマンテの資料が掲載されている。本文の他にコラムをおいて、情報を補足するとともに、道徳との関連をもたせたり、これからの社会に生かしたりできるようにしている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐々木　理之 （五稜郭中）	野嵜　雄太 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	田中　努 （赤川中）	松井　秀樹 （港中）	大山　裕香 （青柳中）

小委員会名　　歴　史

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
2 東　書	歴史 002-72
教科書名	新編　新しい社会　歴史

2 調査研究内容

取扱内容	○　歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化財、出来事に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、福岡や福井の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや問いを設定した調査・考察から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代の律令国家の成立に着目して、貴族と庶民の生活に相違が出た理由を考察したり、単元のまとめでは「古代の日本ではどのように国家が形成されたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代の武士の政権の特色に着目して、貴族の邸宅と武士の館を比較し違いを考察したり、単元のまとめでは「武士の支配が広がり社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の支配の仕組みに着目して、地図で大名の配置を読み取り、その理由を考察したり、単元のまとめでは「近世の日本では社会にどのような変化が見られたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の諸改革の目的に着目して、アイヌの人々と琉球の人々への対応の共通点を考察したり、単元のまとめでは「近代化で日本はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、戦後の政治の展開と国民生活の変化に着目して、日本復興を象徴する出来事を考察したり、単元のまとめでは「戦後の日本は何をきっかけに成長したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、近世の社会の様子の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、屏風絵等の複数の資料を比較し、時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○　内容の構成・排列については、「歴史へのとびら」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　江戸時代の最上徳内、近藤重蔵、間宮林蔵らの北方探検の地図を掲載して、その行程を紹介したり（全学年）、「アイヌ文化とその継承」として、儀式や生活の様子などの資料を掲載して、アイヌ文化の成立と展開、アイヌ文化継承の動きを説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「チェック&トライ」で一単位時間の学習の最後に振り返る活動（全学年）や、「みんなでチャレンジ」で他者の意見を取り入れ、自分の意見を調整する活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○　一単位時間の「学習課題」が設定されていて、学習の終わりには、「チェック」「トライ」の定型があり、知識・技能の確認と振り返りができるようにしている。図や資料の形や色を読み取りやすく、学習の手助けとなるようにしている。 ○　2次元コードがすべての見開きページに入っていることで解説動画や歴史的資料に触れることができるようにしている。また、様々な思考ツールを用い章末の探究課題で課題解決ができるように、サポートをしている。 ○　「もっと知りたい」のページでは、アイヌ文化とその継承について取り上げ、伝統文化や人権・平和のテーマと関連するページも示している。現代の諸問題を5つの視点で捉え、自分ご

	ととして解決していく意識と態度を身につけるよう工夫している。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐々木　理之 （五稜郭中）	野嵜　雄太 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	田中　努 （赤川中）	松井　秀樹 （港中）	大山　裕香 （青柳中）

小委員会名　　歴　史

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
17 教 出	歴史 017-72
教科書名	中学社会 歴史 未来をひらく

2 調査研究内容

取扱内容	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物や文化財、できごとなどに着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、鎌倉や名古屋の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法や発表方法を示した地域調査の手引きから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代の律令国家の成立に着目して、律令制のもとでの暮らしを考察したり、単元のまとめでは「国はどのように生まれたのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代の文化の変化に着目して、社会の変化との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「武士と民衆の成長によって、社会はどのように変化したのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代の国際関係に着目して、鎖国のもとでの世界との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「近世の日本はどのような政治のしくみをつくったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の政策に着目して、アイヌ民族や琉球の人たちへの影響を考察したり、単元のまとめでは「近代の日本では政治・社会・文化はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、国際社会での我が国の役割に着目して、平和な世界を築く取組を考察したり、単元のまとめでは「戦後、日本は世界とどう関わり、社会をどう変化させたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
内容の程度・排列・分量等	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、中世の日本と世界の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、絵巻物を中心に複数の資料を比較し、人々の生活の様子について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方・調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 江戸時代に函館に来航したペリー艦隊の航路や函館にある来航記念碑の資料を掲載して、函館寄港の際のエピソードを紹介したり（全学年）、アイヌの人たちの言葉や文化について、神話の資料を掲載して、現在までアイヌ文化を伝えてきた人々の努力を説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「確認」で一単位時間の学習内容を振り返って整理する活動（全学年）や、「表現」で学習内容を図に表したり、自分の言葉で説明したりする活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。

その他	○　単元（章）を通して課題解決的に学習を進められるように、章の問い、節の問いが明示されている。1単位時間毎の学習課題に対応する「確認」・「表現」がわかりやすく明記されている。視点を変えて捉え直す特設ページで、応用力を養うことができるようにしている。 ○　章のまとめでは、見方・考え方を育てる学習活動（ホップ・ステップ・ジャンプ）を明記している。歴史の技（補足資料）や歴史の窓（コラム）を通して、主体的に学ぶことができるようにしている。 ○　「身近な地域を調べよう」では、アイヌの歴史や市立函館博物館所蔵の「蝦夷錦」を扱うなど、アイヌ民族を深く知ることができるようにしており、北海道に関わる資料が豊富である。現代社会の課題についてSDGsの視点から社会参画ができるよう促している。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐々木　理之 （五稜郭中）	野嵜　雄太 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	田中　努 （赤川中）	松井　秀樹 （港中）	大山　裕香 （青柳中）

小委員会名　　歴　史

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
46 帝　国	歴史 046-72
教科書名	社会科　中学生の歴史　日本の歩みと世界の動き

2 調査研究内容

取扱内容	○　歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、博多や横浜の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや課題を設定した調査から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、古墳時代の日本列島における国家形成に着目して、前方後円墳の役割を考察したり、単元のまとめでは「古代の社会にはどのような特色があったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代の武家政権の成立に着目して、貴族と比較して武士の暮らしの特徴を考察したり、単元のまとめでは「武士による政治で社会がどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代の人々の考えや幕府の方針に着目して、江戸時代の政治や社会の特色を考察したり、単元のまとめでは「全国を統一する政権の誕生で社会がどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治維新と近代国家の形成に着目して、明治政府の国づくりの進め方を考察したり、単元のまとめでは「近代国家の建設を目指し社会はどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本の経済の発展に着目して、高度経済成長、東京オリンピックの意義を考察したり、単元のまとめでは「戦後の日本の社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、江戸時代の町人文化の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、イラスト等の複数の資料を基に江戸の人々の暮らしについて話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○　内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方と調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　屯田兵による開拓や開拓使による札幌の建設、官営工場の設置などの北海道の開拓を紹介したり（全学年）、「アイヌ民族の暮らし」として、儀式や生活の様子、言葉などの資料を掲載して、アイヌ民族の生活の様子や交易を説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「説明しよう」で説明する活動を通して学習を振り返る活動（全学年）や、「アクティブ歴史」で自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりする活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　教科書を活用した学び方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○　単元を貫く「章の問い」、小単元を貫く「節の問い」、一単位時間に「学習課題」・「確認しよう」・「説明しよう」が明示され、生徒が学ぶ学習の目標やねらいを明確にすることができるようにしている。 ○　小学校の学びの関連を図り、多様なデジタルコンテンツが収載されている。また、単元はじめの「章扉」タイムトラベルでは、イラストを通じて、興味・関心をもちながら多面的・多角的に学び、章のまとめに繋げることができるように設定されている。 ○　「歴史を探ろう」では、昆布ロードと北前船をとりあげ、蝦夷地とアイヌ民族についてふんだん

	に取り扱っている。「これからの社会を構想しよう」では、社会を構想するとともに学びを公民的分野への学習へとつなげられるようにしている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐々木　理之 （五稜郭中）	野嵜　雄太 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	田中　努 （赤川中）	松井　秀樹 （港中）	大山　裕香 （青柳中）

小委員会名　　歴　史

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
81 山　川	歴史 081-72
教科書名	中学歴史　日本と世界　改訂版

2 調査研究内容

取扱内容	○　歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史を大きく変えた人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、考古学や政治、社会、年号による時代区分についてのまとめや年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、平泉や金沢の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法やレポートの作成方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、平安時代の東アジアとの交流に着目して、文化の国風化を考察したり、単元のまとめでは「平安時代になると、社会はどのように変化したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代の武家政治の展開に着目して、幕府の仕組みや守護の役割の変化を考察したり、単元のまとめでは「宗教の果たした役割を考えてみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代の対外関係に着目して、経済的な発展や文化の形成を考察したり、単元のまとめでは「社会や経済の変化に対して、幕府はどのように対応したのだろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の外交の展開に着目して、国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「明治政府はどのような近代国家をつくろうとしていたのだろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本国憲法と日本の民主化に着目して、国際関係の変化と日本の外交を考察したり、単元のまとめでは「冷戦下の世界で起こった戦争の特徴は何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、日露戦争と東アジアの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風刺画や地図などの様々な資料を基に日露戦争が与えた影響について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○　内容の構成・排列については、「歴史との対話」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　明治時代の札幌の地図やクラークの資料を掲載し、開拓の歴史などから札幌について考える課題を位置付けたり（全学年）、「アイヌ民族の歴史と文化について、アイヌ民族の首長やイオマンテの様子を描いた絵を掲載して、特徴を示したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「ステップアップ」で一単位時間の学習内容を踏まえた発展的な学習活動（全学年）や、「歴史を考えよう」で学んだことを基に話し合い、考察する活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○　一単位ごとに「学習課題」と「ステップアップ」で見通しをもって進められるようにしている。社会的な事象や歴史的な見方・考え方を身につけられるように、いつ・どこで・なぜ・どのように起こったのかを着目できるようにしている。 ○　各世紀の様子をイラストを活用してまとめることで、興味・関心を高められるつくりにしている。「歴史のアプローチ」と「地域からのアプローチ」から歴史を掘り下げ、地域の歴史を考えることで幅広い知識と教養を高めることができるようにしている。 ○　歴史へのアプローチでは、アイヌ民族の歴史と文化をとりあげ、高田屋嘉兵衛についても掲

	載されている。日本や世界が抱える諸問題について考察し、主体的な社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を身につけられるようにしている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐々木　理之 （五稜郭中）	野嵜　雄太 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	田中　努 （赤川中）	松井　秀樹 （港中）	大山　裕香 （青柳中）

小委員会名　　歴　史

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
116 日　文	歴史 116-72
教科書名	中学社会　歴史的分野

2 調査研究内容

取扱内容	○　歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物や文化財、ことがらに着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、年号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、奈良や姫路の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや課題を設定した調査・考察から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代の律令国家の成立に着目して、政治や文化の特色を考察したり、単元のまとめでは「日本という国はどのように生まれ、発達していったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代の商工業の発展に着目して、民衆の成長による社会の変化を考察したり、単元のまとめでは「たえず戦乱がくり返される時代となったのはなぜか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の政策や社会の変化に着目して、政治改革が成功しなかった理由を考察したり、単元のまとめでは「戦乱のない安定した時代は、どのように続いたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、江戸時代の幕藩体制とのちがいに着目して、明治政府の政策の目的を考察したり、単元のまとめでは「近代化の特色は、どのような点にあらわれているか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、経済大国日本と外国の関係に着目して、世界に与えた影響を考察したり、単元のまとめでは「戦後日本は平和で民主的な社会、豊かな暮らしをどう追求したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、承久の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、地図や年表などの複数の資料を基に、古代から中世への時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○　内容の構成・排列については、「私たちと歴史」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　北方領土に関する条約や国境の変化の地図、写真などの資料を掲載して、第二次世界大戦後の日本の取組を説明したり（全学年）、アイヌ文化について、儀式や神話、国立アイヌ民族博物館などの資料を掲載して、アイヌ文化の伝承について説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「確認」で一単位時間の学習の理解を確認する活動（全学年）や、「学び合い」で話し合いなどの対話的な活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　教科書の構成と学び方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○　一単位時間で何を学ぶのかを「学習課題」と「見方・考え方」をリンクさせて明確に示している。「学習課題」に対応した「確認」と「表現」で知識や技能を確実に定着できるように工夫している。 ○　各章の導入ページで章の問いと豊富な図表で興味関心を高め、「チャレンジ歴史」やデジタルコンテンツ（ムービー・ポートフォリオ・小テスト）などで深い学びにつなげることができるようにしている。 ○　「歴史を掘り下げる」では、アイヌ民族の文化の形成をとりあげ、志海苔館跡や国立民族学

	博物館について写真入りで取り上げている。よりよい未来を作るために何が大切か、現代の課題について歴史を踏まえて考えることができるようにしている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐々木　理之 （五稜郭中）	野嵜　雄太 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	田中　努 （赤川中）	松井　秀樹 （港中）	大山　裕香 （青柳中）

小委員会名　　歴　史

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
225 自由社	歴史 225-72
教科書名	新しい歴史教科書

2 調査研究内容

取扱内容	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校の歴史学習で学んだ人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や元号、世紀、時代区分などの資料から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、奈良と京都の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や考察したことから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、大和朝廷による国内の統一に着目して、古墳の広まりから勢力の広がりを考察したり、単元のまとめでは「古代とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代の武士の政権の特徴に着目して、将軍と武士の主従関係を考察したり、単元のまとめでは「中世とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の諸政策の目的に着目して、江戸時代の社会の安定を考察したり、単元のまとめでは「近世とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、近代産業の発展と国民生活の変化に着目して、日本の産業革命の進行を考察したり、単元のまとめでは「近代前半(幕末・明治)とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、高度経済成長と日本の発展に着目して、社会や外交への影響を考察したり、単元のまとめでは「現代とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
内容の程度・排列・分量	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、二つの世界大戦と日本の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、二つの世界大戦の共通点と違いについて話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特徴や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 江戸幕府から蝦夷地(北海道)の測量を命じられた伊能忠敬の地図と現在の日本地図を比較して紹介したり(全学年)、アイヌの人々の文化や生活について、イオマンテなどの祭りや音楽、サケ、コンブ、毛皮などの交易の様子を説明したり(全学年)するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 本文の記述を深め、歴史の見方のヒントを与える読み物(全学年)や、「チャレンジ」で単元を学習したあと挑戦したいワンポイントの課題を掲載する(全学年)など、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり(全学年)、全ての生徒が学習しやすいよう、レイアウトの統一に配慮したり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、ICTの活用例を掲載する(全学年)など、使用上の便宜が図られている。

その他	○　一単位ごとの学習課題を明示するとともに、解決の手立てを欄外の「チャレンジ」に提示し、知識を整理できるようにしている。章末のまとめでは、時代の特徴を考えるページで見方・考え方を深めることができるようにしている。 ○　章のはじめに小学校で学んだ人物を紹介し、既習事項との関連を図っている。もっと知りたい（コラム）・人物クローズアップ（コラム）で歴史をさらに深く学べる素材を配置している。なお、紙面には2次元コードの掲載はない。 ○　「もっと知りたいコラム」では、日本の近代化とアイヌについて取り上げている。各単元をミニコラムから、歴史事象の関連や背景に踏み込むとともに、道徳との関連をもたせ、これからの社会に生かすことができるようにしている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委員	委員	委員	委員	委員
佐々木理之 （五稜郭中）	野嵜雄太 （学識経験者）	高橋めぐみ （PTA）	田中努 （赤川中）	松井秀樹 （港中）	大山裕香 （青柳中）

小委員会名　　歴　史

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
227 育鵬社	歴史 227-72
教科書名	新しい日本の歴史

2 調査研究内容

取扱内容	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化財に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、大坂や横浜の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、実際の調べ学習を例にした調査の流れから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、飛鳥時代の律令国家の確立に至る過程に着目して、聖徳太子が目指した政治を考察したり、単元のまとめでは「資料を見て古代の日本の変化について考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代の武家政権の成立に着目して、古代の律令政治との違いを考察したり、単元のまとめでは「人々の暮らしや社会がどのようになったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の成立と大名統制に着目して、江戸幕府による支配が続いたことを考察したり、単元のまとめでは「江戸時代の社会はどのような社会になっていったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、大日本帝国憲法の制定に着目して、憲法の作られ方や政治のしくみを考察したり、単元のまとめでは「近代化に向けて歩んだ日本にとってどんな時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、第二次世界大戦後の諸改革に着目して、憲法が大きく変化した点を考察したり、単元のまとめでは「戦後の日本と世界の歩みからどんな時代だったといえるか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
内容の程度・排列・分量等	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第一次世界大戦後の国際情勢の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、地図資料を基に世界の植民地やアジアの民族運動について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「序章」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 明治時代の開拓使による北海道の開拓について、屯田兵による開拓の様子をなど紹介したり（全学年）、「蝦夷地との交易」の中で、儀式の様子を描く資料などを掲載して、アイヌ民族による交易の様子や和人との関わりを説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「確認と探究」で学習内容を振り返る活動（全学年）や、「TRY！」でグループで話し合ったり調べたりして取り組む対話的な活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の構成について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 1単位時間で学習する「課題」と対応する「確認」「探究」で設定されており、学習内容を振り返り定着しやすいように工夫されている。単元を貫く問いとしての「節の課題」が1単位時間にも設定されており、見通しをもちやすくしている。 ○ はじめに豊富なイラストと課題が設定されていて、生徒が主体的に学習できるように構成されている。また、歴史ズームイン（コラム）で見方・考え方を深められるようになっている。2次元コードから学習に役立つサイトへ移動できるようにしている。 ○ 蝦夷地南部の12館や志海苔館の資料等、アイヌ交易ルートの資料が掲載されている。「虫の目で見る歴史コーナー」で身近な生活や文化の目線で歴史を捉えられるようになっている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐々木　理之 （五稜郭中）	野嵜　雄太 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	田中　努 （赤川中）	松井　秀樹 （港中）	大山　裕香 （青柳中）

小委員会名　　歴　史

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
229 学び舎	歴史 229-72
教科書名	ともに学ぶ人間の歴史

2 調査研究内容

取扱内容	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物、できごとや文化に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や元号、世紀、時代区分などの資料から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、東京の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や発表の方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、弥生時代の稲作の広まりに着目して、くらしや社会の変化を考察したり、単元のまとめでは「人びとの生活や社会のようす、制度や文化はどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代の諸産業の発達に着目して、都市や農村の自治的な仕組みの成立を考察したり、単元のまとめでは「中世はどのような人びとが力をもった時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の政治改革や社会の変化に着目して、百姓一揆が起こった背景を考察したり、単元のまとめでは「中世と比較し近世・江戸時代はどのような時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、立憲国家の成立と議会政治の始まりに着目して、自由民権運動の広まりや変化を考察したり、単元のまとめでは「近代はどのような特色をもった時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、サンフランシスコ講和会議の参加国に着目して、第二次世界大戦後の日本の国交の変化を考察したり、単元のまとめでは「時代の変化を絵に表してみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動
内容の程度・排列・分量等	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、中世の武士の政治への進出と展開の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、鎌倉幕府の政治の特徴や武士の願いについて話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史と出会う」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 領土画定に関して、開拓使設置や北海道への移住奨励に関する資料を掲載して、明　治時代の北海道の開拓の進展について説明したり（全学年）、江戸時代にアイヌの人々　が採集した昆布の行方を課題として提示し、近隣諸国との交易の拡大について紹介し　たり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「フォーカス」で歴史の舞台に焦点を当てて学習を深める活動（全学年）や、「歴　史を体験する」で学習内容に関わる体験活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学　習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習　しやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮したり（全学年）するとともに、　1人1台端末を活用した学習活動として、ICTの活用例を掲載する（全学年）など、　使用上の便宜が図られている。
その他	○ 見開き2ページの左上に大きな図版を配置し、1単位時間の目標やねらいを明確に示すことで、観察して様々な発見や疑問を出すことができるようにしている。章のはじめに各地域の生活や世界のつながりから、課題意識を育成できるようにしている。 ○ 見開き2ページに大きな図番や学習展開を豊かにする資料、多面的・多角的な思考を支える側注・グラフなどを配置し、興味・関心をもって学習に向かえるようにしている。（教科書見本がないため確認できず）

	○　現代史学習では、21世紀までのテーマを設定し、生徒自らが歴史的事象を今日の社会と結びつけ、よりよい社会の実現を視野に様々な課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養えるようにしている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
佐々木　理之 （五稜郭中）	野嵜　雄太 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	田中　努 （赤川中）	松井　秀樹 （港中）	大山　裕香 （青柳中）

小委員会名　　公　民

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
2 東　書	公民 002-92
教科書名	新編　新しい社会　公民

2 調査研究内容

取扱内容	○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、日本で暮らす外国人の数の推移について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、部活動の体育館利用の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、ケーキの価格の決まり方について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、日本の少子高齢化による日本の社会保障への影響について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、憲法改正の手続きについて、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、選挙シミュレーションや模擬裁判について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の難民発生数について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「私たちのくらしと経済」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、経済活動の意義や市場経済について調べ、市場の働きに委ねることが難しい諸問題について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成と排列については、「現代社会と私たち」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 地方自治にかかわる学習においては、芽室町の議会改革・活性化について、人権にかかわる学習においては、旭川市のアイヌ語の地名表示板について掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元の学習課題を立てる「導入の活動」や単元の学習課題を解決する「まとめの活動」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 章、節ごとに目標として「探究のステップ」が設定されており、章の終わりには、目標に沿って思考ツールで考え方をまとめることができるように工夫されている。また、地理・歴史との関連や小学校で習った言葉が表記されている。 ○ 「導入の活動」でイラスト等があり、「探究のステップ」につなげており、章末の「確かめよう」「ふり返ろう」「深めよう」で学習のまとめとしている。また、見開き左側に二次元コードがあり、動画や用語、ワークシートを閲覧できるように工夫されている。 ○ アイヌ関連では、民族舞踊の動画など、他者よりも多くの情報を掲載している。領土問題では、2ページで竹島、北方領土、尖閣を扱っている他、LGBTQ は、P52 の欄外注と P76 の共生社会として扱う構成となっている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
宮前　由一 （恵山中）	野嵜　雄太 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	小阪　忠弘 （北中）	中川　証子 （港中）	泉　太貴 （湯川中）

小委員会名　　公　民

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
17 教　出	公民 017-92
教科書名	中学社会　公民　ともに生きる

2 調査研究内容

取扱内容	○　公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、総人口と年齢別人口の割合（人口ピラミッド）について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、合唱コンクールの練習場割り当ての事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、キャベツの月別の入荷量と平均価格について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、社会保障費の給付と負担のこれからについて、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、男女の平均賃金の推移について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、選挙のしくみや裁判員裁判について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、ユニセフが支援する学校について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な未来の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「安心して豊かに暮らせる社会」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会資本の整備や環境の保全について調べ、市場の働きに委ねることが難しい諸問題について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成と排列については、「私たちの暮らしと現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な未来の構築についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　地方自治にかかわる学習においては、倶知安町のみんなで親しむ雪条例について、人権にかかわる学習においては、名寄市の「コロナいじめゼロ宣言」のポスターを掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　生徒の生活体験から単元の学習課題を捉える「ウォーミングアップ！公民」や章・節の学習を振り返る「学習のまとめと表現」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　章の目標、節の問いが設定されており、小学校の地理・歴史との関連および単元名が明記されている。種々の思考ツールが巻頭に記載されており、章末において、それらを用いた学習活動が設定されている。 ○　章の初めに二次元コードがある他、資料によって動画を閲覧できる。見通しをもって課題に取り組むことができるように「ウォーミングアップ！公民」を章の初めに設定し、章末の「HOP」「STEP」「JUMP」で学習のまとめることができるようにしている。 ○　アイヌ関連では、古式舞踊写真の他、平等権での本文解説、民族共生象徴空間の二次元コードを掲載している。領土問題は、本文中と特設ページで触れており、LGBT（Q なし）はP54 で特設となっている他、全ページに SDGsのマークが掲載されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
宮前　由一 （恵山中）	野嵜　雄太 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	小阪　忠弘 （北中）	中川　証子 （港中）	泉　太貴 （湯川中）

小委員会名　　公　民

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
46 帝　国	公民 046-92
教科書名	社会科　中学生の公民　よりよい社会を目指して

2 調査研究内容

取扱内容	○　公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、主な情報機器の保有状況について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、マンションの騒音問題の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、みかんの入荷量と価格について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、赤字路線バスの事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、婚姻平等の議論について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、スイスの直接民主制や少年議会について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界で頻発する異常気象について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の形成」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「経済活動と私たち」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、経済活動の意義や金融のしくみと働きについて調べ、市場の働きに委ねることが難しい諸問題について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成と排列については、「現代社会と私たち」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　現代社会における文化にかかわる学習においては、北海道のアイヌ民族が受け継いできたアイヌ文化について、地方自治にかかわる学習においては、旭川市の旭山動物園条例について掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　イラストを読み解き、単元の見通しをもつ「学習の前に」や単元の学習を振り返る「学習を振り返ろう」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　教科書を活用した学び方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　章の目標、節ごと、毎時間のタイトルの下に問いが表記されている。小学校・地理・歴史・他教科との関連が欄外や資料に明記されている他、種々の思考ツールが巻頭に記載されており、章末でそれらを用いた学習活動が設定されている。 ○　章と節の初めに二次元コードがあり、動画や用語、リンクを閲覧できる。「学習の前に」でイラストを通して章の問いにつなげている他、章末に図による知識の整理をし、さらに思考ツールを用いて振り返りを行うことができるようにしている。 ○　アイヌ関連では、平等権での本文解説およびコラムでの説明がある。領土問題は、2ページで北方領土、竹島、尖閣諸島を扱っており、特設での解説はない。LGBTQ は、P49 本文と欄外解説で扱っている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
宮前　由一 （恵山中）	野嵜　雄太 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	小阪　忠弘 （北中）	中川　証子 （港中）	泉　太貴 （湯川中）

小委員会名　　公　民

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
116 日　文	公民 116-92
教科書名	中学社会　公民的分野

2 調査研究内容

取扱内容	○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、日本の貿易と企業の海外進出について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、合唱コンクールの練習場割り当ての事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、トマトの価格の決まり方について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、社会保障制度の給付と負担のイメージについて、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、ハンセン病訴訟について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、裁判員裁判シミュレーションや模擬裁判について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の飢餓状況について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「国民主権と日本の政治」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、政党の役割や地方自治の基本的な考え方について調べ、国民の政治参加について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成と排列については、「私たちと現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 日本の伝統文化にかかわる学習においては、白老町の国立アイヌ民族博物館について、地方自治にかかわる学習においては、夕張市の寄付を活用した取り組みについて掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 身近な事例から単元の学習課題を立てる「学習のはじめに」や単元の学習課題を解決する「まとめとふり返り」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 章の初めに章や節の問いが設定されており、本文の欄外には節の問いが表記され意識付けを図っている。地理・歴史との関連付けが表記され、問いが設定されている他、各章のまとめに思考ツールが掲載されている。 ○ 全ての見開きの左側に二次元コードがあり、動画等を閲覧できるようになっている。「学習のはじめに」でマンガから気付いたことを章の問いに結び付け、学習の見通しをもたせており、章末では、3観点に沿った学習のまとめを設定している。 ○ アイヌ関連では、平等権での本文解説等を掲載し、地方自治で函館カレーフェスの写真と解説を掲載している。領土問題は、2 ページで北方領土、竹島、尖閣諸島を扱い、さらに＋αで詳細を解説している。LGBTQ は、P54 欄外注に用語がある他、巻末用語解説で扱われている。

小委員会名　　公　民

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
225 自由社	公民 225-92
教科書名	新しい公民教科書

2 調査研究内容

取扱内容	○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、日本の人口ピラミッドの変化について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、体育館使用問題の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、均衡価格の決定について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、主要国の国民負担率について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、新しい権利について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、政党の役割や裁判員制度について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の人口予測について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「国際社会に生きる日本」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、国家間の相互の主権の尊重や国際機構の役割について調べ、国際社会における我が国の役割について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成と排列については、「現代社会の自画像、個人と社会生活」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の構築についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 地方自治にかかわる学習においては、北海道胆振東部地震を、日本の伝統工芸品にかかわる学習においては、日高地方の二風谷アットゥシについて掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 発展的に学習して理化したり深めたりする「学習のまとめと発展」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、重要語句にゴシック体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、インターネットでの検索方法を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 生徒の発達段階を考え、生徒が基礎的な意味を理解できるように基礎的事項を厳選し、そこから体系的に再構成するとともに、生徒が主体的に学ぶことによって、最も高度にして深い公民的資質を養えるようにしている。 ○ 各章の最後の「学習のまとめと発展」及び終章のレポート、卒業論文、ディベート等において、生徒が主体的に思考し、判断し、表現することによって、主体的・実践的な能力を伸ばしていくことができるようにしている。 ○ 単元に準じた「もっと知りたい」という欄を設け、発展的な学習を通して歴史的・文化的背景や社会の仕組みについて学ぶことにより、理解を深めることができるようにしている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
宮前　由一 （恵山中）	野嵜　雄太 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	小阪　忠弘 （北中）	中川　証子 （港中）	泉　太貴 （湯川中）

小委員会名　　公　民

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
227 育鵬社	公民 227-92
教科書名	新しいみんなの公民

2 調査研究内容

取扱内容	○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、伝統工芸品の生産額・従業者数の推移について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、部活動のグランド割りの事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、トマトの価格の決まり方について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、社会保障給付費の推移について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、女性の年齢別労働力率の推移について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、新聞の世論調査や裁判員裁判について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の飢餓状況について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「私たちの生活と経済」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、金融の働きや財政及び租税の意義について調べ、市場の働きに委ねることが難しい諸問題について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成と排列については、「私たちの生活と現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の構築についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 人権にかかわる学習においては、札幌市の車いすのまま乗れるユニバーサルデザインタクシーの写真を、生産と労働にかかわる学習においては、根室花咲港のサンマの水揚げの写真を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 章全体の学習内容の趣旨をとらえさせる「入り口」や章の学習を活かして学びを深める「これから」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の構成と学習の仕方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、判別しやすい色を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 章、節ごとに課題が設定されており、毎時間のページに節の課題が明記されている。章のまとめは、単元の中で学習した語句を確認しながら整理する形式である。地理・歴史・他教科との関連表記はなく、思考ツールの種類が少なめである。 ○ 章の初めに二次元コードがあり、動画や NHK などの外部リンクを閲覧できる。「章の入り口」で見通しを立て、「章のこれから」で学習内容について、章全体を関連付けてまとめることができるように工夫されている。 ○ アイヌ関連は、平等権の学習において本文ではなく、特設ページで掲載している。憲法関連は、象徴天皇制・防衛について詳細に記述しており、領土問題は拉致問題の特設、北方領土等も「日本固有」と表記されている。また、LGBTQ は「性的指向や成人に関する不当な差別」の記述のみとなっている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
宮前　由一 （恵山中）	野嵜　雄太 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	小阪　忠弘 （北中）	中川　証子 （港中）	泉　太貴 （湯川中）

小委員会名　　数　学

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
2 東　書	数学 002-72	数学 002-82	数学 002-92
教科書名	新編　新しい数学　1 ～MATH CONNECT 数学のつながり～	新編　新しい数学　2 ～MATH CONNECT 数学のつながり～	新編　新しい数学　3 ～MATH CONNECT 数学のつながり～

2　調査研究内容

取扱内容	○　数と式については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、身長の平均を工夫して求めたり、収穫したりんごの個数を求めたりする活動 第2学年～　文字を用いた式と連立二元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力の育成に向け、運動場のトラックにセパレートコースをつくる際のスタート地点の差を求めたり、バスケットボールの3点シュートと2点シュートの本数を求めたりする活動 第3学年～　数の平方根、多項式と二次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、2つの続いた奇数の積に1を加えるとどのような数になるか予想し、証明したり、ロープで囲んだ長方形の面積を調べたりする活動 ○　図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　平面図形と空間図形についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力の育成に向け、同じ形に着目し、新しいしきつめ模様をデザインしたり、2種類のテントの広さを比べたりする活動 第2学年～　平面図形と数学的な推論についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力の育成に向け、三角定規の特徴を電話でどのように説明するとよいか考えたり、ロボットがしゃがむ動作を行うとき、上体を安定させるためのしくみを考えたりする活動 第3学年～　図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力の育成に向け、池をはさんだ2地点間の距離を縮図を使って求めたり、写真に黒板の両端がぴったりと入るカメラの位置を調べたりする活動 ○　関数については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　比例と反比例についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力の育成に向け、水そうに水を入れ始めてからの時間と水の深さの関係を調べたり、数の範囲を負の数に広げ、比例と反比例の性質やグラフの特徴を考えたりする活動 第2学年～　一次関数についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力の育成に向け、水を熱し始めてからの時間と温度の関係をグラフで調べたり、保冷バックに入れたペットボトル飲料を 10℃以下に保てる時間を予想する方法を考えたりする活動 第3学年～　関数 $y=ax^2$ についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力の育成に向け、斜面を転がる球の転がり始めてからの時間と転がった距離の関係を表、式で調べたり、ブレーキ痕が 25mのときの自動車の走行時の速さを推測したり

	する活動 ○ データの活用については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、現在のチームと優勝時のチームの 1500m走の記録を、表やグラフに整理し、分布の特徴を読み取ったり、A社とB社では、どちらのツアーの方がクジラに出会いやすいかを考えたりする活動 第2学年～ データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、2枚のスクラッチカードを削るとき、最も出やすい組合せを樹形図や表を使って説明したり、牛乳の販売数を曜日ごとに表した箱ひげ図を比較して、その傾向を調べたりする活動 第3学年～ 標本調査についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力の育成に向け、ミニトマト 300 個の糖度の平均値を、標本調査で推定したり、「みんなが選ぶ卒業ソングランキング」をまとめるための調査の方法や結果が適切であるかについて考えたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 文字式の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、本棚をつくるのに必要な棒の本数の求め方を考えたり、図に表した求め方を式に表して、説明したりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 平行線と角の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、角の大きさを求める方法を考えたり、求め方を比べて、共通点や相違点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 三角形と比の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、四角形の各辺の中点を結んでできる四角形について調べたり、条件を変えて調べた結果について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 整数の性質の学習において、自然数の範囲で考える素因数分解をする学習の後に、負の数の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 三角形の学習において、二等辺三角形の基本的な性質を三角形の合同条件で証明する学習の後に、逆や反例を使って表現する学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 二次方程式とその解き方の学習において、平方根の考えによる解法の学習の後に、因数分解を利用した解法の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「節の導入」、「○○の利用」では、生徒の身のまわりにある題材を扱ったり、MATHCONNECT として、「数学」と「数学・身のまわり・社会」とのつながりを示し、数学の有用性を実感できるようにしたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○ 「Q（考えてみよう・調べてみよう）」では、「補助発問」を手掛かりに、生徒が既習を生かすことができるようにしたり、章の問題Aに章で働かせた見方・考え方を振り返ってレポートにまとめる「章のふり返りレポート」を新設したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年） ○ 文節のまとまりなどの読みやすい位置で改行したり、カラーユニバーサルデザインの徹底や小さい文字にユニバーサルデザインフォントを採用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）

その他	○ 「見方・考え方」を引き出したり、学びを振り返って「見方・考え方」を意識したりできるよう「虫眼鏡マーク」を記載するなど工夫されている。「章のとびら」において、単元を貫く題材を設定し、その単元を通して身につけたい力を明示している。 ○場面把握にアニメーションを導入することで、問題解決の意欲を高められるようにしたり、「見方・考え方」などを振り返り、数学の有用性を実感できるようにしたりしている。シミュレーションやフラッシュカード等、充実したデジタルコンテンツで自学自習を支援している。 ○「深い学びのページ」において、日常生活の事象に関わる問題発見・解決の過程に沿った活動を設け、現実場面に戻してその意味を考えられるよう工夫している。「数学のまど」において、学習してきたこととスポーツや社会事象との関連を具体的に示している。

小委員会委員氏名

小委員長名	委員	委員	委員	委員	委員
菅原学 （南茅部中）	永澤篤 （学識経験者）	秋山慎一郎 （PTA）	岡崎光男 （亀田中）	小野寺清孝 （巴中）	金子潤 （戸倉中）

小委員会名　　数　学

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
4 大日本	数学 702	数学 802	数学 902
教科書名	数学の世界1	数学の世界2	数学の世界3

2　調査研究内容

取扱内容	○　数と式については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、各地の最高気温と最低気温について調べたり、天秤で釣り合う場合のおもりの重さを求めたりする活動 第2学年～　文字を用いた式と連立二元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力の育成に向け、体育大会のトラック競技のレーンをつくる際のスタート位置の決め方を考えたり、封筒1枚と写真1枚の重さを求めたりする活動 第3学年～　数の平方根、多項式と二次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、正方形の面積から1辺の長さを考えたり、「数当てゲーム」を行い、相手が選んだ数を考えたりする活動 ○　図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　平面図形と空間図形についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力の育成に向け、卒業生が校庭にタイムカプセルを埋めた地点を求めたり、身のまわりの立体をグループ分けしたりする活動 第2学年～　平面図形と数学的な推論についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力の育成に向け、移動させて重ね合わせることができる2つの図形について調べたり、リボンを重ねたときにできる3つの四角形に共通する特徴を調べたりする活動 第3学年～　図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力の育成に向け、校舎の高さを直接図らずに求める方法を考えたり、「さしがね」を使って、丸太の中心を求める方法を考えたりする活動 ○　関数については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　比例と反比例についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力の育成に向け、秒速3mで走る選手の4秒前や4秒後の地点を調べたり、12Lの容器に水を入れたときの満水になるまでの水量と時間の関係を調べたりする活動 第2学年～　一次関数についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力の育成に向け、満水になるまで一定の割合で水を入れていくときの時間と水面の高さを調べたり、標高と気温の関係から、富士山の気温を予想したりする活動 第3学年～　関数 $y=ax^2$ についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力の育成に向け、斜面を転がるボールの転がり始めてからの時間と距離の関係を考えたり、時速 100 ㎞で走る自動車の停止距離を求めたりする活動

	○　データの活用については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、クラスの生徒の「10cm」の長さの感覚を紙テープを使って調べ、そのデータの傾向を調べたり、コイン、瓶のふた、ペットボトルのふたの「表になる場合の起こりやすさ」を調べたりする活動 第2学年～　データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、1年生と2年生の「1週間の読書時間」の分布の様子や散らばりの程度を調べたり、さいころを投げたときの、「1の目」「4以下の目」「偶数の目」が出る確率について調べたりする活動 第3学年～　標本調査についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力の育成に向け、A市の中学校で、睡眠時間が6時間未満の生徒の割合を調査する方法について考えたり、標本調査を利用して、英和辞典の見出し語は全部で何語あるかを推定したりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　加法、減法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、Aさんの考えについて、加法の考え方が正しいかどうかを判断したり、考えの工夫について説明したりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～　式と計算の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文字を使った式の減法の計算が間違っている理由を説明したり、複数の方法で式の値を求め、考えを比べたりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～　二次方程式の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、二次方程式の解き方が正しいかどうかを判断したり、二次方程式の「3つの解き方」について、それぞれの特徴や気付いたことを説明したりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～　数の世界の広がりの学習において、自然数の素因数分解をする学習の後に、正の数、負の数の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～　三角形の学習において、二等辺三角形の基本的な性質を三角形の合同条件で証明する学習の後に、逆や反例を使って表現する学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～　二次方程式の学習において、因数分解による二次方程式の解き方の学習の後に、平方根の考えを使った二次方程式の解き方の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　章や項の導入、利用の場面では、学習する課題の題材を身近なものから選択したり、「MATHFUL（マスフル）」として、数学の歴史や数学者、美術や音楽などの芸術分野との関わりを紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○　項の導入には「考えよう」を設置し、生徒自らが問題や疑問を見いだすことができるようにしたり、数学の有用性に気付くことができるよう、学習の区切りで，学んだことを振り返ることを促す質問を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年） ○　重要な部分を強調するなどレイアウトを工夫したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりして、読みやすさに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）

その他	○　単元冒頭に、学習を始める手がかりとなる問題と学習のめあてを明示し、学習意欲を喚起している。問題解決の仕方の例、問題の解き方の手本を示すことで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫している。 ○　「数学の世界へようこそ」において、問題発見・問題解決の流れを示し、振り返りを含め、主体的な学びを支援している。「学びにプラス」において、学習を広げたり、活用したりする問題や web コンテンツを通して、理解を深めることができるよう工夫している。 ○　章のはじめに、身近な事象を取り入れた活動を保障し、学習意欲の喚起を図っている。「活用・探求」や「社会にリンク」、「MATHFUL」において、数学の世界をさらに広げる問題や読み物などを設け、数学を学習することのよさを実感できるよう工夫している。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
菅原　学 （南茅部中）	永澤　篤 （学識経験者）	秋山　慎一郎 （PTA）	岡崎　光男 （亀田中）	小野寺　清孝 （巴中）	金子　潤 （戸倉中）

小委員会名　　数　学

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
11 学 図	数学 011-72	数学 011-82	数学 011-92
教科書名	中学校 数学 1	中学校 数学 2	中学校 数学 3

2 調査研究内容

取扱内容	○ 数と式については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、正方形を 100 個つくるときの必要なストローの数を調べたり、天秤で釣り合う場合のクリップの重さを求めたりする活動 第2学年～ 文字を用いた式と連立二元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力の育成に向け、連続する3つの整数の和に共通する性質について考えたり、11 枚綴りの遊園地のチケットを使い切った場合の乗り物の乗り方を考えたりする活動 第3学年～ 数の平方根、多項式と二次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、連続する2つの偶数の積に1を加えた結果について考えたり、正方形の面積から1辺の長さを考えたりする活動 ○ 図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 平面図形と空間図形についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力の育成に向け、「麻の葉」と呼ばれる日本の伝統的な文様の中から図形を探したり、身のまわりの立体を分類したりする活動 第2学年～ 平面図形と数学的な推論についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力の育成に向け、一枚の付箋を折って重ねた部分の図形について調べたり、段ボール箱の開いている部分の四角形の対辺がいつでも平行になっていることを証明したりする活動 第3学年～ 図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力の育成に向け、工作用紙の罫線を使って手紙を三つ折りにする方法を考えたり、コンパスや分度器を使って、海図上で、船の位置を求める方法を考えたりする活動 ○ データの活用については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、2つのクラスの「ルーラーキャッチ」の記録を比べ、どちらのクラスの反応が速いかを調べたり、国勢調査のデータを基に、都道府県の人口の傾向について話し合ったりする活動 第2学年～ データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、2枚の硬貨を同時に投げるとき、1枚が表でもう一枚が裏になる確率を表や図を使って考えたり、過去と現在の降水量について、度数分布表や箱ひげ図を使って比べたりする活動 第3学年～ 標本調査についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力の育成に向け、体育委員会で、球技大会でやりたい競

	技を決めるためのアンケートの取り方が有効かどうかを話し合ったり、ある湖にいる魚の総数を推定するために、湖の魚を袋の中の碁石に置き換えて考えたりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　比例と反比例の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、消毒用アルコールが何日後になくなるかについて話し合ったり、求め方を式やグラフを使って説明したりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～　式の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「連続する3つの整数の和は、3の倍数になる」と言えるか話し合ったり、文字式を使って説明したりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～　円周角と中心角の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、円周角と中心角の関係を予想したり、円周角と中心角の位置関係を、3つの場合に分け、それぞれの場合について証明したりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～　正の数、負の数の学習において、符号のついた数の学習の後に、自然数の範囲で素因数分解をする学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～　三角形の合同条件の学習において、三角形の合同条件を使って証明の方法について理解する学習の後に、逆や反例を使って表現する学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～　二次方程式の学習において、因数分解を使った解き方の学習の後に、平方根の考えを使った解き方の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　節の導入で、新しい学習内容への興味・関心が得られるよう、身近な題材を扱うとともに、話し合い活動を取り入れるため、「Q」を設けたり、章末の「数学へのいざない」として、章の内容を深めたり広げたりする興味深い事象を提示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○　各章・各節のはじめに「疑問を発見する」ページを設定し、身のまわりの生活や数学の学習の中から疑問を発見できるようにしたり、章末の「できるようになったこと・さらに学んでみたいこと」では、自己評価を行うことができるようにしたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年） ○　文章を分節改行にすることで、誰もが読み取りやすくしたり、カラーユニバーサルの観点を取り入れ、目に優しく判別のしやすい色使いによる紙面づくりをしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）
その他	○　章のとびら、節のとびらにおいて、問題発見の場を保障し、学習の必然性や意欲の喚起を図っている。学習過程を10に細分化し、各過程ごとに学習活動を可視化している。巻末では、思考の流れとともに「見方・考え方」を整理することで、今後の学習に活用できるよう工夫している。 ○　「どんなことがわかったかな」において、解決できたことを明らかにすることで、新たな問題を見出し、学習をつなげていくことができるようにしている。読者と対話する場面を適宜提示し、多様な意見にふれながら問題解決できるよう工夫している。 ○　「章のまとめの問題」に「活用」を設定し、身近な事象を考察する実践力を向上させたり、日常生活に関する問題の解決に活かせたりできるよう工夫している。「さらなる数学へ」において、1年間の学習を振り返り、身についた力を確認できるよう工夫している。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
菅原　学 （南茅部中）	永澤　篤 （学識経験者）	秋山　慎一郎 （PTA）	岡崎　光男 （亀田中）	小野寺　清孝 （巴中）	金子　潤 （戸倉中）

小委員会名　　数　学

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
17 教　出	数学 017-72	数学 017-82	数学 017-92
教科書名	中学数学1	中学数学2	中学数学3

2　調査研究内容

取扱内容	○　数と式については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、貸し出した本の冊数の平均値を工夫して求めたり、菜園をつくる際に必要な板の枚数を求めたりする活動 第2学年～　文字を用いた式と連立二元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力の育成に向け、連続する3つの整数の和にどのような性質があるか予想し、説明したり、バスケットボールの3点シュートと2点シュートの本数を求めたりする活動 第3学年～　数の平方根、多項式と二次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、2つの続いた奇数の積に1を加えるとどのような数になるか予想し、証明したり、ロープで囲んだ長方形の面積を調べたりする活動 ○　図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　平面図形と空間図形についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力の育成に向け、宝探しゲームで宝物がある場所をどのように見つけたのか説明したり、アイスクリームの包み紙を開くときの図形を考えたりする活動 第2学年～　平面図形と数学的な推論についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力の育成に向け、ステンドグラスを図形とみなして、直線が交わってできる角について考えたり、遊園地の乗り物が動いている様子から図形の性質について考えたりする活動 第3学年～　図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力の育成に向け、樹木の高さを棒と影の長さを使って求めたり、丸太から一定の条件を満たす角材を切り出すために必要な丸太の大きさを求めたりする活動 ○　関数については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　比例と反比例についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力の育成に向け、水そうに水を入れ始めてからの時間と水の深さの関係を調べたり、数の範囲を負の数に広げ、比例と反比例の性質やグラフの特徴を考えたりする活動 第2学年～　一次関数についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力の育成に向け、プールに水を入れるとき、水そうの底から水面までの高さと水を入れる時間の関係について、表にまとめ、調べたり、水を熱し始めてからの時間と温度の関係をグラフで調べたりする活動 第3学年～　関数 $y=ax^2$ についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力の育成に向け、斜面を転がる球の転がり始めてからの時間と転がった距離の関係を表、式で調べたり、自動車の速さと制動距離の関係について考えたりする活動

	○ データの活用については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、紙コプターの滞空時間についての記録を表やグラフに整理し、分布の特徴を読み取ったり、スキーブーツのサイズと貸し出し回数を整理し、スキーの購入について考えたりする活動 第2学年～ データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、2枚のスクラッチカードを削るとき、最も出やすい組合せを樹形図や表を使って説明したり、京都の年ごとに冬日の日数を表にした箱ひげ図を比較して、その傾向を調べたりする活動 第3学年～ 標本調査についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力の育成に向け、箱に入っているみかん 75 個の重さの平均値を標本調査で推定したり、国語辞典に掲載されている見出し語の総数を推定するための調査の方法や結果が適切であるかについて考えたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 文字式の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、菜園をつくるのに必要な板の枚数の求め方を考えたり、図に表した求め方を式に表して、説明したりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 平行線と角の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、角の大きさを求める方法を考えたり、求め方を比べて、共通点や相違点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 三角形と比の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、四角形の各辺の中点を結んでできる四角形について調べたり、条件を変えて調べた結果について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 整数の見方の学習において、自然数の範囲で考える素数と素因数分解についての学習の後に、負の数の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 合同と証明の学習において、三角形と合同条件の学習の後に、証明のしくみとその進め方の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 二次方程式とその解き方の学習において、因数分解を利用した解法の学習の後に、二次方程式の解の公式による解法の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「大切にしたい数学的な見方・考え方」で、数学的な見方・考え方を既習内容の具体例を基に紹介したり、数学の有用性を感じられるよう、実社会や生活、先端テクノロジーなどに関する話題を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○ 「○章を学習する前に」や「もどって確認」で、適宜、既習内容を振り返ることができるようにしたり、章末「学習のまとめ」では、学習感想を書かせる場面を設け、学習を振り返って評価・改善できるようにしたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年） ○ UD フォントを多くの箇所で使用したり、読みやすい改行や、余白を生かしたレイアウトなど、落ち着いて学べる紙面づくりに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）

その他	○ 「みんなで数学をはじめよう」において、問題発見から数学のよさや楽しさを実感できるまでの学びのプロセスを明記し、学習意欲の喚起を図っている。数学的な見方・考え方を場面に応じて9つ例示し、数学を学習することの意義を実感できるよう工夫している。 ○ 「まなびリンク」において、シミュレーションやアニメーションを通して理解を深めることができるよう、コンテンツを充実させている。「章の問題」では習熟の程度の応じた問題選択を可能にしており、個別最適な学びを保障している。「学びのマップ」において、既習内容が確認できるよう工夫している。 ○ 「章のとびら」において、実社会や日常生活、先端テクノロジーなどに係る話題を取り上げ、数学を学ぶことの意義や有用性を実感できるよう、工夫している。「数学しごと人」では、社会で活躍する方を掲載する等、キャリア教育として活用できるよう工夫している。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
菅原　学 （南茅部中）	永澤　篤 （学識経験者）	秋山　慎一郎 （PTA）	岡崎　光男 （亀田中）	小野寺　清孝 （巴中）	金子　潤 （戸倉中）

小委員会名　　数　学

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
61 啓林館	数学 061-72	数学 061-82	数学 061-92
教科書名	未来へひろがる数学 1	未来へひろがる数学 2	未来へひろがる数学 3

2 調査研究内容

取扱内容	○ 数と式については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、ペットボトルキャップの個数の平均を工夫して求めたり、ケーキの値段を求めたりする活動 第2学年～ 文字を用いた式と連立二元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力の育成に向け、カレンダーで、横に並んだ3つの整数の和がどのような数になるか予想し、説明したり、36 人を3人班と4人班に分けたりする活動 第3学年～ 数の平方根、多項式と二次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、2つの続いた偶数の積に1を加えるとどのような数になるか予想し、証明したり、通路の幅を求める方法を考えたりする活動 ○ 図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 平面図形と空間図形についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力の育成に向け、放牧場から川によって小屋へ帰る道のりが最も短い場合を求めたり、いろいろな立体の形をした水そうの容積を調べたりする活動 第2学年～ 平面図形と数学的な推論についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力の育成に向け、たこ揚げ大会のたこの作成から、四角形の性質について、説明したり、陸上から直接測ることができない船までの距離を求めることができる理由を説明したりする活動 第3学年～ 図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力の育成に向け、条件を基に、地図上の船の位置を特定する方法を考えたり、ノートの横幅を3等分する線を作図する手順について考えたりする活動 ○ 関数については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 比例と反比例についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力の育成に向け、箱をつくる際、切り取る正方形の1辺の長さを変えると、どのような数量が変わるか調べたり、数の範囲を負の数に広げ、比例と反比例のグラフの特徴を考えたりする活動

	第2学年～　一次関数についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力の育成に向け、水そうに水を入れるとき、水そうの底から水面までの高さと水を入れる時間の関係について、表にまとめ、調べたり、ダムの貯水量を予想する方法を考えたりする活動 第3学年～　関数 $y=ax^2$ についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力の育成に向け、斜面を転がる球の転がり始めてからの時間と転がった距離の関係を表、式で調べたり、自動車の速さと制動距離の関係について考えたりする活動 ○　データの活用については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、紙ふぶきの滞空時間についての記録を表やグラフに整理し、分布の特徴を読み取ったり、まわり将棋において、駒を投げたときのその出かたの出やすさを考えたりする活動 第2学年～　データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、くじ引きで、当たりやすさに違いがあるかについて、考えを説明したり、各会社のインターネットの通信速度の測定結果を箱ひげ図を比較して、傾向を読み取ったりする活動 第3学年～　標本調査についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力の育成に向け、対象となる集団から一部を取り出して、全体の傾向を調べる方法について考えたり、図書室利用に関する標本調査の結果を分析し、図書室の利用者数を割合を基に推定したりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　文字式の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、数あてマジックのしくみを考えたり、問題解決の過程を振り返って、気付いたことやもっと調べてみたいことを話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～　図形の性質の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、他者の求め方について、どのように考えたか説明したり、問題解決の過程を振り返って、気付いたことやもっと調べてみたいことを話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～　相似の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、三角形の角の二等分線の性質を考えたり、問題解決の過程を振り返って、気付いたことやもっと調べてみたいことを話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～　データの活用の学習において、データを活用して、問題を解決する学習の後に、整理されたデータから読み取る学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～　証明とそのしくみの学習において、証明を記述する前に見通しを立てる学習の後に、証明の意味を考える学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～　二次方程式とその解き方の学習において、平方根の考えによる解法の学習の後に、因数分解を利用した解法の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫

使用上の配慮等	○　学習の導入で日常の事象を取り上げたり、生活と関連付けて学習に取り組めるようにしたり、「学習のとびら」では、学ぶ楽しさや意義を実感できるよう、その節の学習を進めれば解決できる身のまわりの問題などを取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○　これまでに学んだことを基にして考え、予想して、新しい学びにつなげる「ひろげよう」を設定したり、自らの学習を調整しながら学べるコーナー「数学広場」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年） ○　文章の改行をすべて文節で行ったり、書体は識別がしやすい UD フォントを採用し、配色は色覚の特性によらず学びやすいものとなるようにしたりするとともに、１人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）
その他	○　「利用の節」では「ステップ方式」に沿って活動に取り組むことで、「問題発見・解決の過程」が身につき、学んだ数学を利用して問題を解決する力がつくように工夫されている。また「あしあと」では、単元全体を振り返る活動を通して、さらに学んでみたいことにも目を向けられるよう工夫されている。 ○　学習内容の理解を助けたり、「学習のとびら」（導入場面）の場面理解や数学的活動をサポートするデジタルコンテンツが豊富にあり、自学の際に役に立つ問題の考え方や解説動画も用意されるなどの工夫がされている。また、PPDA サイクルを2周させて考察を進め、統計的問題解決のしくみが理解できるよう工夫されている。 ○　教科書全体を通して、身の回りや社会と数学のつながりを感じられるように工夫している。特に SDGsに関する内容として各学年で題材を取り扱われている。さらに巻末には「数学広場」が設けてあり、自主及び自律の精神を養えるように工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
菅原　学 （南茅部中）	永澤　篤 （学識経験者）	秋山　慎一郎 （PTA）	岡崎　光男 （亀田中）	小野寺　清孝 （巴中）	金子　潤 （戸倉中）

小委員会名　　数　学

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
104 数 研	数学 104-73	数学 104-83	数学 104-93
教科書名	これからの 数学1	これからの 数学2	これからの 数学3

2 調査研究内容

取扱内容	○ 数と式については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、大縄跳びを跳んだ回数の平均を工夫して求めたり、字が消えたレシートから、買ったケーキの個数を求めたりする活動 第2学年～ 文字を用いた式と連立二元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力の育成に向け、誕生日を当てるマジックのしくみについて説明したり、クラスの 30 人全員がどこかの班に入るように、職場体験実習の班をつくったりする活動 第3学年～ 数の平方根、多項式と二次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、カレンダーで囲んだ4つの数について、きまりを見つけたり、周の長さが 20 メートルの花だんの面積について考えたりする活動 ○ 図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 平面図形と空間図形についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力の育成に向け、地図や写真などから直線を探したり、形の特徴に注目して、いろいろな形の建物を探したりする活動 第2学年～ 平面図形と数学的な推論についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力の育成に向け、鱗模様の基となる図形である正三角形の角について考えたり、2段重ねの工具箱の上の段の箱を支えるためのアームの取り付け方について考えたりする活動 第3学年～ 図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力の育成に向け、地図から関西国際空港連絡橋の実際の長さを求めたり、サッカーのシュートが入りやすい場所を考えたりする活動 ○ 関数については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 比例と反比例についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力の育成に向け、硬貨の枚数と重さの関係を調べたり、x の変域を負の数まで広げたとき、対応する x と y の値の特徴を考えたりする活動 第2学年～ 一次関数についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力の育成に向け、水そうの水の入れかえを行ったとき、水そうの水面の高さと時間の関係を式で表したり、水が沸騰する時間を予想したりする活動 第3学年～ 関数 $y=ax^2$ についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力の育成に向け、斜面に沿ってボールを転がしたときの時間と距離の関係を表から考えたり、自動車の速さと制動距離の関係を説明したりする活動

	○ データの活用については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、過去の気温と天気のデータから行きたい場所の気温について調べたり、ペットボトルのキャップを投げて、何回表向きになるか予測したりする活動 第2学年～ データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、2つのくじ引きの屋台のうち、どちらの屋台の方が当たりやすいか話し合ったり、生徒の体力テストのデータの傾向について、気付いたことを説明したりする活動 第3学年～ 標本調査についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力の育成に向け、標本調査を利用して、池にいる鯉の総数を推定したり、養魚場にある金魚を養殖している2つの池のどちらから注文の条件を満たした金魚を出荷するか考えたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 文字と式の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、正方形の花壇をつくるのに必要な石の数を求める式について考えたり、操作や図を使った解き方について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 連立方程式の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、カーネーションとユリのセットの値段を基に、カーネーション1本あたりの値段を求める方法を考えたり、ユリの数をそろえるための工夫を考えたりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 二次方程式の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、条件に合う道をつくるために、花を植える土地の面積を1つの式で表したり、求めた値に合わせて、図を考えたりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 立体の体積と表面積の学習において、立体を構成する要素を整理する学習の後に、おうぎ形の弧の長さと面積を求める学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 平行線と角の学習において、対頂角の性質を説明する学習の後に、同位角と錯角について調べる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 二次方程式の学習において、因数分解による解き方の学習の後に、平方根の考えを使った解き方の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 数学の有用性が感じられるように、学んだ内容を活用して解決するタイプの TRY を各所に設けたり、「考えよう」「調べよう」など、活動的な話題や数学に関する職業について紹介するページを設けたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○ 章や節の最初は、身のまわりにある事象から数学を見いだすことができるようにしたり、生徒キャラクターの対話場面を示し、課題に取り組む際にどのようなことに着目すればよいか、一目で分かるようにしたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年） ○ UD フォントを大きめのサイズで用い、文章は文節で改行したり、カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚の特性によらず識別しやすい配色にしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）

その他	○ 「Q」や「TRY」を通して予想・考察するなど活動場面を中心に、生徒キャラクターの対話場面が示されいる。課題に取り組む際にどのようなことに注目すればよいのかが、分かりやすいように工夫されている。さらに、学習内容を身につけながら、学び方そのものを身につけることができるように、各所に関連するページを設けてある。 ○ 繰り返し練習するための「補充用の問題」や動きを伴う教材では学習内容を理解しやすくする「アニメーション・動画」、変化のきまりを調べたり、分類するなどの活動場面には「生徒が自由に操作できる」デジタルコンテンツを豊富に用意するなど工夫されている。 ○ 章の終わりに学んだことを活用して解決する「TRY」が設けられている。巻末にも、数学を活用して身の回りの問題を解決する課題が設けられている。社会とのつながりを想起させる話題を通じて、数学の有用性を感じられる構成になっている。数学に関する職業についての紹介など工夫されいる。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
菅原　学 （南茅部中）	永澤　篤 （学識経験者）	秋山　慎一郎 （PTA）	岡崎　光男 （亀田中）	小野寺　清孝 （巴中）	金子　潤 （戸倉中）

小委員会名　　数　学

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
116 日　文	数学 116-72	数学 116-82	数学 116-92
教科書名	中学数学1	中学数学2	中学数学3

2 調査研究内容

取扱内容	○　数と式については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、清掃活動の参加人数の平均値を工夫して求めたり、図にあてはまる数を求めたりする活動 第2学年～　文字を用いた式と連立二元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力の育成に向け、陸上トラックのセパレートコースの1周の長さの差を求めたり、まんじゅうをちょうど 32 個買うための箱数を求めたりする活動 第3学年～　数の平方根、多項式と二次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力の育成に向け、正方形の花だんの縦と横の長さをのばし、面積を比較したり、モールでつくった長方形の飾りの面積について考えたりする活動 ○　図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　平面図形と空間図形についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力の育成に向け、地図を使って、写真を撮影した花だんの場所を見つけたり、建物の形の特徴について考えたりする活動 第2学年～　平面図形と数学的な推論についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力の育成に向け、いつでも成り立つ図形の性質について調べたり、上の段が下の段に平行に保たれる箱のネジの位置や棒の長さについて、図形の性質を使って考えたりする活動 第3学年～　図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力の育成に向け、縮図を活用して、直接測ることができない距離や高さを求めたり、地図から船の位置を考えたりする活動 ○　関数については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　比例と反比例についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力の育成に向け、歩数と歩いた道のりについて考えたり、数の範囲を負の数までに広げて、比例や反比例の特徴を調べたりする活動 第2学年～　一次関数についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力の育成に向け、プールの水面の高さが、水を入れた時間にともなってどのように変化するか調べたり、ビーカーの水を熱し始めてからの時間と水温について予想したりする活動 第3学年～　関数 $y=ax^2$ についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力の育成に向け、表から、斜面でボールを転がしたときの5秒後の距離を予想したり、紙を2等分するように切った回数と紙の枚数の関係について考えたりする活動 ○　データの活用については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げ

	られている。 第1学年～　データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、20 世紀の 100 年間における平均気温のデータから平均気温が高くなってきているか調べたり、ペットボトルのキャップを投げたとき、表向きと裏向きの出やすさについて判断したりする活動 第2学年～　データの分布と確率についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力の育成に向け、くじの当たりやすさを調べて説明したり、60 年間のデータから3つの都市の冬日の傾向について話し合ったりする活動 第3学年～　標本調査についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力の育成に向け、池にいるニジマスの数を推定したり、ある県の知事選挙で、どの候補者が当選するか予想するための事前調査の方法について、適切とは言えない理由を考えたりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　正の数と負の数の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、参加人数を基にして、基準となる数を変えたり、計算が簡単になるように基準を決めたりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～　式の計算の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身近なことがらを数学の問題にするために、条件を明確にしたり、式の意味を読み取って振り返って考えたりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～　式の展開と因数分解の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、根拠を明らかにするために目的に合うように式を変形したり、条件を変えてつくった新しい問題を考えたりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～　基本の作図の学習において、垂線の作図の学習の後に、これまでに学習したことと結びつけて 45° の角を作図する学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～　図形の性質と合同の学習において、三角形の角の学習の後に、補助線を使った角の大きさの求め方の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～　関数 $y=ax^2$ の性質の学習において、関数 $y=3x^2$ の学習の後に、比例定数を負の数に広げて考える学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　章の扉では、生徒に疑問を抱かせ、どうすれば疑問を解消できるのかと興味を引くようなことがらを写真やイラストを使って紹介したり、その疑問を数学の問題として解決していく過程を丁寧に扱ったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○　巻頭に「主体的に学習に取り組む態度」とはどのような態度なのかが生徒や保護者にも分かるように、具体例とともに明示したり、各章で、数学のよさについて考える活動や数学を生活や学習に生かす活動を適宜設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年） ○　UD フォントを全面的に使用し、文章は読みやすい位置で改行したり、見分けやすい配色や色以外の情報を追加するなど、誰もが情報を読み取ることができるようにしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）

その他	○　小節は1時間の授業に対応するように構成されている。小節毎に「めあて」を示したり、「例」に見出しをつけたりすることで、学習内容をつかみやすく、復習しやすいよう工夫されいる。さらに、「例」「問」はスモールステップで段階的に学びを積み上げていけるように配慮がなされている。 ○　章の後半では、問題解決型の授業展開である「学び合おう」の節が設けられている。巻末には「学び合おう」に対応した、切り離して使える「対話シート」が用意されている。また、学びの過程や変容を捉えることができる「振り返りシート」も巻末に用意されている。 ○　身近なことがらを数学の問題にする過程や、学んだことから新しい数学の問題を見出す過程が大切にされている。また、各章の「数学たんけん」や巻末の「SDGsと数学」「数学を仕事に生かす」「数学研究室」「プログラムと数学」では、様々な場面で活用されていることを知ることができるように工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
菅原　学 （南茅部中）	永澤　篤 （学識経験者）	秋山　慎一郎 （PTA）	岡崎　光男 （亀田中）	小野寺　清孝 （巴中）	金子　潤 （戸倉中）

● 小委員会名 理 科

1 教科書名

発行者名	教 科 書 の 記 号・番 号		
2 東 書	理科 002-72	理科 002-82	理科 002-92
教科書名	新編 新しい科学1	新編 新しい科学2	新編 新しい科学3

2 調査研究内容

取扱内容	○ 第1分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。 第1学年～ ・力の大きさとばねののびの関係を調べる実験などを通して、ばねの引く力とばねののびの関係性や物体に力が働くとその物体が変形することを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、力の働きの規則性を見いだして表現する活動 ・水にとけた物質を取り出す実験などを通して、水溶液から溶質を取り出す実験の結果を溶解度と関連付けて理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する活動 第2学年～ ・電圧と電流の関係を調べる実験などを通して、抵抗器に加わる電圧と電流の 関係を理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、電流と電圧の規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・鉄を燃やしたときの変化を調べる実験などを通して、酸化は、物質が酸素と結びつく反応であることを理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案 して観察、実験を行い、化学変化における物質の変化を見いだして表現する活動 第3学年～ ・仕事と力学的エネルギーの関係を調べる実験などを通して、物体のもつ力学的エネルギーは物体が他の物体になしうる仕事で測れることを理解するとも に、見通しをもって観察、実験を行い、力学的エネルギーの規則性を見いだして表現する活動 ・塩化銅水溶液を電気分解する実験などを通して、電解質の水溶液内に電流が流れると、電極付近では電気を帯びた粒子が反応することを理解するとともに、見通しをもって観察、実験などを行い、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・素材となる物質の性質を調べる実験などを通して、日常生活や社会では、様々な物質が幅広く利用されていることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 第2分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。 第1学年～ ・さまざまな生物を分類する実習などを通して、比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、身近な生物についての観察、実験などを行い、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する活動 ・大地の歴史を調べるための身近な地層の観察などを通して、土地の成り立ち や広がり、構成物などを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、 地層の重なり方や広がり方の規則性を見いだして表現する活動 第2学年～ ・吸水と蒸散の関係を調べる実験などを通して、植物の体のつくりと蒸散の働きに関する実験の結果を関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する 方法を立案して観察、実験を行い、植物の体のつくりと働きについての関係性 を見いだして表現する活動 ・気圧の低いところで起こる変化を調べる実験などを通して、霧や雲のでき方を 気圧、気温及び湿度の変化と関連付けて理解するとともに、見通しをもって解 決する方法を立案して観察、実験を行い、天気の変化についての関係性を見 いだして表現する活動

	第3学年～ ・遺伝子の組合せを調べる実習などを通して、交配実験の結果などに基づい て、親の形質が子に伝わるときの規則性を理解するとともに、生命の連続性に ついて観察、実験を行い、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・金星の満ち欠けについてモデルを使用した実習などを通して、シミュレーショ ン資料などを基に、太陽と金星と地球の位置の変化と見え方を関連付けて理解するとともに、天体の観察、実験を行い、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・土壌動物を指標にした自然環境の状態の調査などを通して、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「身のまわりの物質」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、有機物と無機物について調べ、見分けにくい粉末状の物質の見分け方について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「生物のからだのつくりとはたらき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、蒸散の仕組みについて調べ、植物が蒸散を行う利点について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「地球と私たちの未来のために」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、プラスチックの性質について調べ、生活で削減できるプラスチック製品について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「身のまわりの物質」において、身の回りの気体の性質についての学習の後に、身の回りの物質から発生する気体の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 「電気の世界」において、モーターの仕組みについての学習の後に、リニアモーターをつくる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 「地球と宇宙」において、太陽と星の1日の動きについての学習の後に、地球の公転と見える星座の関係をモデルをつくって調べる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 各節の導入において、生徒の主体性を高める問いかけ「問題発見 レッツ スタート！」を設定したり、単元末において、学習内容と日常生活の関連を図るコラムを掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に探究の流れについて説明するページを設けたり、探究の流れを見通せる よう各節の探究の流れをフローチャートで示したりするなど、主体的に学習に取り 組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配 色やデザインに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動とし て、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 見開き1時間のつくりとなっており、生徒が学習内容の見通しがもちやすいつくり となっている。また、単元や章の導入と終わりの本質的な問いかけを設定することで、生徒が自身の変容を実感しやすいよう工夫されている。 ○ 個に応じた学びや、他社と協働する学びをサポートする内容など、デジタルコ ンテンツが豊富に用意されており、生徒が主体的に学習に取り組みやすいよう工 夫されている。 ○ 「学びをいかして考えよう」や「まちなか科学」など実社会や実生活との関連づけ るコラムが豊富に用意されており、生徒が日常生活や自分のや体験との関連づけ ることで、さらに学習内容が深めやすいよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
橋本　智也 （銭亀沢中）	永澤　篤 （学識経験者）	秋山　慎一郎 （PTA）	高野　克 （深堀中）	中原　拓真 （青柳中）	齋藤　明子 （北中）

小委員会名　　理　科

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
4 大日本	理科 702	理科 802	理科 902
教科書名	理科の世界 1	理科の世界 2	理科の世界 3

2 調査研究内

取扱内容	○ 第1分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられ ている。 第1学年～ ・凸レンズによる像のでき方を調べる実験などを通して、物体の位置と像の位置や大きさ、像の向きの規則性や関係性を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、凸レンズによる像のでき方の規則性を見いだして表現する活動 ・酸素や二酸化炭素などの身のまわりの気体の性質を調べる実験などを通して、気体を発生させる方法や気体の種類による特性を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する活動 第2学年～ ・電流と電圧の関係を調べる実験などを通して、電熱線に加えた電圧を変えたときの電流の大きさの規則性を理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、電流と電圧の規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・化学変化の前後での質量の変化を調べる実験などを通して、化学変化前後の質量の総和が等しいことを理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、化学変化における物質の量的な関係を見いだして表現する活動 第3学年～ ・力を受けていないときの物体の運動を調べる実験などを通して、運動の向きに力を受けていない物体の運動は等速直線運動をすることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物体の運動の規則性を見いだして表現する活動 ・塩酸と水酸化ナトリウム水溶液を混ぜる実験などを通して、酸とアルカリの水溶液を混ぜると水と塩ができることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験などを行い、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・化石燃料の利用と課題についての調査などを通して、日常生活や社会では、様々なエネルギーの変換を利用していることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 第2分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられ ている。 第1学年～ ・植物の葉や根のつくりの観察などを通して、共通点や相違点があることを見いだして、植物の体の基本的なつくりを理解するとともに、身近な生物についての観察、実験などを行い、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだして表現する活動 ・地震による地面の揺れの広がり方を調べる実習などを通して、地球内部の働きと関連付けて地震の原因を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、地震の揺れの大きさや伝わり方の規則性を見いだして表現する活動 第2学年～ ・唾液のはたらきを調べる実験などを通して、食物に含まれる養分を消化する仕組みと実験の結果を関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、動物の体のつくりと働きについての関係性を見いだして表現する活動 ・雲のでき方を調べる観察などを通して、雲のでき方を気圧、気温及び湿度の変化と関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、天気の変化についての規則性を見いだして表現する活動 第3学年～ ・タマネギの根の細胞分裂の観察などを通して、体細胞分裂の順序性を見いだし、細胞の分裂と生物の成長を関連付けて理解するとともに、生命の連続性について観察、実験

	を行い、生物の成長と殖え方の特徴と規則性を見いだして表現する活動 ・太陽の1日の動きを調べる観察などを通して、観察記録を基に、天体の日周運動を地球の自転と関連付けて理解するとともに、天体の観察、実験を行い、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・市街地や雑木林で野鳥の種類や個体数を調べる調査などを通して、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験を行い、自然環境の保全の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学 習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「生物の世界」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生物について調べ、生物を分類するための観点について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「気象の仕組みと天気の変化」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、気圧について調べ、机に張りついた吸盤を押しつけている力について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「運動とエネルギー」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、振り子の運動について調べ、位置エネルギーと運動エネルギーの変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「身近な物理現象」において、光の反射についての学習の後に、鏡に映る像の位置を調べる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 「化学変化と原子・分子」において、炭酸水素ナトリウムの熱分解についての学習の後に、カルメ焼きをつくる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 「自然界のつながり」において、微生物による物質の分解についての学習の後に、池の水の中の微生物のはたらきを調べる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 単元や章の導入において、学習内容や日常生活に関係のある写真を掲載したり、章 末において、科学の歴史や最新の科学的知見などの読み物資料を掲載したりするなど、 生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に理科の学習の進め方や巻末に探究の進め方について説明するページ（第1学年）を設けたり、探究の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に 取 り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色 やレイアウトについて配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動 として、 WEBマーク（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 既習内容が丁寧に紹介されており、生徒が振り返りしやすく工夫されている。 また、 単元内容も示されているため、生徒が見通しを持って学びやすくなっているため、身に 付けさせたい学び方が示されている。 ○ 生徒が、興味・関心を高めるための、実験や観察が豊富である。また、単元の最後に は「探究活動」として発展的な内容や学び方が示され、生徒が主体的に取り組みやす くなっている。 ○ 「やってみよう」やコラム、写真が豊富で、生徒にとって実生活との関連や身近な現象 との関連を意識できる構成となっているため、自分事として学びを捉えやすく工夫され ている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員
橋本 智也 （銭亀沢中）	永澤 篤 （学識経験者）	秋山 慎一郎 （PTA）	高野 克 （深堀中）	中原 拓真 （青柳中）	齋藤 明子 （北中）

小委員会名　　理　科

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
11 学 図	理科 011-72	理科 011-82	理科 011-92
教科書名	中学校 科学 1	中学校 科学 2	中学校 科学 3

2 調査研究内容

取扱内容	○ 第1分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられている。 第1学年～ ・光が物体を通るときの進み方を調べる実験などを通して、光が水やガラスなどの物質の境界面で屈折するときの規則性を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、光の屈折の規則性を見いだして表現する活動 ・状態変化と体積、質量の変化を調べる実験などを通して、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、状態変化における規則性を見いだして表現する活動 第2学年～ ・コイルと磁石の関係を調べる実験などを通して、コイルや磁石を動かすことにより、電流が得られることを理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・水に電流を流したときの変化を調べる実験などを通して、分解して生成した物質は元の物質とは異なることを理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、化学変化における物質の変化の関係を見いだして表現する活動 第3学年～ ・物体に力がはたらかないときの運動を調べる実験などを通して、物体が受けている力の合力が0のときの運動は等速直線運動をすることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物体の運動の規則性を見いだして表現する活動 ・ダニエル電池の原理を調べる実験などを通して、電池の基本的な仕組みや化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験などを行い、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・身のまわりの素材や技術を調べることなどを通して、科学技術が人間の生活を豊かで便利にしていることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 第2分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げら　れている。 第1学年～ ・花のつくりを調べる観察などを通して、いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、観察記録などに基づいて、植物の体の基本的なつくりを理解するとともに、身近な生物についての観察、実験などを行い、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する活動 ・火成岩のつくりを調べる観察などを通して、成因と関連付けて火山岩と深成岩の組織の違いを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性を見いだして表現する活動 第2学年～ ・デンプンのできる場所を調べる実験などを通して、植物の体のつくりと光合成を関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、植物の体のつくりと働きについての関係性を見いだして表現する活動 ・空気を冷やして露点を求める実験などを通して、気温と飽和水蒸気量及び湿度の変化と関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、天気の変化についての関係性を見いだして表現する活動 第3学年～ ・被子植物の受精の方法を調べる観察などを通して、親の形質が子に伝わることや有性生殖と無性生殖の特徴を理解するとともに、生命の連続性について観察、実験を行い、生物の成長と殖え方の特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・1日の星の動きと観測者の関係を調べる観察などを通して、天体の日周運動を地球の

	自転と関連付けて理解するとともに、天体の観察、実験を行い、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・身のまわりの自然環境の調査などを通して、すべての国が協力して持続可能な社会をつくっていくことの必要性を理解するとともに、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験を行い、自然環境の保全の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のよう な 学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「身のまわりの物質」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、物質の分類について調べ、身のまわりのものの分類について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「化学変化と原子・分子」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、物質の成り立ちと化学変化について調べ、物質の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「生物どうしのつながり」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、生物の成長・生殖について調べ、生物がどのように殖え、成長するのかについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「身のまわりの物質」において、物質の体積と質量についての学習の後に、物質の浮き沈みについての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 「天気とその変化」において、前線の通過と天気の変化についての学習の後に、前線が通過したときの気温・風・天気の変化についての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 「運動とエネルギー」において、作用・反作用についての学習の後に、「作用・反作用」と「2力のつり合い」の違いについての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 単元や章の導入において、学習内容や日常生活に関係のある写真を掲載したり、探 究で学んだ内容を活用する場面「探究を深める理路整然」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元での学習ごとに、科学的探究の例や考察の例を示したり、探究の各過程を示す マークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、ふりがな・多言語化などについて配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 見開きページごとに一単位時間の目標が提示され、どのような力を身につけるかが明確に示されている教科書のつくりとなっているため、生徒自身が成長を自覚できるような工夫がされている。 ○ 実験・実習部分のページが多く用意されており、探究活動の流れを丁寧に示すことで、興味・関心を高め、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ SDGs との関連コラムを掲載することにより、今日的な課題への関心を促し、 生徒が自分ごととして捉え、実社会や実生活との関連が図られ、さまざまな場面で活用できるよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員
橋本 智也 （銭亀沢中）	永澤 篤 （学識経験者）	秋山 慎一郎 （PTA）	高野 克 （深堀中）	中原 拓真 （青柳中）	齋藤 明子 （北中）

小委員会名　　理　科

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
17 教 出	理科 017-72	理科 017-82	理科 017-92
教科書名	自然の探究　中学理科1	自然の探究　中学理科2	自然の探究　中学理科3

2 調査研究内容

取扱内容	○　第1分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられ ている。 第1学年～ ・鏡に反射する光の入射角と反射角の関係を調べる実験などを通して、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射するときの規則性を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、光の反射の規則性を見いだして表現する活動 ・白い物質の性質を調べる実験などを通して、物質には加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する活動 第2学年～ ・電圧と電流の関係を調べる実験などを通して、電熱線に加える電圧と回路を流れる電流の大きさの規則性を理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、電流と電圧の規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・銅粉の質量と結び付く酸素の質量との関係を調べる実験などを通して、反応する物質の質量の間には一定の関係があることを理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、化学変化における物質の量的な関係を見いだして表現する活動 第3学年～ ・力の大きさと速さの変化との関係を調べる実験などを通して、力が働く運動では運動の向きや時間の経過に伴って物体の速さが変わることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物体の運動の規則性を見いだして表現する活動 ・金属のイオンへのなりやすさを調べる実験などを通して、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験などを行い、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・プラスチックの性質を調べる実験などを通して、日常生活や社会では、様々な物質が幅広く利用されていることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○　第2分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられ ている。 第1学年～ ・観点や基準を決めて生物を分類する実習などを通して、いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、身近な生物についての観察、実験などを行い、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する活動 ・堆積岩のつくりを調べる観察などを通して、地層の様子や構成物などから地層の重なり方や広がり方についての規則性を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、地層の重なり方や広がり方の規則性を見いだして表現する活動 第2学年～ ・光合成に必要な物質を調べる実験などを通して、光合成の働きによる二酸化炭素の増減と石灰水や BTB 液の色の変化を関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、植物の体のつくりと働きについての関係性を見いだして表現する活動 ・空気中の水蒸気が結露する温度を調べる実験などを通して、霧や雲のでき方を気温及び湿度の変化と関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、天気の変化についての関係性を見いだして表現する活動 第3学年～ ・遺伝子の伝わり方を調べる実習などを通して、交配実験の結果などに基づいて、親の形質が子に伝わるときの規則性を理解するとともに、生命の連続性について観察、実験を

	行い、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・金星の位置と形の変化を調べる観察などを通して、金星の観測資料などを基に、太陽、金星、地球の位置の変化と見え方を関連付けて理解するとともに、天体の観察、実験を行い、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・大気や水、土壌など身近な自然環境の調査などを通して、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験を行い、自然環境の保全の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学　習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「光・音・力」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音を伝えるものについて調べ、音が何によって伝えられているかについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「化学変化と原子・分子」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、試験管に残った物質の性質について調べ、酸化銀の加熱による変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「生命の連続性」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、タマネギの根の成長の様子について調べ、根の先端に近い部分の細胞の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「大地の成り立ちと変化」において、火山の噴火や地震についての学習の後に、ハザードマップを基に火山の噴火や地震から身を守る学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 「電気の世界」において、電気回路についての学習の後に、発光ダイオードの点灯の仕組みにかかわる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 「生命の連続性」において、遺伝の規則性についての学習の後に、染色体とDNA についての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 単元において、生徒が主体的に疑問を見つける活動「やってみよう」を設定したり、単元末において、理科の学習と日常生活の関連を紹介する科学読み物「ハローサイエンス」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 探究の進め方について説明するページを参照できるようにしたり、探究の各過程を　示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫　がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配　色やレイアウトに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として 「まなびリンク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 単元や章のはじめに学習の目標やねらいが提示されており、身につける力が明確で、生徒が見通しをもって学びやすいつくりとなっている。また、既習内容も書かれているため、生徒が過去の学習と結びつけやすいつくりとなっている。 ○ 会話形式で仮説を立てたり、実験を進めたりすることで、生徒が目的意識をもって主体的に、見通しをもって課題に取り組みやすくなるよう工夫されている。生徒にとって興味・関心を高められるつくりとなっている。 ○「やってみよう」など身近な現象や材料を使い実生活との関連が図らており、生徒が学習内容を深められる話題や実験が紹介されており、身につけたことを他の学習や生活の場面でも活用できるよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
橋本　智也 （銭亀沢中）	永澤　篤 （学識経験者）	秋山　慎一郎 （PTA）	高野　克 （深堀中）	中原　拓真 （青柳中）	齋藤　明子 （北中）

小委員会名理科

1教科書名

発行者名	教科書の記号・番号		
61 啓林館	理科 061-72	理科 061-82	理科 061-92
教科書名	未来へひろがるサイエンス1	未来へひろがるサイエンス2	未来へひろがるサイエンス3

2調査研究内容

取扱内容	○　第1分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられ ている。 第1学年～ ・力の大きさとばねののびの関係を調べる実験などを通して、ばねに加わる力の大きさとばねののびの関係や物体に力が働くとその物体が変形することを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・謎の物質Xの正体を調べる実験などを通して、物質には加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物質の性質における規則性を見いだして表現する活動 第2学年～ ・回路に流れる電流を調べる実験などを通して、回路の各点を流れる電流についての規則性を理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、直列回路や並列回路における電流の規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・金属と結び付く酸素の質量を調べる実験などを通して、反応する物質の質量の間には一定の関係があることを理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、化学変化における物質の量的な関係を見いだして表現する活動 第3学年～ ・斜面上での台車の運動を調べる実験などを通して、力が働く運動では運動の向きや時間の経過に伴って物体の速さが変わることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・うすい塩酸に電流を流すと何ができるかを調べる実験などを通して、電解質の水溶液中では、原子が電気を帯びた粒子になることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験などを行い、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・プラスチックの性質を調べる実験などを通して、日常生活や社会では、様々な物質が幅広く利用されていることを理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○　第2分野については、目標を達成することができるよう、次のような活動が取り上げられ ている。 第1学年～ ・生物の仲間分けの実習などを通して、いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、いろいろな生物を比較して分類できることを理解するとともに、身近な生物についての観察、実験などを行い、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する活動 ・マグマの性質と火山の形の関係を調べる実験などを通して、地下のマグマの性質と火山の形の関連を理解するとともに、見通しをもって観察、実験を行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性を見いだして表現する活動 第2学年～ ・唾液のはたらきを調べる実験などを通して、食物に含まれる養分を消化する仕組みと実験の結果を関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する活動 ・日本付近における低気圧や高気圧の動きと天気の変化を調べることを通して、日本の天気の特徴を気団と関連付けて理解するとともに、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行い、日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する活動 第3学年～ ・遺伝のモデル実験などを通して、親の形質が子に伝わるときの規則性を理解するとともに、生命の連続性について観察、実験を行い、交配実験の結果などに基づいて、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・金星の見え方の変化を調べる実習などを通して、金星の観測資料などを基に、太陽、金

	星、地球の位置の変化と見え方を関連付けて理解するとともに、天体の観察、実験を行い、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する活動 ・地域の自然災害の調査などを通して、地域の自然の特徴や過去の自然災害について調べ、自然と人間との関わり方を理解するとともに、身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験を行い、自然環境の保全の在り方について、科学的に考察して判断する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「光・音・力による現象」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、光の反射の様子について調べ、鏡に入射する光と反射する光との関係について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「地球の大気と天気の変化」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、水蒸気が水滴に変わるときの温度について調べ、冷やしたコップの表面変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「化学変化とイオン」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、電池の仕組みについて調べ、ダニエル電池の内部の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「身のまわりの物質」において、溶質の取り出し方についての学習の後に、混合物から純物質を取り出す実験の学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 「化学変化と原子・分子」において、金属と結び付く酸素の質量についての学習の後に、酸化銅に含まれる銅と酸素の質量を求める学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 「生命の連続性」において、遺伝の規則性についての学習の後に、顕性形質と遺伝子の伝わり方についての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 単元の導入において、生徒の探究心をゆさぶる写真を掲載したり、単元末において、単元の学びの中で生徒から出た疑問をテーマとして扱う「みんなで探Qクラブ」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 探究の進め方について説明するページを参照できるようにしたり、探究の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やデザインについて配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 実験・実習ごとに探究活動の流れが段階的に丁寧に示されており、単元や一単位時間において、生徒がどのような力を身につけるのか明確に示されている。探 Q シートにより、生徒がレポート作成技能を身につけられるよう工夫されている。 ○ 生徒の興味を引き出すような発問が主体につくられている。また、生徒が単元末のまとめや CBT を使って手軽に学習内容の確認ができ、自己の成長が実感しやすく、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 実生活の中で生徒が疑問をもちやすいコラムが随所に掲載されており、生徒が実社会や実生活との関連を意識できる構成である。また、発展内容では、身近な素材を用いて生徒が実際に挑戦しやすいよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委員	委員	委員	委員	委員
橋本智也 （銭亀沢中）	永澤篤 （学識経験者）	秋山慎一郎 （PTA）	高野克 （深堀中）	中原拓真 （青柳中）	齋藤明子 （北中）

小委員会名　　音 楽

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
17 教 出	音楽(一般) 017-72	音楽(一般) 017-83	音楽(一般) 017-84
教科書名	中学音楽1 音楽のおくりもの	中学音楽2・3上 音楽のおくりもの	中学音楽2・3下 音楽のおくりもの

2 調査研究内容

取扱内容	○ 過少については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学 年～ 斉唱から混声三部合唱までについて、曲想と形式の関わりを理解したり、曲想を味わいながら合わせて歌う技能を身に付けたりする活動 第2，3学年～ 斉唱から混声四部合唱までについて、歌詞の内容を味わい、曲の構成を理解したり、豊かなハーモニーで歌う技能を身に付けたりする活動 ○創作については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学 年～ 言葉のリズムやまとまりを理解したり、言葉のつなげ方や重ね方、全体のまとまりを工夫して、音楽をつくる技能を身に付けたりする活動 第2，3学年～ 音符のつなげ方によるリズムの違いを理解したり、言葉の反復や重ね方を生かして、まとまりのある音楽をつくる技能を身に付けたりする活動 ○鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学 年～ 我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、用いられる音階や曲の構成などの特徴を理解したり、日本とアジアの声による表現について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わったりする活動 第2，3学年～ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、曲の特徴と曲全体の構成の関わりを理解したり、他の芸術と関係する音楽の役割や効果について考え、音楽のよさや美しさを味わったりする活動 ○〔共通事項〕については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学 年～ 教科書冒頭で示された「学習の進め方」をもとに、それぞれの曲の特徴についてまとめたり、音楽を形づくる要素の働きに注目して、気が付いたことや感じ取ったことを話し合ったりする活動 第2，3学年～ 教科書冒頭で示された「学習の進め方」をもとに、テクスチュア(音の重なり方)の変化に注意して歌ったり、舞台芸術の表現から、それぞれの音楽の特徴をまとめ、共通点や相違点について紹介したりする活動 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学 年～ 曲の特徴についてまとめたり、曲の山場(クライマックス)の部分を確認し、その部分の特徴をまとめたりする活動 第2，3学年～ ピアノ伴奏が変化する効果について、感じ取ったことをまとめたり、フレーズや形式を理解して、ブレスの取り方を工夫して歌ったりする活動
内容の程度・排列・分量等	○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第 1 学 年～ 「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」において、言葉の自然なリズムや抑揚を聴き取り、反復や重ね方による全体の構成を考えながら創作できるようにするなど、系統的・発展的に学習できる工夫 第2，3学年～ 「曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして合わせて歌おう」において、フレーズや速度の変化を生かし、合唱で表現するときの指揮の仕方について音楽の特徴と合わせて考えるなど、系統的・発展的に学習できる工夫

使用上の配慮等	○　ユニークな活動を展開するピアニストから中学生に向けたメッセージや、人と社会とのつながりを生み出す取組を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　アイコンやマーク等で、学習の見通しや活動例を示したり、楽曲のよさや魅力についてまとめるコーナーを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされてる。 ○　ユニバーサルフォントを使用したり（全学年）、カラーユニバーサルデザインに配慮したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、まなびリンク（二次元コード）を掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○　音楽的な見方・考え方のヒントなど活動のポイントを示すことで、生徒が主体的な活動をできるよう促し、身に付いた力や自身の成長の自覚へと学習を進められるよう工夫されている。 ○　鑑賞教材と関連教材に系統立てて構成され、生徒が知識を広げることができる配列となっており、さらに二次元コードが示されていることから演奏例やワークシートを参照しやすいよう工夫されている。 ○　身近な地域の事象が取り上げられていることにより、生徒が実社会や実生活との関連を意識しながら学習に取り組み、さらに親しみを持って学習できるよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
阿蘇　一貴 （鱒川中）	長尾　智絵 （学識経験者）	秋山　慎一郎 （PTA）	工藤　一之 （戸倉中）	嵐田　美佳 （戸井学園）	木下　浩平 （桔梗中）

小委員会名　　音 楽

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
27 教 芸	音楽(一般) 027-72	音楽(一般) 027-83	音楽(一般) 027-84
教科書名	中学生の音楽 1	中学生の音楽 2･3上	中学生の音楽 2･3下

2 調査研究内容

取扱内容	○ 歌唱については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年 ～ 斉唱から混声三部合唱までについて、歌詞と曲の構成との関係を理解したり、音色や強弱を工夫して歌う技能を身に付けたりする活動 第 2,3 学年～ 斉唱から混声四部合唱までについて、声部の関わり合いを理解したり、曲想の変化やパートの重なりを生かして歌う技能を身に付けたりする活動 ○ 創作については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年 ～ 和音の動きに合わせた音のつながり方を理解したり、表したい場面を選び、構成を工夫して音楽をつくる技能を身に付けたりする活動 第 2,3 学年～ リズムの重なり方による特徴を理解したり、和音の動きに合わせてまとまりのある旋律をつくる技能を身に付けたりする活動 ○ 鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年 ～ 我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、映像の中で音楽が果たす役割を理解したり、音楽の特徴と歌詞が表す情景や心情について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わったりする活動 第 2,3 学年～ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、声による表現の特徴を理解したり、作曲者が記した標題や解説などから作品にこめられた思いについて考え、音楽のよさや美しさを味わったりする活動 ○ 〔共通事項〕については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年 ～ 目次の後に1年間の学びを俯瞰することができるページ「学びの地図」をもとに、各教材に設定された音楽を形づくる要素を踏まえて学習したり、自分たちの表現を工夫したりする活動 第 2,3 学年～ 目次の後に1年間の学びを俯瞰することができるページ「学びの地図」をもとに、各教材に設定された音楽を形づくる要素を踏まえて学習したり、音色や旋律に着目して、伝統音楽を聞き比べて特徴をまとめたりする活動 ○ 主体的･対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年 ～ 聴き取ったことと感じ取ったことをまとめたり、演奏を聴いて確認したことをもとに気付いたことや考えたことをまとめたりする活動 第 2,3 学年～ 言葉のまとまりや抑揚を意識しながら、歌詞を音読したり、声の音色や速度、リズムの変化を感じ取り、表現を工夫して歌ったりする活動
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成･排列については、次のような工夫がなされている。 第 1 学年 ～ 「リズムチャレンジ」において、リズムを選び、そのリズムを繰り返したり、リズムを変化させたりして、リズムアンサンブルを創作できるようにするなど、系統的･発展的に学習できる工夫 第 2,3 学年～ 「伝統音楽の魅力を見つけよう」において、音楽を聴いて気付いたことをまとめ、地域に伝わる祭りや芸能に取り組む意義を考えるなど、系統的･発展的に学習できる工夫

使用上の配慮等	○　各界で活躍する方の中学生に向けたメッセージや、様々な角度から音楽を捉え、より幅広い価値観をもつことができる「音楽って何だろう？」を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　どのような曲なのかを簡潔に示す楽曲の紹介文を示したり、「問いかけ」による考えたいポイントを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされてる。 ○　ユニバーサルフォントを使用したり（全学年）、色覚特性への配慮をしたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	○　生徒が身に付いた力や自身の成長を自覚しやすいよう、具体的な学習目標やそれに関連する音楽を形づくっている要素や学び方が教材ごとに明確に示されている。 ○　生徒の興味・関心を高めるデジタルコンテンツが充実しており、特に創作の授業において生徒の主体的な活動を促し、生徒が見通しを持って取り組みやすいよう工夫されている。 ○　生活や社会の中の音や音楽についての取り扱いが充実していることにより、生徒が身に付けたことを他の学習や生活の場面でも活用できるよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
阿蘇　一貴 （鱒川中）	長尾　智絵 （学識経験者）	秋山　慎一郎 （PTA）	工藤　一之 （戸倉中）	嵐田　美佳 （戸井学園）	木下　浩平 （桔梗中）

小委員会名　　音 楽

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
17 教 出	音楽(器楽) 017-72
教科書名	中学器楽　音楽のおくりもの

2 調査研究内容

取扱内容	○ 器楽については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、他のパートと合わせて演奏する技能を身に付けたりする活動 ○ 〔共通事項〕については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・曲の背景を理解したり、楽器の音色や響きを生かして、全体の構成を工夫したりして演奏する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・活動のポイントや運指図を確認できるようにしたり、動画コンテンツで模範演奏を視聴したりして演奏する活動
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・篠笛の演奏において、一人で旋律を吹く活動のあとに、学習した曲を重ねて演奏できるようにするなど、系統的・発展的に学習できる工夫
使用上の配慮等	○ 多彩な合奏曲を掲載したり、中学生になじみのある旋律を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 楽器の構え方などの詳細な写真を掲載したり、段階的に身に付く演奏の仕方を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり(全学年)、カラーユニバーサルデザインに配慮したり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、まなびリンク(二次元コード)を掲載する(全学年)など、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 生徒が見通しを持って課題に取り組めるよう、段階的な活動を積み重ね、さらに『吹く』『弾く』『打つ』にジャンル分けされた教材の中で様々な楽器を比較しながら知識を深めることができるよう工夫されている。 ○ 生徒が親しみやすい曲や鑑賞教材の譜例を取り上げていることにより、生徒が興味・関心を高めやすく、自己の学びを振り返って次につなげる活動が位置づけられている。 ○ 身近な地域の楽器や曲を通して、実社会や実生活との関連を意識するなど、生徒が身に付けたことを他の学習や生活の場面でも活用できるよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
阿蘇　一貴 (鱒川中)	長尾　智絵 (学識経験者)	秋山　慎一郎 (PTA)	工藤　一之 (戸倉中)	嵐田　美佳 (戸井学園)	木下　浩平 (桔梗中)

小委員会名　　音 楽

1 教科書名

発行者名	教 科 書 の 記 号・番 号
27 教 芸	音楽(器楽) 027-72
教科書名	中学生の器楽

2 調査研究内容

取扱内容	○ 器楽については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・曲全体の構成を理解したり、パートの役割に合う音色や強弱を工夫して演奏する技能を身に付けたりする活動 ○ 〔共通事項〕については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・音色や音の重なり方の特徴を理解したり、音色を考えながら楽器の組み合わせ方を工夫したりして演奏する活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「学びのコンパス」で学習の手順を確認できるようにしたり、デジタルコンテンツで学習に役立つ資料を視聴したりして演奏する活動
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・ギターの演奏において、奏法の違いを学習したあとに、奏法の違いを生かして、重奏で演奏できるようにするなど、系統的・発展的に学習できる工夫
使用上の配慮等	○ 打楽器奏者のコラムを掲載したり、同世代の音楽活動を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習目標に迫るための具体的な学習活動を例示したり、考えたいポイントを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり(全学年)、色覚特性への配慮をしたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する(全学年)など、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 生徒が見通しを持って課題に取り組み、段階的な学びを進められるよう丁寧に教材が配列されており、さらに楽器ごとに分けられた教材の中で様々な楽器を比較しながら知識を深めることができるよう工夫されている。 ○ 多様な活動やデジタルコンテンツが充実しており、動画によって生徒が見通しを持ちながら主体的に確認して学習に取り組み、自己の学びを振り返りやすいよう工夫されている。 ○ 身近な地域に関連する曲や鑑賞教材の譜例を取り上げていることにより、実社会や実生活との関連を意識し、生徒が興味・関心を持ちやすいよう構成されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員
阿蘇 一貴 (鱒川中)	長尾 智絵 (学識経験者)	秋山 慎一郎 (PTA)	工藤 一之 (戸倉中)	嵐田 美佳 (戸井学園)	木下 浩平 (桔梗中)

小委員会名　　美　術

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号	
9 開隆堂	美術 009-72	美術 009-82
教科書名	美術　1	美術　2・3

2　調査研究内容

取扱内容	○　絵や彫刻については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年　～　身近な人の姿や自分の大切にしているものを観察して絵を描いたり、材料の形や色彩、質感などの特徴を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第 2,3 学年～　墨の濃淡や筆遣いによって、空間の広がりや奥行きのある絵を描いたり、さまざまな出来事や心に残る情景を立体的に表したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○デザインや工芸については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年　～　身のまわりにある形や色彩から模様を考えたり、木の特徴を生かした使いやすい工芸品をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 第 2,3 学年～　世界観や魅力を伝えるためのイラストレーションのデザインを考えたり、人々が心地よく過ごせる空間のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年　～　作品を見て、それを味わい、自分で感じたことから作者の意図や自分なりの解釈について話し合う活動を通して、表現の工夫や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする活動 第 2,3 学年～　図屏風や水墨画のよさや美しさについて話し合う活動を通して、たくさんの芸術家の作品に影響を与えた美術文化についての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする活動 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年　～　「イメージを伝える形」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、ロゴタイプの形や色彩について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 第 2,3 学年～　「イメージを形にして」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の思いや材料などをもとに表現方法について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第 1 学年　～　「ずっと木といっしょに」の題材において、木目を生かして、握りやすいナイフを紹介し、家庭科との関連する写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫 第 2,3 学年～　「文化を守り、育む」の題材において、捨てずに資源として再利用する南部裂織を紹介し、社会科との関連を写真等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫

使用上の配慮等	○巻末で、「学びの資料」（全学年）として、表現活動や制作する中で必要となる自意識や技法などを紹介したり、「持続可能な未来へ（第 2,3 学年）」では、ウポポイを紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり、全学年の題材の随所で、学習のポイントを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示したり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
の そ	○　学習を効果的に進められるように、身に付けさせたい力を明確化させるなど、各題材の「学習の目標」を提示、構成を整理するなど工夫されている。「アイディアシート」や「鑑賞シート」などが活用できるような構成になっている。 ○　学びのポイントをアイコンによって示したり、二次元コードの掲載および活用を促したりすることによって、興味関心を高め、見通しをもって学習に取り組むことができるよう工夫がされている。 ○　北海道、諸地域及び諸外国の作品や文化、また、SDGsやユニバーサルデザインなど、多種多様な作品を取り上げることによって実社会や実生活との関連を意識できるよう工夫がされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
三谷　龍司 （青柳中）	山口　好和 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	木村　麻岐 （五稜郭中）	森　泰司 （本通中）	櫻井　純 （亀田中）

小委員会名　　美　術

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
38 光　村	美術 038-72	美術 038-73	美術 038-82
教科書名	美術　1	美術　1　資料	美術　2･3

2 調査研究内容

取扱内容	○　絵や彫刻については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年　～　身近な人のもつ雰囲気を、表情やしぐさから捉えて絵を描いたり、自然物の美しさや特徴などを形や色彩、質感などから捉えたりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美 しく表現する活動 第 2,3 学年～　目の錯覚を利用して形や色彩のトリックを使った絵を描いたり、空想の世界の動物を立体に表したりする活動を通して、独創的･総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○　デザインや工芸については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年　～　形や色彩が見る人に与える効果を理解してロゴマークのデザインを考えたり、使いやすさや装飾の美しさを考えて焼き物をつくったりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、 美しく表現する活動 第 2,3 学年～　地域の魅力を表すパッケージのデザインを考えたり、人々が利用しやすい公共施設のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的･総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○　鑑賞については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年　～　版画の線や面、色の重なりなど表現のよさや特徴について話し合う活動を通して、版画と絵の表現の違いや美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わったりする活動 第 2,3 学年～　浮世絵の大胆な構図と明快な色彩など、日本の美術と西洋の美術に与えた影響について話し合う活動を通して、我が国の伝統的な美術作品についての理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わったりする活動 ○　主体的･対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学　習活動が取り上げられている。 第 1 学年　～　「心ひかれるこの風景」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身の回りの風景を描いた作者の思いや表現の工夫について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 第 2,3 学年～　「あかりがつくる空間」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、様々な光が与える印象や効果について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第 1 学年　～「暮らしをいろどる文様」の題材において、エッシャーの敷き詰め模様を紹介し、数学科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫 第 2,3 学年～「メッセージを伝える」の題材において、ポスターなどの広告に入るコピーを紹介し、国語科との関連をコラム等で示すなど、教科等横断的に学習することができるような工夫
使用上の配慮等	○　巻末で、「学習を支える資料」（全学年）として、美術作品の鑑賞方法などを紹介したり、「北と南の民族衣装」（第 2,3 学年）では、アイヌ民族の伝統的な衣装を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　全学年の題材の冒頭で、生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり（全学年）、の題材の随所で、学習のポイントを示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示したり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　各題材の目標を明確にし、題材を系統的に配列することで「発想や構想に関する資質・能力」、「技能に関する資質・能力」、「鑑賞に関する資質・能力」を身に付けられるように工夫されている。 ○　「表現」と「鑑賞」の相互関連を意識し、オレンジ色で表示した「鑑賞」と青色で表示した「表現」などのアイコンを活用することで学びの流れがわかり、見通しをもって学習活動に取り組むことができるよう工夫がされている。 ○　北海道関連の作品などを取り上げたり、作者の言葉とともに日常風景や生徒作品を多く取り上げたりすることにより、身近にある美しさに目を向けることができるよう実社会や実生活との関連が工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
三谷　龍司 （青柳中）	山口　好和 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	木村　麻岐 （五稜郭中）	森　泰司 （本通中）	櫻井　純 （亀田中）

小委員会名　　美　術

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
116 日　文	美術 116-72	美術 116-83	美術 116-84
教科書名	美術1 美術との出会い	美術　2・3上 学びの実感と深まり	美術　2・3下 学びの探究と未来

2 調査研究内容

取扱内容	○　絵や彫刻については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年　～　身近にあるものや愛着のあるものをよく見て絵を描いたり，木の枝や石，廃材などの形や色彩，質感を生かして表したりする活動を通して，豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け，意図に応じて創意工夫し，美しく表現する活動 第 2,3 学年～　視点の違いや構図の工夫して印象の変化を生かして絵を描いたり，動物の特徴やイメージを立体に表したりする活動を通して，独創的・総合的な見方や考え方を培い，豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し，創造的に表現する活動 ○　デザインや工芸については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年　～　自然物や人工物の特徴から模様を考えたり，木の質感や特性，形や色彩に着目し，使う場面を考えて道具をつくったりする活動を通して，豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け，意図に応じて創意工夫し，美しく表現する活動 第 2,3 学年～　布の質感や染色の技法を生かしたデザインを考えたり，過ごす人の思いなどを考えて環境のデザインを工夫したりする活動を通して，独創的・総合的な見方や考え方を培い，豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し，創造的に表現する活動 ○　鑑賞については，目標を達成することができるよう，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年　～　原始美術の造形的なよさや意図について話し合う活動を通して，当時の人々の願いや作者の意図や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げたり，美術文化に対する関心を高め，よさや美しさなどを味わったりする活動 第 2,3 学年～　現代美術の美しさや面白さについて話し合う活動を通して，作者の意図と創造的な工夫などについての理解や見方を深めたり，心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち，よさや美しさなどを味わったりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については，次のような学習活動が取り上げられている。 第 1 学年　～　「材料に命を吹き込む」の題材において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，身の回りの材料などの形や色彩の特徴について交流するなど，考えを広げたり深めたりする活動 第 2,3 学年～　「魅力を伝えるパッケージ」の題材において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，中身のイメージをもとに美しさや伝達の効果について交流するなど，考えを広げたり深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については，次のような工夫がなされている。 第 1 学年　～　「自然の美しさから生まれた」の題材において，建築や芸術作品に生かされている黄金比を紹介し，数学科との関連を写真等で示すなど，教科等横断的に学習することができるような工夫 第 2,3 学年～　「どこまで修復すべきか」の題材において，美術文化の継承の意義や方法などを紹介し，道徳との関連を写真等で示すなど，教科等横断的に学習することができるような工夫

使用上の配慮等	○　巻末で，「学びを支える資料」（全学年）として，技能の習得や題材に関連した鑑賞資料などを紹介したり，「暮らしに息づくパブリックアート」（第 2,3 学年）では，道内の屋外彫刻を紹介したりするなど，生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　全学年の題材の冒頭で，生徒に身に付けさせたい力をマークや囲みで示したり，全学年の題材の随所で，造形的な視点を示したりするなど，主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう，各題材の内容ごとに色で示したり，用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに，1人1台端末を活用した学習活動として，二次元コードを掲載するなど，使用上の便宜が図られている。
その他	○　各題材において「学びの目標」を設定し，「表現のヒント」，「鑑賞の入口」などを提示することで，何ができるようになるか，何を学ぶのかを明確にしながら学習に取り組めるよう工夫がされている。 ○　すべての題材に学習用端末を利用して動画や資料を参照できる「学びのはじめに」等，二次元コードを配置することで，見通しをもち，理解を深めながら学習に取り組めるよう工夫がされている。 ○　北海道に関連のある作品，施設や他地域の文化などの資料を充実させたり，多様な表現や価値観に触れられる題材を取り上げたりするなど，実社会や実生活に豊かに関われるような工夫がされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
三谷　龍司 （青柳中）	山口　好和 （学識経験者）	高橋　めぐみ （PTA）	木村　麻岐 （五稜郭中）	森　泰司 （本通中）	櫻井　純 （亀田中）

小委員会名　　保健体育

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
2 東　書	保健体育 002-72
教科書名	新編　新しい保健体育

2 調査研究内容

取扱内容	○　保健分野の「健康な生活と疾病の予防」については、健康や疾病に関わる主体要因についての資料を基に、どのように健康状態を保持できるようにするかを考えたり、がんの発生の仕方や要因などについて調べたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　保健分野の「心身の機能の発達と心の健康」については、性衝動や性情報の学習を基に、事例の背景や問題点を話し合ったり、ストレスへの対処について、リラクセーションの方法を実習を通して身に付けたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　保健分野の「傷害の防止」については、様々な事故や災害についての具体的な資料を基に、その要因や回避の方法を考えたり、応急手当の具体的な方法について、資料を見て確認したことを実習を通して理解したりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　保健分野の「健康と環境」については、環境の変化に対する体の適応能力について、具体的な事例を基に考えたり、廃棄物の衛生的管理について、学習したことを基に、個人で取り組むことができる対応を考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　体育分野については、目標を達成することができるよう、運動やスポーツへの関わり方について、写真や例示を基に考えたり、スポーツの文化的意義について、スポーツが自分たちの生活をよりよくしている事例を基に話し合ったりする活動を通して、運動やスポーツへの多様な関わり方や現代社会におけるスポーツの文化的意義について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動が取り上げられている。 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・保健分野については、健康な生活と疾病の予防の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「課題の解決」で資料などにより調べた喫煙・飲酒・薬物乱用の要因などの知識を基に、適切な対処の方法について話し合い、「広げる」で社会の取組についてさらに調べるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「課題の解決」で運動やスポーツの効果を資料等を基に考え、みんながスポーツを楽しむための工夫について話し合い、「広げる」で運動やスポーツの効果を日常生活でどのように役立てるかをさらに考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・保健分野については、小学校で学習した病気の予防や地域の保健活動について振り返る学習をした後に、感染症の発生要因や予防策、保健・医療機関の有効な利用や医薬品の正しい使用を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第１学年で運動やスポーツへの多様な関わり方をした後に、現代社会におけるスポーツの文化的意義、スポーツが果たす文化的役割を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫

使用上の配慮等	○　巻頭に「SDGｓ」「テクノロジー」「情報」を切り口とした口絵を掲載したり、各章末に章の学習に関連した資料を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　日常経験や既習事項を基に考える・話し合う学習活動を位置付けたり、習得した知識・技能を活用するようにしたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　学習の流れが一目で分かるレイアウトにすることで学習の見通しをもてるようにしたり、全ての生徒が学習しやすいよう、配色やデザインに配慮したりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○「学習課題」の発問が、生徒向けとなっている。デジタルコンテンツが豊富であり、中学生の発達段階に考慮されている。授業の振り返りとしての「活用する」では、自分の経験として考え、「広げる」ではこれからの生活に生きる発問である。 ○　学習の流れが明確であり、見つける→学習課題→課題の解決→本文・資料→活用する→広げるが教科書の見開きでわかる。なお、各章でデジタルコンテンツでは動画が充実しているため、視覚的に情報を捉えられ、学びを深めることができる。 ○「巻末資料」や「広げる」では、学習したことを自分の生活に当てはめることができる。「命や健康を守る」ためのスキル育成の資料に重視しており、これからよりよい生活を送るために繋がっていく、わかりやすい内容となっている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
山口　哲也 （亀田中）	白府　士孝 （学識経験者）	吉田　彩子 （PTA）	水口　力 （青柳中）	工藤　美希 （南茅部中）	弓庭　美帆 （赤川中）

小委員会名　　保健体育

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
4 大日本	保健体育 702
教科書名	中学校保健体育

2 調査研究内容

取扱内容	○　保健分野の「健康な生活と疾病の予防」については、自分の健康を左右する要因について、主体と環境に分けて書き出したり、喫煙や飲酒、薬物乱用のきっかけについて話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　保健分野の「心身の機能の発達と心の健康」については、中学生の時期に特に発育・発達する器官とその特徴について書き出したり、ストレスへの対処について、リラクセーションの方法を実習を通して身に付けたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　保健分野の「傷害の防止」については、地域で起こりやすい自然災害に対する備えや自然災害が発生した際の行動について調べたり、傷病者を発見した際の行動について話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　保健分野の「健康と環境」については、温熱条件や明るさの至適範囲について考え、教室の気温や湿度、明るさなどを調べたり、廃棄物を減らすための家庭や地域での取組について話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動目標を達成することができるようになっている。 ○　体育分野については、目標を達成することができるよう、運動やスポーツを行うことによる心身への効果について話し合ったり、国際的なスポーツ大会と国際親善や世界平和との結び付きについて考えたりする活動を通して、運動やスポーツが心身や社会性の発達におよぼす効果や、国際的なスポーツ大会の文化的な役割について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動が取り上げられている。 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・保健分野については、健康な生活と病気の予防の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「話し合ってみよう」で資料を参考に、がんにかかりにくくするための方法を話し合い、「活用して深めよう」で身近な大人に向けたがんに対する行動のアドバイスを考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの多様性の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「話し合ってみよう」で資料を参考に運動やスポーツへの関わり方にはどのような楽しさや魅力があるかを話し合い、「活用して深めよう」で自己の今後の運動やスポーツとの関わり方について考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・保健分野については、小学校で学習した思春期の体の変化等について振り返る学習をした後に、体と心の発達、ストレスへの対処の仕方を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第１学年で運動やスポーツへの多様な関わり方を学習をした後に、国際的なスポーツ大会の文化的な役割、人々を結び付けるスポーツの文化的な働きを取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫

使用上の配慮等	○　巻頭に魅力のある写真や現代的なテーマの口絵を掲載したり、学習内容に関連した「トピックス」や「ミニ知識」を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　複数の資料を比べて読み取る活動を位置付けたり、友達と話し合うなど、対話を通して思考を広げ、深められるようにしたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　色覚の違いによって学習に支障が出ることがないよう色遣いを工夫したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、「ＷＥＢマーク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　本文と資料の構成が精査されている。資料の豊富さや、知識を深めるための説明内容がわかりやすく、定着しやすい。授業の振り返りとして、「活用して深めよ」では、身についた学習を深められるよう、今後の生活に繋げられる内容となっている。 ○　教科書のデザインが視覚的に捉えやすく、見通しが持てる。小学校で学んだことを中学校で活かし、高等学校への学びへ繋げる系統性のある内容となっている。デジタルコンテンツは振り返りが「高校への学び」と繋がっている。 ○　現実的な諸課題に対応するために、防災教育、食育、道徳教育（多様性を認める）、ストレスへの対処が取り上げられている。学習する内容の特に「学びを活かそう」は、生徒自身が実生活・実社会に繋げられる内容となっている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
山口　哲也 （亀田中）	白府　士孝 （学識経験者）	吉田　彩子 （PTA）	水口　力 （青柳中）	工藤　美希 （南茅部中）	弓庭　美帆 （赤川中）

小委員会名　　保健体育

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
50 大修館	保健体育 050-72
教科書名	最新　中学校保健体育

2 調査研究内容

取扱内容	○　保健分野の「健康な生活と疾病の予防」については、運動と健康の関連についての資料を基に、自分の運動習慣の改善方法を考えたり、病原体から体を守る仕組みなどを調べ、抵抗力を高める方法を整理したりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　保健分野の「心身の機能の発達と心の健康」については、心の働きの学習を基に脳の働きの違いについて話し合ったり、ストレスへの対処について、リラクセーションの方法を実習を通して身に付けたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　保健分野の「傷害の防止」については、けがが起こる要因についての学習を基に、事例について危険回避のための工夫や対策を話し合ったり、止血法、包帯法や固定法について、実習を通して身に付けたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　保健分野の「健康と環境」については、気象情報を利用し、どのように健康被害を防ぐかを考えたり、ゴミが衛生的に処理されなかった場合の健康に及ぼす影響について話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　体育分野については、目標を達成することができるよう、運動やスポーツを安全に行うために気を付けることを確認したり、生涯にわたってスポーツに親しむことの大切さについて話し合ったりする活動を通して、運動やスポーツの安全な行い方や現代生活におけるスポーツの文化的な意義について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動が取り上げられている。 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・保健分野については、健康な生活と疾病の予防の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「身につける・考える」で資料を基に体の各器官の発育・発達の特徴について理解し、「まとめる・振り返る」でよりよい発育・発達のために、今の生活の改善点を考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「身につける・考える」で映像資料等を基に運動やスポーツの心と体への効果について理解し、「まとめる・振り返る」で自分の体力の状態を見直し、体力を高めるための計画を立てるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・保健分野については、小学校で学習した日常生活の行動が原因となる病気等について振り返る学習をした後に、生活習慣の健康への影響、喫煙・飲酒・薬物の誘惑を断る具体的な方法を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、運動やスポーツの楽しさや関わり方を学習をした後に、運動やスポーツの体と心への効果、スポーツの国際大会の意義と役割を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫

使用上の配慮等	○　巻頭の口絵で現代社会の中で、健康課題として浮上しているテーマを取り上げたり、今日的な課題をコラムや特集資料として掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　互いの考えの共有や思考を広げるための対話的な活動を位置付けたり、学習したことを基に考えを伝える・日常生活に生かす活動を位置付けたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　学習の流れが把握しやすいようレイアウトすることで見通しがもてるようにしたり、様々な色覚の特性に対応したカラーデザインに配慮したりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、「ｗｅｂ保体情報館」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　本文の情報が適量であり、本文と資料の配置が工夫され、更に各節で統一されおり、見やすい構成になっている。学習のまとめでは、学習内容に合わせた学習形態（個別学習・グループ学習）が取り入れられている。 ○　課題をつかむ→身につける・考える→まとめる→振り返る構成の順序がわかりやすく、小学校で既習した学習内容、中学校・高校で今後学ぶことが明確である。見通しをもった学習、更には実生活に繋がる内容となっている。 ○　変化の激しい社会に対応したコラムの内容や、特集資料が多く、多様性や共生社会を重視している。幅広い内容であるが、今日的な課題が取り上げられ、本文が生徒にとってわかりやすくまとめられている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
山口　哲也 （亀田中）	白府　士孝 （学識経験者）	吉田　彩子 （PTA）	水口　力 （青柳中）	工藤　美希 （南茅部中）	弓庭　美帆 （赤川中）

小委員会名　　保健体育

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
224 学研	保健体育 224-72
教科書名	新・中学保健体育

2 調査研究内容

取扱内容	○　保健分野の「健康な生活と疾病の予防」については、生活習慣病の要因についての資料を基に調べ、自分の生活を振り返ったり、感染症について、感染経路や予防方法について調べ、日常の過ごし方について交流したりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　保健分野の「心身の機能の発達と心の健康」については、思春期の体の変化はどのような仕組みで起こるのかについての資料を基に考えたり、ストレスへの対処について、リラクセーションの方法を実習を通して身に付けたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　保健分野の「傷害の防止」については、傷害の要因や回避の方法について、自身の体験を基に話し合ったり、自然災害から身を守るための備えや発生時の行動について、具体例を基に考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　保健分野の「健康と環境」については、環境の変化と適応能力を超えた環境の例を調べたり、水の役割や飲料水の確保についての学習を基に、身近なもので水を浄化する方法について考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○　体育分野については、目標を達成することができるよう、目的や年齢、性別などの違いを超えて楽しむことができる運動やスポーツの行い方について話し合ったり、自分が安全にスポーツ活動を行うためのチェック項目を考えたりする活動を通して、スポーツの多様な楽しみ方やスポーツの安全な行い方について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動が取り上げられている。 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・保健分野については、健康な生活と病気の予防の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「エクササイズ」で飲酒開始年齢とアルコール依存症の関係性についてのグラフから、20 歳未満の飲酒の害について話し合い、「学びを生かす」で実践的な場面を想定した事例における飲酒の断り方を考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ・体育分野については、スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「エクササイズ」でキーワードを基にスポーツが心身や社会に及ぼす効果について調べる・話し合う活動を行い、「学びを生かす」で自分がスポーツを日常的に行ったときの効果について考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・保健分野については、小学校で学習した体をよりよく発育・発達させるための生活等について振り返る学習をした後に、健康づくりのための運動の行い方、調和のとれた生活を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第１学年でスポーツへの多様な関わり方を学習をした後に、スポーツの効果的な学び方、スポーツの文化的意義を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫

使用上の配慮等	○　巻頭の口絵でスポーツの魅力や価値を感じられる写真等を掲載したり、各章の扉にこれから学びたいことや学んだことを表現する欄を設けたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　学習した知識・技能や情報を基にした協働的な活動を通して、課題の解決を進められるようにしたり、学んだことを基にして取り組む実践的な課題を取り上げたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　配色、表現・レイアウトについて、誰もが見やすく、わかりやすい内容となるように配慮したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、「教科書サイト」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　課題の発見→課題の解決→学びの活用によって、学習の見通しが持てる流れとなっている。その中でも振り返りの発問により、授業の着地点がわかりやすい。個別学習から、グループ学習を通して自分の考えを深まる構成になっている。 ○　デジタルコンテンツは学習を手助けする各機関などのHPに繋がっている。「学びの活用」が実生活に生かすものとなっており、グループ活動が取り入れられ、共同的な学びを促す構成になっている。 ○　ウェルビーイング等も扱われ、生きるためにはどのような社会や生活を送るとよいかなど多様性についても考える内容となっている。コラムが充実しており、これからの時代に求められる身の回りの安全・健康課題などを考える内容となっている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
山口　哲也 （亀田中）	白府　士孝 （学識経験者）	吉田　彩子 （PTA）	水口　力 （青柳中）	工藤　美希 （南茅部中）	弓庭　美帆 （赤川中）

小委員会名　　技術・家庭

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
2 東　書	技術 002-72
教科書名	新編　新しい技術・家庭　技術分野　未来を創る Technology

2　調査研究内容

取扱内容	○　技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品や建築物について開発者が込めた問題解決の工夫を考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生活や学校、社会の中から問題を見いだし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「B生物育成の技術」において、夏野菜を冬に栽培することができる技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、持続可能な社会の実現に向け、生物育成の技術でできることについて話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの機器が動く仕組みについて調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、自身が経験した問題解決と社会や産業における問題解決の共通点や違いについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「D情報の技術」において、生活や社会の中で使われている情報の技術を見付け、まとめることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよい生活の実現に向けて、情報の技術でできることについて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の　技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、グループで育成計画を交流し、必要に応じて修正したり、栽培の育成計画や観察記録を　振り返り、栽培レポートを作成したりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの　学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、「技術分野の学習を始めよう」において、3学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「生活や社会を支える材料と加工の技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　問題の発見や課題設定のイメージをもたせるための3コマ漫画を示したり、技術の見方・考え方に気付かせるための「技術のめがね」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　各節の冒頭に考えを交流し合う「始めの活動」や、学習内容を振り返り、次の学習につなげる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　巻頭に安全への意識を高めるページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(二次元コード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　各節に「学習課題」を示し、見開きで何を学習するのかが明確化されていたり、節　の終りの「まとめよう」を設けたりすることで1単位時間で学習内容の確認ができる　よう工夫されている。 ○　多様で豊富なデジタルコンテンツやシミュレーションを収載し、生徒が主体的で深　い学びを広げられるようになっている。 ○　詳細な情報の記載や巻末に「Society5.0 のその先へ　未来を作る　Technology」を設　け、学習内容の振り返りやこれからの学習や実践につなげられるようになっている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
小田桐　智 (本通中)	長尾　智絵 (学識経験者)	向　大喬 (PTA)	冨尾　拓 (戸井学園)	籠嶋　勉 (椴法華中)	小本　陽子 (巴中)

小委員会名　　技術・家庭

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号	
6 教　図	技術 006-73	技術 006-74
教科書名	新　技術・家庭　技術分野 明日を創造する	新　技術・家庭　技術分野 明日を創造する　スキルアシスト

2　調査研究内容

取扱内容	○　技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品の開発の工夫と問題解決の進め方について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、身の回りで不便に感じていることなどの問題の解決に向けた学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「B生物育成の技術」において、生物の特性や習性に合わせて環境を調節する技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、技術のプラス面とマイナス面を踏まえ、社会における技術の在り方についてまとめることを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの製品の技術の工夫について調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよいエネルギーの利用やエネルギー変換の技術の活用法などについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「D情報の技術」において、身近な生活や社会で利用されている情報の技術について考え、見付けることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、情報の技術の役割や影響を踏まえ、新しく開発したい技術について考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術『技術をいかそう』」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の考えた計画を先輩や友人の計画と比較し見直したり、環境調節の仕方や成長に応じた管理の仕方などの修正案をまとめたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、「学習内容への道案内」において、3学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「材料と加工の技術『技術を見つめよう』」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　問題解決の流れを学ぶための4コマ漫画を示したり、設計・計画や実習に活用できるよう技術資料を別冊にまとめたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　学習の流れを明確にするための「見つける」「学ぶ」「ふり返る」の3つのステップや、学習内容を自ら確認し、振り返りにつなげる「めあて」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　学習全体に対する安全や各編に特化した安全のページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　各節冒頭に記されている「めあて」で育成すべき資質・能力が明確に示されて いる。 ○　別冊と組み合わせて、精選された紙面構成は、生徒の想像力や思考を活性化さ て対話的な学びの機会を広げる工夫がされている。また、紙面上の二次元コー ドから学習にかかわる動画や資料を見ることができるようになっている。 ○　巻末に「夢をかなえる技術」を設け、これまでの学習内容を生かし、自分たち の生活の課題の解決につなげるようにしている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
小田桐　智 （本通中）	長尾　智絵 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	冨尾　拓 （戸井学園）	籠嶋　勉 （椴法華中）	小本　陽子 （巴中）

小委員会名　　技術・家庭

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
9 開隆堂	技術 009-72
教科書名	技術・家庭　技術分野　テクノロジーに希望をのせて

2　調査研究内容

取扱内容	○　技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品に使われている材料と使用場面について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、日常生活を見直して問題を見いだし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「B生物育成の技術」において、季節を問わず安定して作物を生産する栽培方法の特徴について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、これからの生物育成の技術や、その活用について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの製品に込められた技術の仕組みについて調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、新しいエネルギー変換の技術について調べ、考えたことを情報交換することを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「D情報の技術」において、情報の技術と身の回りにある製品やサービスとの関わりについて考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、自身が経験した問題解決の過程と社会における問題解決をつなげて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、設定した課題に応じて育成計画を立てたり、問題解決の過程を振り返り、育成した作物の評価をもとに改善策を考えたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、「技術の学習を始める前に」において、3学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「材料を利用するための技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　問題解決の流れのイメージをもたせるための4コマ漫画を示したり、実践的・体験的な学習活動や実習例を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　各小項目の冒頭に学習の見通しをもつ「学習の目標」や、学習内容について自分で振り返るための「CHECK」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　学習における安全について授業場面を例に説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　1時間ごとの学習目標が明示されていることと、各章の終わりに「学習のまとめ」 を設けることで、学ぶべき学習内容の定着が図られるよう工夫されている。また、身　近なテーマを取り入れた導入ページは、新しい出会いや気づきを生み出し、学習意欲　の高まりが期待できる。 ○　学習内容を見開き2ページにまとめ、紙面構成が4段構成に共通化されていること　で、学習の見通しが立てやすいよう工夫されている。また、各節ごとに導入されてい　る二次元コードは、学習活動の際に取り扱いやすい工夫がされている。 ○　「技術による問題の解決を考えよう」のコーナーを設け、学習内容を生かして、社　会にある課題の解決へ向けたプロセスを考えさせる工夫が見られる。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
小田桐　智 （本通中）	長尾　智絵 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	冨尾　拓 （戸井学園）	籠嶋　勉 （椴法華中）	小本　陽子 （巴中）

2 小委員会名　　技術・家庭

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
2 東　書	家庭 002-72
教科書名	新編　新しい技術・家庭 家庭分野　自立と共生を目指して

2 調査研究内容

取扱内容	○　家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、家庭内外の仕事について理解したり、家族が家事をどのように分担しているかを振り返ったりする活動 ・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、環境のことを考えた調理を行ったり、住まいの中の危険について考えたりする活動 ・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、消費者の権利と責任に関する知識を身に付けたり、エネルギー消費を減らす方法を考え、消費生活を工夫したりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「B衣食住の生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために持続可能な衣生活を取り上げ、衣服をリフォームしたり、リメイクしたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「A家族・家庭生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、限られた予算の中で、地域の人と炊き出し訓練を開催する実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「プロに聞く！」「せいかつメモ」などのコラムを掲載したり、大きく鮮やかな写真や実物大写真を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　学習のまとまりごとに、生徒が自分の課題に気づくために生徒キャラクターによる課題につながるヒントを示したり、学習したことを自分自身の生活に生かすために「生活に生かそう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家の検閲を受けたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やシミュレーションを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　学習の過程が俯瞰的に理解しやすい紙面構成で、五大栄養素から6つの食品群までの記載に無理がなく、スムーズな学習展開ができるよう工夫されている。 ○　各節に「学習課題」を示し、見開きで何を学習するのかが明確化されていたり、節の終わりの「まとめよう」を設けたりすることで、1時間単位時間で学習内容の確認ができるよう工夫されている。 ○　多様で豊富なデジタルコンテンツやシミュレーションを収載し、生徒が主体的で深い学びを広げられるようになっている。 ○　詳細な情報の記載や巻末に「家庭分野と SDGs」を設け、生徒が学習内容の振り返りやこれからの学習や実践につなげられるようになっている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
小田桐　智 （本通中）	長尾　智絵 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	冨尾　拓 （戸井学園）	籠嶋　勉 （椴法華中）	小本　陽子 （巴中）

小委員会名　　技術・家庭

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
6 教 図	家庭 006-72
教科書名	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する

2 調査研究内容

取扱内容	○ 家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、高齢者とのかかわりについて理解したり、住んでいる地域のよいところを振り返ったりする活動 ・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、災害時を想定した調理を行ったり、健康を守る室内環境の整え方について考えたりする活動 ・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、販売方法や支払い方法に関する知識を身に付けたり、自分が住んでいる地域の消費生活センターの所在地を調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「A家族・家庭生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために高齢者の一般的な特徴を取り上げ、ゴーグルなどを身に付けた疑似体験をするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「B衣食住の生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、しまったままの衣服について考え、買い物のむだを減らす実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう！」「メッセージ」などのコラムを掲載したり、幼児の表情がわかる写真や実物大写真を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○学習のまとまりごとに、学習前と学習後の自分の状況を比較し学習効果を実感するために「自立度チェック」を設けたり、生活の中の課題を、ステップに沿って解決するために「学びを生かそう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用したり、図やグラフの色遣いで、色による区別がなく、色の境界が識別できるように配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画や計算ソフトを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○各章の扉に記されている「自立度チェック」により、自身の学習状況の確認や学習前と学習後の比較をすることで学習効果が実感できるようになっている。 ○学習の流れが、「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」という3ステップで明確に示されていることで、見通しをもって学習を進める事ができる。また、紙面上の二次元コードから、学習にかかわる動画や資料を見ることができるように工夫している。 ○巻末に「生活の課題と実践」を設け、生徒がこれまでの学習内容を生かし、自分たちの生活の課題の解決につなげていけるようにしている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
小田桐 智 （本通中）	長尾 智絵 （学識経験者）	向 大喬 （PTA）	冨尾 拓 （戸井学園）	籠嶋 勉 （椴法華中）	小本 陽子 （巴中）

小委員会名　　技術・家庭

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号
9 開隆堂	家庭 009-72
教科書名	技術・家庭　家庭分野　自立しともに支え合う生活へ

2　調査研究内容

取扱内容	○　家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、幼児にとっての遊びの意義について理解したり、自分の成長を振り返ったりする活動 ・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、加工食品を活用した調理を行ったり、家族の希望を踏まえた部屋の使い方について考えたりする活動 ・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、売買契約の成立と解約に関する知識を身に付けたり、キャッシュレス支払いで便利になったことや困ったことについて話し合ったりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「B衣食住の生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために郷土料理や行事食を取り上げ、地域の雑煮を調べて調理するなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「A家族・家庭生活」と「B衣食住の生活」の関連を図り、祖父母と一緒に食べるお弁当をつくる実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　「消費・環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などのコラムを掲載したり、目に見えない事象を写真やイラストで視覚化して示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　学習のまとまりごとに、自分事として、家庭生活・地域・社会に関心をもつために「生活の具体的な場面の例」を示したり、生活の中から考え、実践するために「やってみよう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　ユニバーサルデザインフォントを使用したり、デザイン、配色について色彩の専門家による検証を行ったりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画や学習カードを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　1時間ごとの学習目標が明示されていることと、各章の終わりに「学習のまとめ」を設けることで、学ぶべき学習内容の定着が図れるよう工夫されている。また、吹き出しを利用したヒントは生徒が考える際の気づきを促すことに効果的である。 ○　学習内容を見開き2ページにまとめ、紙面構成が4段構成に共通化されていることで、学習の見通しが立てやすいよう工夫されている。また、各節ごとに導入されている二次元コードは、学習活動において取り扱いやすい工夫がされている。 ○　「生活の課題と実践」のコーナーを設け、学習内容を生かして、社会にある課題の解決へ向けたプロセスを考えさせる工夫が見られる。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
小田桐　智 （本通中）	長尾　智絵 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	冨尾　拓 （戸井学園）	籠嶋　勉 （椴法華中）	小本　陽子 （巴中）

小委員会名　　英　語

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
2 東　書	英語 002-72	英語 002-82	英語 002-92
教科書名	NEW HORIZON English Course 1	NEW HORIZON English Course 2	NEW HORIZON English Course 3

2 調査研究内容

取扱内容	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 身近な話題についてのスピーチを聞き取ったり、コマーシャルを聞き、必要な情報を聞き取ったりする活動 第2学年～ 機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ったり、インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ったりする活動 第3学年～ ディスカッションを聞き、必要な情報を聞き取ったり、世界の食糧問題に関する講話を聞き、話し手の伝えたい内容を捉えたりする活動 ○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ ブログやインタビュー記事の概要を読み取ったり、物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったりする活動 第2学年～ 伝記を読んで時系列を整理しながら内容を読み取ったり、議論に向けて賛成・反対の意見を読み取ったりする活動 第3学年～ エネルギー問題に関する説明文の概要を捉えたり、論題について意見を読み取ったりする活動 ○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 好きな有名人や憧れの人についてたずねたり、病院で症状やこれまでの出来事などを伝えたりする活動 第2学年～ 路線図を参考に行き方を案内するやり取りをしたり、自分の好みや要望を伝えながら買い物をしたりする活動 第3学年～ 防災のためにどんな助け合いができるか伝え合ったり、主張とその理由を明確にしながらディベートをしたりする活動 ○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学　習活動が取り上げられている。 第1学年～ 友達紹介のスピーチをしたり、思い出に残った出来事について発表したりする活動 第2学年～ 好きな日本食について特徴や好きな理由を発表したり、アンケート調査の結果を発表したりする活動 第3学年～ 理想のリーダーについて紹介したり、これからの抱負を発表したりする活動 ○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動　が取り上げられている。 第1学年～ 自己紹介のポスターを書いたり、好きな有名人や憧れの人を紹介する文章を書いたりする活動 第2学年～ 学校や学校生活について説明する文章を書いたり、世界遺産の特徴を紹介する文章を書いたりする活動 第3学年～ 資料から読み取った情報をレポートに書いたり、自分の意見と理由を組み合わせて投稿文を書いたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、ポスターの内容について概要を読み取ることや、協力を呼びかけるポスターを書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、世界遺産を紹介する文章を書くことや、世界遺産登録について、自分の立場を明確にして議論することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第3学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、アニメについての記事を読むことや、日本の

	ポップカルチャーの魅力を発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ Unit5 において、好きなこととそれ以外に知りたいことをたずね合う活動に取り組み、終末の活動で友達紹介のスピーチをする活動へ展開するなど系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ Unit5 において、ユニバーサルデザインを取り入れた工夫についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で取り入れたいものを伝え合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ Unit3 において、動物の数が減っている原因について発表する活動に取り組み、終末の活動で絶滅の恐れのある動物の現状を伝える活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「Unit Activity」(全学年)では、各パートで表現したことを生かして取り組むこと ができるゴールの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされてる。 ○ 英語学習のポイントを系統的に取り上げる「学び方コーナー」(全学年)や、巻末 に「CAN-DO リスト」(全学年)を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことが できるような工夫がなされてる。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配 色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各 単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 振り返りや自己評価を行うことができるよう Unit ごとに単元末活動が配置されており、また単元末の活動を重視しながら、全ての単元の冒頭に必ず到達点(ゴール)を単元の目標とセットで示していることで、身についた力や自身の成長を自覚することができる。 ○ 前回の教科書から機能が追加された豊富なデジタルコンテンツを通して、音声学習を効率よく進め、言語を使用する目的・場面・状況を意識し、アクティビティに主体的に取り組める工夫により、コミュニケーション力の向上につなげられる。 ○ 取り扱う題材や登場人物の出身地など、多様性が尊重される社会の実現を意識して選定されており、ダイバーシティが重視されているとともに、日本の伝統や文化の良さを海外に発信したり、逆に外国人に日本の良さを紹介したりするなど、自国の理解を深めることができる。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
小笠原　学 (戸井学園)	長尾　智絵 (学識経験者)	向　大喬 (PTA)	木谷　隆史 (巴中)	新田　涼介 (五稜郭中)	岡　友紀 (本通中)

1 小委員会名　　英　語

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
9 開隆堂	英語 009-72	英語 009-82	英語 009-92
教科書名	Sunshine English Course 1	Sunshine English Course 2	Sunshine English Course 3

2　調査研究内容

取扱内容	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自己紹介や友達の得意なことなどを聞き取ったり、ラジオのインタビュー音声を聞いて内容を理解したりする活動 第2学年～ 登場人物の会話や電話の内容を聞いたり、天気予報や飛行機のアナウンスなどから必要な情報を聞き取ったりする活動 第3学年～ 海外からの旅行者の対話やラジオ CM を聞いたり、SDGs についてのディスカッションなど社会的な話題について重要な情報を聞き取ったりする活動 ○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 紹介文など簡単な英文から必要な情報を読み取ったり、物語の内容を読んで理解したりする活動 第2学年～ 外国人に向けたおすすめスポットのチラシから必要な情報を読み取ったり、メールや物語などのおおまかな内容を捉えたりする活動 第3学年～ ポスターの情報を読み取ったり、プラスチックごみや人物の功績など社会的な話題について読み取ったりする活動 ○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 好きなことや普段することなどについてたずねたり、学校案内や買い物などのやり取りしたりする活動 第2学年～ 誘いたい遊びやイベントについて伝え合ったり、レストランでの注文などのやり取りをしたりする活動 第3学年～ ポスターセッションで訪問者と説明者でやり取りしたり、レストランに提案する SDGs の取組についてディスカッションしたりする活動 ○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自分が選んだ写真についてスピーチしたり、マッピングを用いて考えを整理して人物を紹介したりする活動 第2学年～ 自分たちが考えたラーメンの CM を発表したり、スポーツ選手やアーティストなどの人物を紹介したりする活動 第3学年～ ユニバーサル・デザインの道具や施設を紹介したり、スポーツ大会の工夫やお菓子の特徴などをまとめた内容について発表したりする活動 ○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ クラブ活動の入会届を書いたり、リポーターとして人物の状況が伝わるように説明する文を書いたりする活動 第2学年～ 子どもの頃の思い出などをメモに書いたり、外国人に向けたおすすめスポットのチラシを作ったりする活動 第3学年～ カウンセラーになって友達の悩みの原因と解決策を書いたり、自分の学校を紹介する英文を書いたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、友達の書いたロボットを紹介する文を読むことや、友達のロボットの紹介を聞いてロボットができることを書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、地域のイベントでの出店について登場人物のアイデアを読み取ることや、自分が売りたいものについて伝え合うことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第3学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、スポーツ大会の工夫についてのスピーチ原

	稿を読むことや、行いたいスポーツについてのルールを書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～　Program6において、好きな映画やアニメについての会話を読む活動に取り組み、終末の活動で自分が好きな登場人物について書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～　Program7において、登場人物が作成した動物についてのクイズを読む活動に取り組み、終末の活動で動物の特徴について伝える活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～　Program5において、チョコレートの歴史について読む活動に取り組み、終末の活動で紹介したい日本のお菓子の特徴をまとめ発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　「Our Project」（全学年）では、学んだ表現などを使って取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　本文題材に関連した情報を取り上げる「Coffee Break」（全学年）や、巻末に「CAN －DOリスト」（全学年）を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　「何のために」「だれのために」を意識したコミュニケーション活動を通してスモールステップで学びに向かい、「最終的に身につけさせたい力」に向けて、3年間を通して　8つのパフォーマンス活動「Our Project」に取り組むことができる。 ○　ストーリー性のある統一した登場人物・題材、関連した写真やクイズ、動画、簡単なリスニングで楽しく学ぶことができる内容、さらに、2ターンを基本とした対話を通して、ミニマムエッセンスで新出表現を理解できる。 ○　実生活と関連した内容や現代的課題を通して、広く壮大な内容にふれながら、身の回りの場面から社会的な場面まで、統合的なパフォーマンス活動を行う「Our Project」を通して、社会的な場面で自分の言葉として英語を使う力を身に付けることができる。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
小笠原　学 （戸井学園）	長尾　智絵 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	木谷　隆史 （巴中）	新田　涼介 （五稜郭中）	岡　友紀 （本通中）

小委員会名　　英　語

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
15 三省堂	英語 015-72	英語 015-82	英語 015-92
教科書名	NEW CROWN English Series 1	NEW CROWN English Series 2	NEW CROWN English Series 3

2 調査研究内容

取扱内容	○「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　夏休みにしたことやラジオから流れる天気予報などを聞き取ったり、映画の予告編などを聞いて、概要を聞き取ったりする活動 第2学年～　アンケートの調査結果や友達の発表などを聞き取ったり、ニュースなどを聞いて、概要を聞き取ったりする活動 第3学年～　写真や修学旅行の思い出などについての話を聞き取ったり、電車の運行情報など必要な情報を聞き取ったりする活動 ○「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　募集の案内やメールなどから必要や情報を読み取ったり、雑誌の記事などのおおまかな内容を捉えたりする活動 第2学年～　おすすめの商品の説明や観光マップなどから必要な情報を読み取ったり、メールなどの要点を捉えたりする活動 第3学年～　投稿文やウェブサイトの記事などのおおまかな内容を捉えたり、物語などの概要を捉えたりする活動 ○「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　相手の得意なことや好きなキャラクターなどについてたずねたり、注文や夏休みにしたいことなどのやり取りをしたりする活動 第2学年～　お気に入りの本やおすすめの場所など即興で伝え合ったり、無人島に持って行くものなどについて話し合ったりする活動 第3学年～　好きな映画やおすすめの漫画など即興で伝え合ったり、友達の話を整理し、グループで話し合ったりする活動 ○「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　お気に入りの場所や店を発表したり、してみたいスポーツついて考えや意見を伝えたりする活動 第2学年～　町の魅力が伝わるように詳しく説明したり、アンケートの調査結果を発表したりする活動 第3学年～　夢中になっていることを紹介したり、旅行プランや物語の内容について考えや意見を発表したりする活動 ○「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　ヒーローを紹介するポスターを書いたり、思い出に残った出来事の絵日記を書いたりする活動 第2学年～　本や物語を紹介するカードを書いたり、考えや意見が伝わるようにメールの返事を書いたりする活動 第3学年～　投稿文に対する自分の考えを書いたり、商品のCMの構成や内容を原稿に書いたりする活動 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　単元を見通した学習課題を設定し、冬休みにしたことをたずねることや、今年一番思い出に残ったことを書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～　単元を見通した学習課題を設定し、地球のためにどんなことをしているかたずねることや、身近な環境問題について書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。

	第3学年～　単元を見通した学習課題を設定し、聞くと幸せな気持ちになる曲をたずねることや、テーマに沿った曲について投稿記事を書くことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～　Lesson7において、週末にしたことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動でやってみたいスポーツについて発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～　Lesson5において、町でおすすめの場所についてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で町や地域の魅力を発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～　Lesson8において、中学校卒業後のことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で将来、外国語を使う場面について考えや意見を伝え合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○　「TakeAction!」（全学年）では、リアルな場面や状況で、話したり、聞いたり、読んだりする活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　英語の学習の流れを紹介する「しくみと学び方」（全学年）や、巻末に「Can-Do リスト」（全学年）を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての生徒にとって、読みやすく、書きやすい書体となるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　各レッスンごとに示された Part と GoalActivity に向かい、知識・技能と思考力・判断力・表現力をバランスよく身につけていくことを自覚することができ、さらに GoalActivity で、「読むこと」または「書くこと／話すこと」のコミュニケーション活動で学びを実感することができる。 ○　登場人物を通して、ストーリーを楽しめる内容となっていて、身近なことについて伝え合い、話を続けるような構成となっている。 ○　身近な場面や状況で使われる自然な英語を通して、トピックやテーマに親しんだり、人や文化などへの理解を深めることができる。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
小笠原　学 （戸井学園）	長尾　智絵 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	木谷　隆史 （巴中）	新田　涼介 （五稜郭中）	岡　友紀 （本通中）

小委員会名　　英　語

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
17 教　出	英語 017-72	英語 017-82	英語 017-92
教科書名	ONE WORLD English Course 1	ONE WORLD English Course 2	ONE WORLD English Course 3

2 調査研究内容

取扱内容	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 昨日したことや天気予報を聞き取ったり、留守番電話のメッセージの概要を捉えたりする活動 第2学年～ 登場人物の会話や発表を聞き取ったり、空港やコンサートなどのアナウンスなどから必要な情報を聞き取ったりする活動 第3学年～ ニュースの概要や要点を捉えたり、館内アナウンスなどを聞いて概要を推測したりする活動 ○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 物語の概要を捉えたり、ウェブサイトなどから自分に必要な情報を見付けたりする活動 第2学年～ ポスターなどから必要な情報を読み取ったり、図表を使った説明文を適切に読み取ったりする活動 第3学年～ 伝記や説明文から文章の概要を捉えたり、物語などを読んで順序を理解しながら読み取ったりする活動 ○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 相手が質問した内容について関連する情報を加えたり、話題を広げた上で相手に質問したりする活動 第2学年～ 飲食店での注文や買い物のやり取りをしたり、環境問題についての対策を話し合ったりする活動 第3学年～ 経験したことをたずね、会話とつなげたり、相手を誘ったり、誘いに応じたりする活動 ○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ お気に入りの人物やオリジナルの標識などについて発表したり、自己紹介などを行ったりする活動 第2学年～ 便利なデザインについて紹介したり、行きたい名所を発表したりする活動 第3学年～ ディベートで賛成派、反対派の立場で発表したり、好きな季節について即興でスピーチをしたりする活動 ○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 英語でメールや日記を書いたり、自分の好きなものを SNS の記事にまとめたりする活動 第2学年～ 自分の町を紹介する文章を書いたり、最近新たに知ったことについてのスピーチ原稿を書いたりする活動 第3学年～ 魅力的な商品やサービスについてコマーシャルの原稿をまとめたり、ある議論について理由とともに自分の考えを書いたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、友達と標識クイズのやり取りをすることや、オリジナルの標識の特徴や意味を発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、友達と世界の国や地理クイズについてやり取りすることや、行きたい名所を魅力や理由とともに発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第3学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、宇宙ごみについてのニュースを読むことや、

	宇宙でどんなことをしたいか話し合うことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ Lesson4において、好きな作家や本について紹介する活動に取り組み、終末の活動で自分の好きなものを SNS に投稿して紹介する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ Lesson9において、日本手話とアメリカ手話の違いについて紹介する活動に取り組み、終末の活動で海外の友達に商品について説明する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ Lesson5において、どのような進学先を選ぶかやり取りする活動に取り組み、終末の活動で「中学生の夢」について発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「Project」(全学年)では、学んだことを生かして取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされてる。 ○ 辞書の使い方を紹介する「辞書の使い方」(全学年)や、巻末に「Can-Do 自己チェックリスト」(全学年)を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされてる。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 単元の最初で「内容理解の目標」「活動の目標」を示すとともに、シンプルな単元構成による学習を通して、4技能5領域の力をバランスよく身に付けたり、思考力・判断力・表現力等を段階的に身に付けたりすることができる。 ○ 日常生活から社会的なテーマまで、多様な題材をもとに考える機会が用意され、単元に関連したテーマで、楽しみながら思考し、発表ややり取りなどの活動ができる構成となっている。 ○ 取り扱う題材や登場人物の出身地など、多様性が尊重される社会の実現を意識して、ダイバーシティを重視することができるよう配慮されており、日本の伝統や文化の良さを海外に発信したり、逆に外国人に日本の良さを紹介しながら、自国の理解を深めることができる。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
小笠原　学 (戸井学園)	長尾　智絵 (学識経験者)	向　大喬 (PTA)	木谷　隆史 (巴中)	新田　涼介 (五稜郭中)	岡　友紀 (本通中)

小委員会名　　英　語

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
38 光　村	英語 038-72	英語 038-82	英語 038-92
教科書名	Here We Go! ENGLISH COURSE 1	Here We Go! ENGLISH COURSE 2	Here We Go! ENGLISH COURSE 3

2 調査研究内容

取扱内容	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自己紹介や夏休みにすることなどを聞き取ったり、学校紹介などを聞いて、おおまかな内容を捉えたりする活動 第2学年～ 友達の話やアナウンスなどから必要な情報を聞き取ったり、ニュースなどを聞いて、おおまかな内容を捉えたりする活動 第3学年～ 講演やおすすめの作品などについての話を聞き、おおまかな内容を捉えたり、話し合いを聞いて話し手の意見などの要点を捉えたりする活動 ○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 説明文やチャットのやり取りなどから必要な情報を読み取ったり、身近な人を紹介する文章などのおおまかな内容を捉えたりする活動 第2学年～ グルメの紹介記事やオンラインツアーの案内などから必要な情報を読み取ったり、日記などのおおまかな内容を捉えたりする活動 第3学年～ 人物の手記や伝記からその人物の功績などをおおまかに捉えたり、投稿文や説明文などの要点を捉えたりする活動 ○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自分と相手の基本的な情報や興味のあることなどについてたずねたり、買い物や注文などのやり取りをしたりする活動 第2学年～ 企画への希望や意見などその場で伝え合ったり、必要だと思うものなどについて意見を整理して伝え合ったりする活動 第3学年～ おすすめの作品について、詳しい情報を伝え合ったり、聞いた話をまとめ、自分の意見を伝えたりする活動 ○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 春休みの出来事を発表したり、伝えたい情報を整理して人物を紹介したりする活動 第2学年～ 町の名物の魅力が伝わるように詳しく説明したり、イベントを提案したりする活動 第3学年～ 伝記の内容を自分の言葉で説明したり、記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表したりする活動 ○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自己紹介カードに自分の情報を書いたり、友達の素敵なところが伝わる紹介文を書いたりする活動 第2学年～ 出来事や感想などを日記に書いたり、用件や気持ちが伝わるようにメールの返事を書いたりする活動 第3学年～ 説明文の要点に対する自分の考えを書いたり、読んだ手記の感想や考えをレポートに書いたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、身近な人を紹介する文章を読むことや、友達の紹介文を書いたりすることなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、友達の話から、企画に必要な情報を聞き取ることや、企画への希望や意見をその場で伝え合うことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第3学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、記事から、質問の答えに必要な情報を読み

	取ることや、記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ Unit4において、好きなスポーツ選手やミュージシャンについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で ALT に他教科の先生を紹介する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ Unit5において、災害に備えて必要だと思ったことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で防災バッグに必要だと思うものについて発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ Unit6において、日本のどんな作品を外国の人に紹介したいかやり取りする活動に取り組み、終末の活動でおすすめの作品について詳しい情報を伝え合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 「YouCanDoIt!」(全学年)では、学んだことを生かして取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 英語の学習方法を紹介する「英語の学びガイド」(全学年)や、巻末の「CAN-DO-List」(全学年)を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 主教材の Unit は扉・Part・Goal の3つで構成し、単元の目標(CAN-DO)を具現化した Goal の活動に向かって学習を進められるようにするとともに、Goal には、Part の学習の振り返りを促すヒントやアイコンを設定することで、既習事項を繰り返し活用しながら、活動に取り組むことができる。 ○ Unit 本文には、4人の中学生が出会い、さまざまな出来事を経験しながら成長していく設定となっていて、さらに帯教材の ActiveWords は、生徒が使いたくなる語彙を、イラストとともにカテゴリー別に整理して、言語活動の中で使いながら語彙を学び、表現を広げることができるような内容となっている。 ○ 教科書の学びを、実社会へとつなげることができるよう、多様な人々とつながる喜びを実感できる工夫がなされていて、付録教材 WorldTour では、豊富な映像資料に触れながら、多様な文化や価値観を学ぶことができるようになっている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
小笠原　学 (戸井学園)	長尾　智絵 (学識経験者)	向　大喬 (PTA)	木谷　隆史 (巴中)	新田　涼介 (五稜郭中)	岡　友紀 (本通中)

小委員会名　　英　語

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
61 啓林館	英語 061-72	英語 061-82	英語 061-92
教科書名	BLUE SKY English Course 1	BLUE SKY English Course 2	BLUE SKY English Course 3

2 調査研究内容

取扱内容	○ 「聞くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自己紹介を聞き取ったり、ビデオメッセージやニュースなどから必要な情報を聞き取ったりする活動 第2学年～ ラジオの内容を聞き取ったり、空港や機内のアナウンスから必要な情報を聞き取ったりする活動 第3学年～ 環境についてのスピーチを聞いて要点を捉えたり、ラジオ番組を聞いて必要な情報を聞き取ったりする活動 ○ 「読むこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 学校生活についての会話のおおまかな内容を捉えたり、海洋プラスティックごみについて、要点を捉えたりする活動 第2学年～ 海外の友達からのメールのおおまかな内容を捉えたり、伝記を読んで出来事を整理し、内容を捉えたりする活動 第3学年～ 物語からおおまかな内容を捉えたり、言語についての説明文について要点を捉えたりする活動 ○ 「話すこと[やり取り]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 教室への行き方をたずねたり説明したり、ファーストフード店での注文などのやり取りをしたりする活動 第2学年～ 目的地までの行き方をたずねたり説明したり、「学校の制服は必要かどうか」についてディスカッションしたりする活動 第3学年～ 苦情を伝えたり、苦情に対して謝ったり、目的地まで、乗り物を使った行き方をたずねたりする活動 ○ 「話すこと[発表]」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 自己紹介や大切なものについてスピーチをしたり、冬休みの思い出を発表したりする活動 第2学年～ イベントを企画して発表したり、未来にあったらいいと思うものについてプレゼンテーションしたりする活動 第3学年～ 再生可能なエネルギーについてスライドをもとに発表したり、スポーツ選手のことを紹介したりする活動 ○ 「書くこと」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 学校生活を紹介するメールを書いたり、したことや自分の考えなどを日記に書いたりする活動 第2学年～ おすすめの旅行先を紹介するメールを書いたり、日本の習慣やマナーを紹介する文章を書いたりする活動 第3学年～ ALT にインタビューした内容を記事にまとめたり、地域奉仕活動に関する意見文を書いたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、身近な人についての紹介を聞くことや、自分が紹介したいことや身近な人について発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 第2学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、夏休みに行きたい場所についてやり取りすることや、好きな祭りや地域で開催されている祭りについて発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。

	第3学年～ 単元を見通した学習課題を設定し、気候変動について聞くことや、自分が取り組める気候変動への対応策について発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。
内容の程度・排列・分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ Unit8 において、好きな料理について読む活動に取り組み、終末の活動で行きたい場所やそこでしたいことをたずね合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 第2学年～ Unit5 において、自分が今頑張っていることについて発表する活動に取り組み、終末の活動で将来の夢や達成したい目標について書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 第3学年～ Unit4 において、ピクトグラムについての説明を聞く活動に取り組み、終末の活動でユニバーサルデザインの具体例を説明する文章を書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ Unit8 において、好きな料理について読む活動に取り組み、終末の活動で行きたい場所やそこでしたいことをたずね合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 第2学年～ Unit5 において、自分が今頑張っていることについて発表する活動に取り組み、終末の活動で将来の夢や達成したい目標について書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 第3学年～ Unit4 において、ピクトグラムについての説明を聞く活動に取り組み、終末の活動でユニバーサルデザインの具体例を説明する文章を書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
その他	○ Input と Output のそれぞれの目標を「UnitGoal」に示すとともに、4技能5領域の内容を Unit 内で適切に取り上げたり、言語活動に4技能5領域のマークを表示したりして、Unit で学んだ言語材料を使って場面や状況に応じた活動を設けることで、身に付ける知識・技能を把握できるように工夫している。 ○ Unit のとびらには、その Unit の目標と題材に関する情報を掲載し、音声や写真・イラストなどで確認することによって、生徒のスキーマを活性化し、学習意欲をもたせるように工夫している。 ○ 世界の文化のルールを取り上げ、その多様性に触れることで、生徒が自分の住む地域についても意識できるようになっている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
小笠原　学 （戸井学園）	長尾　智絵 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	木谷　隆史 （巴中）	新田　涼介 （五稜郭中）	岡　友紀 （本通中）

小委員会名　　道　徳

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
2 東　書	道徳 002-72	道徳 002-82	道徳 002-92
教科書名	新編　新しい道徳1	新編　新しい道徳2	新編　新しい道徳3

2 調査研究内容

取扱内容	○　生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　骨髄バンクの運動などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～　末期癌患者との出会いなどを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～　医療措置の打ち切りなどを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○　自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　地球温暖化対策などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～　わたり鳥の環境保護などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～　樋井川の再生などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○　伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　中山太鼓や地歌舞伎などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～　秋田竿燈まつりなどを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～　隅田川の花火と灯ろう流しなどを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○　情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　SNSへの悪口の投稿を扱い、信頼できる友達になるためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～　動画のアップロードを扱い、法律や決まりを守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～　SNSへの投稿を扱い、友達とよい関係を築くためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　「私の『ふつう』と、あなたの『ふつう』」において、資料を基に、偏見をなくして、外国の人々とよりよく関わるために必要なことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～　「魔法使いの少年ーいつかの自分」において、ポスターを基に、誰かの感謝の思いやそれを示す行動に、温かい気持ちになった経験について話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～　「その子の世界、私の世界」において、写真を基に、「その子の世界」で起きている問題に対して、どのようなことができるかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、考えたことをメモし、話し合いに活用できる「つぶやき」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、自ら問題を設定し、問題を解決する過程で、道徳性を養う教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫がなされている。 ・体験的な学習については、各学年に、教材に即して役割演技を行うコラム（Plus）を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　写真や挿絵、ポスターなどのビジュアルから考える教材や、漫画やグラフから考える教材など、多様な教材（全学年）を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　写真やイラストを見て自ら問題を見いだし、その問題についてグループや学級で話し合う活動（全学年）を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮するとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　「一年間で学ぶこと」や教科書の使い方などのページで学び方が丁寧に示されている。教材ごとには、内容項目に沿った考える観点や中心発問が明確に示されるとともに、自分を見つめる設問を加えるなどの工夫がされている。 ○　ポスターやグラフ、映像や二次元コードによる資料提示など多彩なコンテンツの充実が図られている。また、心情円やワークシートを利用して自らの学びによる変化を捉えられるよう工夫されている。 ○　同じ登場人物が3年間をかけて友情を育んでいく物語を教材化するなど、実生活に照らし合わせて考えられるよう工夫されている。また、北海道の中高生の取組や道内の人物を取り上げた教材が各学年にわたって使用されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
對馬　寿恵 （北中）	白府　士孝 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	白﨑　司 （本通中）	小林　哲子 （深堀中）	川合　園子 （亀田中）

小委員会名　　道　徳

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
17 教　出	道徳 017-72	道徳 017-82	道徳 017-92
教科書名	中学道徳1 とびだそう未来へ	中学道徳2 とびだそう未来へ	中学道徳3 とびだそう未来へ

2　調査研究内容

取扱内容	○　生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　生き物の世話などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～　国境なき医師団の活動などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～　動物の殺処分などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○　自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　富士山の環境問題などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～　グリーンコンシューマー十原則などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～　琵琶湖を守る活動などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○　伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　すまんじゅうなどを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～　請戸の田植踊などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～　博多祇園山笠などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○　情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　ソーシャルメディアのルールとマナーを扱い、誰もが安心して気持ちよく活用するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～　SNSでのトラブルを扱い、自分の意図しない形で情報が広がらないようにするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～　歩きスマホが原因のトラブルを扱い、安全で調和のある生活を送るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　「『ちがい』について考えよう」において、表を基に、一人一人が輝ける社会を築いていくために必要なことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～　「お菓子、どうする？」において、心情メーターを基に、みんなが納得できるルールを作るときに、大切にしたいことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～　「変わりゆく地球」において、写真を基に、地球とともに生きるために、自分が何をしようと思うかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、道徳的価値について考えを深めることのできる「学びの道しるべ」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、様々な考えを出し合い、答えが一つではない問いを考え続ける教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫がなされている。 ・体験的な学習については、各学年に、直前の教材に関連した役割演技やリフレーミングなどを行う「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　絵本、写真、漫画など、生徒の興味・関心を高める多様な教材や、今日的な社会課題を扱った読み物教材（全学年）を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　自分の考えを整理したり、他の人の考えと比べたりし、「自分なりのこたえ」を導き出す活動（全学年）を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮するとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　目次を使って一年間の学びの見通しをもたせ、学び方を記すなどの工夫がされている。また、教材のタイトル下に学習テーマを共有する問いが置かれ、文末には、教材をもとに思考したり話し合ったりするための問いが配置されている。 ○　写真・絵本・マンガなど、内容理解がしやすい多様な教材で読む時間の短縮を図り、考えたり話し合う時間を確保したりしている。二次元コードからは、教材解説や心情メーターのほか、多くのリンクが示されるようになっている。 ○　教科書の巻末のワークシートには、授業後に授業で学んだことに関係する経験などを記入する欄があり、実生活と関連することができる。教材においては、北海道のアイヌ文化について触れている題材があり、地域の事象として意識できるように工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
對馬　寿恵 （北中）	白府　士孝 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	白﨑　司 （本通中）	小林　哲子 （深堀中）	川合　園子 （亀田中）

小委員会名　　道　徳

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
38 光　村	道徳 038-72	道徳 038-82	道徳 038-92
教科書名	中学道徳　1 きみがいちばんひかるとき	中学道徳　2 きみがいちばんひかるとき	中学道徳　3 きみがいちばんひかるとき

2　調査研究内容

取扱内容	○　生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～動物の殺処分などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～臓器提供などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～ホスピスのリクエスト食などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○　自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～あるヒグマのエピソードなどを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～富士山のガイドの仕事などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～身近な食材であるタコなどを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○　伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～「島人ぬ宝」の歌詞などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～木桶仕込みのしょうゆなどを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～博多の伝統的な祭り「放生会」などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○　情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～SNSでのやり取りを扱い、相手を理解し、わかり合うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～中高生のネット依存を扱い、日常生活に支障を来さないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～「NOMORE映画泥棒」を扱い、他者の権利を守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～「『感動』の本質を探ろう」において、資料を基に、自分の生活には、どんな変化が起こりそうかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～「『尊重』の本質を探ろう」において、資料を基に、一人一人が尊重される社会とは、どのような社会かについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～「『学び』の本質を探ろう」において、資料を基に、学びに関して新たに発見したのは、どのようなことかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、実感を伴った学びに高める「まなびをプラス」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、生徒自らが問いを立て、考えが深められるよう「チャレンジ問いを立てよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫がなされている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技で実感を伴う議論ができる「チャレンジ」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　漫画形式の教材、表やグラフ、写真から成る教材、ケーススタディで考える教材など、多様な題材（全学年）を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　普段の生活の中から疑問に思った話題についてグループで対話する「てつがく」（全学年）を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　全学年の第1教材「道徳の学習をはじめよう」で、教科の特徴を紹介している。また、全ての教材で、教材中または教材末に学習のてびき「考えよう」が設けられており、「何を学ぶか」が明確になっている。巻末には「まなびの記録」があり、身に付いた力を一覧することができるように工夫されている。 ○　22の内容項目が、イラストや「道徳　道案内」のページで明示され、見通しをもって課題に取り組むことができるようにしている。また、教材を補助する動画や資料が二次元コードから視聴でき、興味・関心を高めることができるような内容となっている。 ○　北海道の地域や関連する人物の教材があり、題材が身近に感じられるようになっている。また、各教材で学びのテーマに迫るため、2つの問いが設定され、そこから「見方をかえて」や「つなげよう」のコーナーで他の教科や生活の場面でも活用できるよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
對馬　寿恵 （北中）	白府　士孝 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	白﨑　司 （本通中）	小林　哲子 （深堀中）	川合　園子 （亀田中）

小委員会名　　道　徳

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
116 日文	道徳 116-73	道徳 116-83	道徳 116-93
教科書名	中学道徳 あすを生きる　1	中学道徳 あすを生きる　2	中学道徳 あすを生きる　3

2　調査研究内容

取扱内容	○　生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～阪神・淡路大震災などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～骨肉腫との壮絶な闘いなどを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～臓器提供などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○　自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～古木の治療や移植などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～緑化事業などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～川端の水文化などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○　伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～「法の脇鹿踊り」をはじめとする郷土芸能などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～日本の「包む」文化などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～江戸切子などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○　情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～SNSの投稿を扱い、自分が法を守っていくためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～情報の受信と発信を扱い、必要な場面や状況に応じて情報を活用するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～身の回りのマナーを扱い、マナーに対する心構えをもつためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～「三人の乗客」において、ノートやタブレット端末を使い、人と人がもっと理解し合うために必要なことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～「五月の風－ミカー」において、話し合いの例を基に、信頼される友達になるために大切なことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～「卒業文集最後の二行」において、話し合いの例を基に、いじめという問題を乗り越えるために大切な考えについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、協働的な学びの積み重ねをまとめられる「道徳ノート」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題を見つけ、その解決に向けて主体的・対話的に考える教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫がなされている。 ・体験的な学習については、各学年に、教材場面の役割演技などを行う「学びを深めよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　身近な生活場面やスポーツ選手の教材、漫画形式やグラフを扱う教材など、多岐にわたる教材（全学年）を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　道徳的価値を自分との関わりで理解し、授業で学んだことを前向きに自分に生かすための発問例「自分に＋1」（全学年）を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　各教材において、「気付く→考える・議論する・深める→見つめる・生かす」の段階を踏んで学習のねらいに迫る構成となっている。また、付属の「道徳ノート」が最大の特徴で、ノートを使うことで一年の成長を記録できるだけでなく、心情メーターやシンキングツールなど使うことができるよう工夫されている。 ○　コラムが豊富で、他教科や自主学習でも横断的に活用できる。また、二次元コードが充実しているため、すべての教材・コラムにおいて、生徒が関心をもって視覚的に捉え、内容に取り組むことができる。そのため、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向かうことができるよう工夫されている。 ○　他者への共感性を高め、多様性を認め合うよりよい社会の実現について、自分のこととして考える教材など工夫がされている。また、アイヌ文化や襟裳岬についてなど、北海道を題材にしたものもあり、生徒にとって身近に感じられる題材で構成されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
對馬　寿恵 （北中）	白府　士孝 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	白﨑　司 （本通中）	小林　哲子 （深堀中）	川合　園子 （亀田中）

小委員会名　　道　徳

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
224 学研	道徳 224-72	道徳 224-82	道徳 224-92
教科書名	新版　中学生の道徳 明日への扉　1	新版　中学生の道徳 明日への扉　2	新版　中学生の道徳 明日への扉　3

2　調査研究内容

取扱内容	○　生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　進行性筋萎縮症などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～　死産を経験した母親などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～　余命宣告を受けた人物などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○　自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　特別天然記念物などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～　リンゴの自然栽培などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～　絶滅危惧種のマウンテンゴリラなどを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○　伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　狂言や琵琶などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～　五色桜などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～　青森ねぶた祭などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○　情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　ネットでのうわさ話を扱い、友達に対して偏見をもたないようにするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～　SNSでのやり取りを扱い、ネットやSNSを最適に活用するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～　SNSのアップロードやダウンロードを扱い、周りの人の権利を損なわないようにするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～　「公平とは何だろう」において、イラストを基に、差別や偏見のない社会を実現するために、身近でできることについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～　「コスモスR計画」において、マンガを基に、地球を美しく再生するために、どうしたらよいかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～　「電車の中で」において、マンガを基に、思いやりを行動に表すときに、大切にしたいことは何かについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、考えたことをメモし、話し合いに活用できる「メモ欄」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、多様な観点から問題意識を喚起する教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫がなされている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技をして登場人物になりきって考える活動を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　従来の読み物教材ではない、新感覚型の教材を充実させ、多様な観点から問題意識を喚起する教材（全学年）を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　マンガやイラストを見て自ら問題を見いだし、その問題についてグループや学級で話し合う活動（全学年）を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルフォントに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　1年間で学ぶテーマ、キーワード、考えを深めるステップをイラストなどを交え、わかりやすく示している。巻末には、学期ごとや学年末の振り返りができるシートがあり、自身の成長を知るための工夫がされている。 ○　思考の方法が示されており、ベン図やイメージマップ、座標など自ら可視化して考えることができるよう記されている。また、教材ごとのレイアウトや二次元コードによる写真や動画掲載など、視覚的な工夫がされている。 ○　現代に生きる人物や、生徒の関心が高いテーマ・教材を採用し、実社会との関連を意識できる構成となっている。北海道を教材として取り上げているものも各学年に配置されており、身近に感じることができるように工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
對馬　寿恵 （北中）	白府　士孝 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	白﨑　司 （本通中）	小林　哲子 （深堀中）	川合　園子 （亀田中）

小委員会名　　道　徳

1 教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
232 あか図	道徳 232-73	道徳 232-83	道徳 232-93
教科書名	中学生の道徳1	中学生の道徳2	中学生の道徳3

2 調査研究内容

取扱内容	○　生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～震災時の警察官の手記などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～マザー・テレサの活動などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～臓器提供などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○　自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～グリーンベルト運動などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～地球誕生からの歴史などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～襟裳の再生などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○　伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～海外の人に日本のよさを紹介することなどを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～相馬野馬追などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～姫路城の修復工事などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○　情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～動画サイトへのコメントを扱い、誹謗中傷で相手を傷つけないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～スマートフォン依存度を扱い、望ましい生活習慣を身に付けるためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～SNSでのメッセージを扱い、軽はずみな行動で大きな影響を与えてしまわないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～「魚の涙」において、資料を基に、いじめの加害者・観衆・傍観者の視点から、いじめのない世界にするために大切にしたいことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～「いつでも・どこでも・SNS」において、教材の場面を基に、SNSをめぐるすれ違いについて具体的に想像し、自分自身がどのように行動するかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～「目の見えない白鳥さんとアートを見にいく」において、写真を基に、白鳥さんとのアート鑑賞を紙面上で体験し、障がいのある人との共生について話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、教材を読んで考えるための視点を提示した吹き出しの「発問」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、生徒が色々な立場で想像したり考えたりできるような問い「マイ・プラス」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫がなされている。 ・体験的な学習については、各学年に、生徒が色々な立場で想像したり考えたりできるような問い「マイ・プラス」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　学期ごと及び1年間の自分自身の授業の取組を振り返る、切り取り式ワークシート「学習の記録」（全学年）を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　教材の学習後にさらに学びを広げることができるよう、Thinking（コラム）や巻末付録（全学年）を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮するとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　授業で考えるポイントが明確になった発問構成である。学習活動がイメージできる発問があり、多面的・多角的に生徒が考えることができ、最後にはもう一度自分自身でさらに深める発問が設定されている。また、巻末には学習の記録があり、学期毎に振り返りができる。 ○　教材に関連する動画や web リンクが教材のタイトル下に配置されており、授業でスムーズに活用できるように工夫されている。また、導入や終末にあわせた動画があり、自学自習につなげる工夫がされている。さらに、読み物教材を通して、主体的に学習に取り組むことができるようにしている。 ○　教材の中には、著名人やスポーツ選手などを使った教材が多く、生徒にとって身近に感じられる内容になっている。また、「マイ・プラス」では、問題解決な学習、体験的な学習の進め方が提示されており、授業を円滑に進める工夫がされている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
對馬　寿恵 （北中）	白府　士孝 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	白﨑　司 （本通中）	小林　哲子 （深堀中）	川合　園子 （亀田中）

小委員会名　　道　徳

1　教科書名

発行者名	教　科　書　の　記　号・番　号		
233 日科	道徳 233-72	道徳 233-82	道徳 233-92
教科書名	道徳　中学校1 生き方から学ぶ	道徳　中学校2 生き方を見つめる	道徳　中学校3 生き方を創造する

2　調査研究内容

取扱内容	○　生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ペットの殺処分などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第2学年～ドクターヘリの要請などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 第3学年～骨髄移植などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動 ○　自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～美しい地球などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第2学年～富士山の環境問題などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 第3学年～白神の森などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動 ○　伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～囲炉裏の分け火などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第2学年～日本三名橋の錦帯橋などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 第3学年～農山村の過疎化などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動 ○　情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～AIが作ったフェイク写真を扱い、情報に振り回されないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第2学年～AIが作った読書感想文を扱い、今後、AIと付き合っていくためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 第3学年～SNSでの誹謗中傷を扱い、SNSと上手に付き合っていくためには、どのようなことが大切なのかを考える活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～「いじめ問題と向き合う」において、いじめに関わる方々の意見を基に、いじめがなくならない理由や解決方法について話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第2学年～「二通の手紙」において、登場人物である元さんの行動を基に、決まりを守ることについて互いの考えを出し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動 第3学年～「彼と私のありがとう」において、資料を基に、立場の違う者同士が、よりよい関係を築く時に大切にすべきことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動

内容の程度・排列・分量等	○　内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、対話しやすい環境をつくる「ウェルビーイングカード」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫がなされている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、教材の特性に合わせて発問や展開を工夫して配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫がなされている。 ・体験的な学習については、各学年に、教材の特性に合わせて発問や展開を工夫して配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○　学びの目標と目的意識をもって授業に向かうための「クラスのみんなと『道徳授業』を創り出そう」（全学年）を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　各教材の発問「深めよう」（全学年）において、自らのこれからの在り方を考える場面を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○　巻頭に、テーマごとに教材が分類されたページがあり、わかりやすくまとめられている。また、道徳授業の進め方として、ウェルビーイングカードを使った学習のガイダンスコーナーがあり、新しい学び方が示されている。 ○　多面的・多角的に深く考える手段として、ウェルビーイングカードが掲載されている。教材を読んだ後に、カードで選び、他者と交流しながら自己理解や他者理解につなげる教材になっている。また、動画や漫画等、わかりやすい教材を用いている。 ○　北海道と関連する人物の掲載があり、先人や各方面で活躍する人の生き方から学ぶ教材が配置されている。ウェルビーイングカードを用いて、よりよい生き方について考え、実践できるよう工夫されている。

小委員会委員氏名

小委員長名	委　員	委　員	委　員	委　員	委　員
對馬　寿恵 （北中）	白府　士孝 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	白﨑　司 （本通中）	小林　哲子 （深堀中）	川合　園子 （亀田中）

教科	書名	発行者	著者名	価格	取扱内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障がいの種類	発達の段階	備考
社会	くらしに役立つソーシャルスキルー よりよく暮らす・働く・楽しむー	東洋館	石塚　謙二 ほか	1，500	「自分のこと」「相手とのこと」「将来のこと」をテーマに、自分と社会との関連を考えながら知識及び技能の習得が図られるよう構成されている。 多くの項目で自己や他者の考えを記述する欄が設けられており、主体的・対話的に学習できるよう配慮されている。 社会生活で課題になる内容を必要に応じてイラストを活用するなど、網羅的に取り上げてわかりやすく実生活に直結するよう工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は25.8×18.6㎝で、ページ数は170ページである。 表紙はビニール装丁で、堅ろうである。 令和3年(2021年)発行
社会	いちばんわかりやすい 小学生のための 学習日本地図帳	成美堂出版	深見　公子	1，300	各地方の地形や自然、観光や産業、代表的な文化等について、調べたり、まとめたりして活用できるよう構成されている。 日本の農業、水産業、工業と貿易などについてのデータを日本地図を使って分かりやすく表すなど、配慮されている。 調べ学習に活用することができ、漢字には全て振り仮名が付けられており、都道府県の特徴をカルタにできるなど、工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は25.6×18.1㎝で、ページ数 は80ページである。 装丁は丈夫で、表紙は厚手でビニール加工されている。 令和5年(2023年)発行
社会	いちばんわかりやすい 小学生のための 学習世界地図帳	成美堂出版	深見　公子	1，300	各地域の地形や自然、人々や文化、産業の特徴等について、調べたり、まとめたりして活用できるよう構成されている。 世界の農業・林業・漁業、工業と環境問題などについてのデータを世界地図を使って分かりやすく表すなど、配慮されている。 調べ学習に活用することができ、漢字には全て振り仮名が付けられており、国旗や国の特徴をカルタにできるなど、工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は25.6×18.1㎝で、ページ数は80ページである。 装丁は丈夫で、表紙は厚手でビニール加工されている。 令和5年(2023年)発行
社会	改訂新版　くらしに役立つ社会	東洋館	明官　茂 ほか	1，500	「考えよう」、「調べよう」、「深めよう」のように学習過程を明確に示すことで、生徒が主体的に学習に取り組めるよう構成されている。 自分のこととして考えられるよう身近なことと結び付けたり、卒業後を見据え、日常生活に生かしたりできるよう配慮されている。 振り仮名が付いているほか、カラーユニバーサルデザインの採用やUDフォントの表記により、読みやすいよう工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は25.7cm×18.2cmで、ページ数は154ページである。 表紙はビニール装丁である。 ワークシートや動画を視聴できる二次元コードが掲載されている。 令和6年(2024年)発行

算数・数学	さわる絵本ちびまるのぼうけん	偕成社	フィリップ・ヌート	2，900	数や形に着目し、読み手に考えさせる工夫がされているとともに、触覚を活用しながらしっかり観察する力を養うことができるよう構成されている。 登場する図形が、四角、丸、三角と分かりやすい形が取り上げられており、大きさの区別もつきやすいように工夫されている。 物語形式になっていることから、触覚を使って主人公を探し当てるなど、学習意欲を高める工夫がされている。	視聴知肢病	A	体裁は23.0cm×22.0cmで、ページ数は24ページである。 表紙の装丁は堅ろうである。 昭和56年（1981年）発行
算数・数学	初級編ステップアップ　マッチングⅠ	こばと教材出版社	遠藤　敏子	1，800	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質に気付き理解できるようにするとともに、視知覚の実態もある程度つかめるように構成されている。 同じものを線で結んだり、シールを貼ったりするなど、目と手の協応動作や手指機能の向上をねらいとできるよう配慮されている。 ワークシートを1枚ずつ剥がして使用し、段階的に学ぶことができるよう工夫されている。	視聴知肢病	A	体裁は29.7×21.0cmで、ページ数は42ページである。 表紙はビニール装丁で、ワークシートを1枚ずつ剝がしながら使用できる。 平成29年（2017年）発行
理科	どんどんめくってはっけん！ からだのふしぎ	学研出版社	ロウイー・ストーウェル	1，800	分かりやすいイラストと簡潔な説明で、筋肉や骨などの体の仕組みや働きについて学べるようになっている。また、体の様々な症状と各器官の関係について興味を抱くよう構成されている。 体の部位に付けられたしかけをめくると、イラストと詳細な説明が書かれており、楽しみながら学べるよう配慮されている。 イラストは分かりやすく、文字は平仮名で重要な語句が太字になっており、分かりやすく学べるよう工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は22.3×20.0cmで、ページ数は14ページである。 表紙は厚く堅ろうで、各ページも厚紙で作られている。 平成25年（2013年）発行
理科	でんじろう先生の学校の理科がぐんぐんわかるおもしろ実験	主婦と生活社	米村でんじろう	1，380	写真や絵を主体に、簡単なコメントの解説により、楽しく学習を進めることができるよう構成されている。 身近な現象を身の回りにある道具を活用することで、子どもが簡単に実験に取り組みやすいよう工夫されており、理科の内容がバランスよく取り上げられている。 用語は簡単で、漢字にはふりがなが振られており、工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は25.7cm×18.4cmで、ページ数は130ページである。 表紙の装丁は堅ろうである。 平成27年（2015年）発行

小委員会氏名

小委員長	委員	委員	委員	委員	委員
堀切川　治 （椴法華中）	白府　士孝 （学識経験者）	向　大喬 （PTA）	長村　幸浩 （戸倉中）	山口　詠子 （湯川中）	石井　美紀 （赤川中）